

**令和6年度(令和5年度実施分)
指定管理者管理運営状況評価表**

立川市公の施設指定管理者評価委員会

指定管理者制度導入施設一覧（R6年3月時点）

施設名(募集単位)	施設数	導入月	直近の更新月	現期間終了月	指定期間	公募	指定管理者	主管課	
たましんRISURUホール(市民会館)	1	H18.4	H25.11	R6.3	10年4ヶ月	非	(株)合人社計画研究所ほか8社	地域文化課	
子ども未来センター	1	H24.12		R6.3	11年4ヶ月	非	(株)合人社計画研究所ほか8社	地域文化課	
柴崎市民体育館	1	H22.4	R2.4	R7.3	5年		野村不動産ライフ&スポーツ・パートナーズ共同事業体	スポーツ振興課	
泉市民体育館	1	H26.4	H31.4	R6.3	5年		シンコー・立川体協・アズビル共同事業体	スポーツ振興課	
幸児童館	1	H21.4	R4.4	R8.3	4年	非	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課	
高松児童館	1	H24.4	R4.4	R7.3	3年	非	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課	
若葉児童館・若葉学童保育所	2	H25.4	R5.4	R8.3	3年	非	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課	
西砂児童館・松中学童保育所	2	H25.4	R5.4	R8.3	3年	非	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課	
羽衣児童館・羽衣学童保育所	2	H26.4	H31.4	R6.3	5年		労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	子ども育成課	
富士見児童館・南富士見学童保育所	2	H26.4	H31.4	R6.3	5年		(株)明日葉	子ども育成課	
錦児童館・錦学童保育所	2	H27.4	R2.4	R7.3	5年		(株)明日葉	子ども育成課	
上砂児童館・上砂第三学童保育所	2	H27.4	R2.4	R7.3	5年		(株)明日葉	子ども育成課	
斎場	1	H18.4	R3.4	R6.3	3年	非	(公社)立川市シルバー人材センター	福祉総務課	
総合福祉センター	1	H18.4	R4.4	R9.3	5年	非	(福)立川市社会福祉協議会	福祉総務課	
柏地域福祉サービスセンター	1	H18.4	R4.4	R9.3	5年	非	(福)至誠学舎立川	介護保険課	
羽衣地域福祉サービスセンター	1	H18.4	R4.4	R9.3	5年	非	(福)恵比寿会	介護保険課	
上砂地域福祉サービスセンター	1	H18.4	R4.4	R9.3	5年		(福)敬愛会	介護保険課	
自転車等駐車場(第1ブロック)	19	H18.4	H31.4	R6.3	5年		日本コンピュータ・ダイナミクス(株)	交通対策課	
自転車等駐車場(第2ブロック)	5	H18.4	H31.4	R6.3	5年		サイカパーキング(株)	交通対策課	
駐車場	3	H18.4	H31.4	R6.3	5年		タイムズ24(株)連合体	交通対策課	
学習等 供用 施設	滝ノ上会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市滝ノ上会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	こんびら橋会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市こんびら橋会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	高松会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市高松会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	若葉会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市若葉会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	こぶし会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市こぶし会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	羽衣中央会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市羽衣中央会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	天王橋会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市天王橋会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	柴崎会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市柴崎会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	さかえ会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市さかえ会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	西砂会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市西砂会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
上砂会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市上砂会館管理運営委員会	生涯学習推進センター	
八ヶ岳山荘	1	H21.4	R4.4	R9.3	5年		(株)レストラン・ピガール	生涯学習推進センター	
幸・錦図書館	2	H22.6	R5.4	R10.3	5年		(株)図書館流通センター	図書館	
西砂・高松・若葉図書館	3	H25.4	R5.4	R10.3	5年		(株)図書館流通センター	図書館	
柴崎・上砂・多摩川図書館	3	H27.4	R5.4	R10.3	5年		(株)ヴィアックス	図書館	
導入施設数	70								

目 次

令和5年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

ー産業文化スポーツ部ー

1. たましんRISURUホール（市民会館）…………… 1
【地域文化課（合人社計画研究所グループ）】
2. 子ども未来センター…………… 6
【地域文化課ほか（合人社計画研究所グループ）】
3. 柴崎市民体育館…………… 23
【スポーツ振興課（野村不動産ライフ&スポーツ・パートナーズ共同事業体）】
4. 泉市民体育館…………… 27
【スポーツ振興課（シンコー・立川体協・アズビル共同事業体）】

ー子ども家庭部ー

5. 幸児童館…………… 31
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズユープ・センター事業団）】
6. 高松児童館…………… 35
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズユープ・センター事業団）】
7. 若葉児童館・若葉学童保育所…………… 40
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズユープ・センター事業団）】
8. 西砂児童館・松中学童保育所…………… 50
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズユープ・センター事業団）】
9. 羽衣児童館・羽衣学童保育所…………… 58
【子ども育成課（労働者協同組合ワーカーズユープ・センター事業団）】
10. 富士見児童館・南富士見学童保育所…………… 66
【子ども育成課（株式会社明日葉）】
11. 錦児童館・錦学童保育所…………… 74
【子ども育成課（株式会社明日葉）】
12. 上砂児童館・上砂第三学童保育所…………… 82
【子ども育成課（株式会社明日葉）】

ー福祉部／保健医療部ー

13. 斎場…………… 91
【福祉総務課（公益社団法人立川市シルバー人材センター）】
14. 総合福祉センター…………… 95
【福祉総務課（社会福祉法人立川市社会福祉協議会）】

15. 柏地域福祉サービスセンター……………	99
【介護保険課（社会福祉法人至誠学舎立川）】	
16. 羽衣地域福祉サービスセンター……………	103
【介護保険課（社会福祉法人恵比寿会）】	
17. 上砂地域福祉サービスセンター……………	107
【介護保険課（社会福祉法人敬愛会）】	
—まちづくり部—	
18. 自転車等駐車場（第1ブロック）……………	111
【交通対策課（日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社）】	
19. 自転車等駐車場（第2ブロック）……………	115
【交通対策課（サイカパーキング株式会社）】	
20. 駐車場……………	119
【交通対策課（タイムズ24株式会社連合体）】	
—教育部—	
21. 八ヶ岳山荘……………	123
【生涯学習推進センター（株式会社レストラン・ピガール）】	
22. 学習等供用施設（滝ノ上会館ほか10施設）……………	127
【生涯学習推進センター（各館管理運営委員会）】	
23. 幸図書館……………	171
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
24. 西砂図書館……………	175
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
25. 高松図書館……………	179
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
26. 錦図書館……………	183
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
27. 若葉図書館……………	187
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
28. 柴崎図書館……………	191
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	
29. 上砂図書館……………	195
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	
30. 多摩川図書館……………	199
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	

令和5年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

施設名	(1)施設の設置 目的達成に関する 取り組み	(2)業務の履行 状況	(3)サービスの質 に関する事項	(4)施設・設備の 維持管理状況	(5)個人情報保 護規定等の遵守 状況に関する事 項
たましんRISURUホール(市民会館)	A	A	A	A	A
子ども未来センター ※1	A/A/A/-	A/A/A/A	A/A/A/A	A/A/-/-	A/A/A/A
柴崎市民体育館	A	A	A	A	A
泉市民体育館	A	A	A	A	A
幸児童館	A	A	A	A	A
高松児童館	A	A	A	A	A
若葉児童館・若葉学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
西砂児童館・松中学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
羽衣児童館・羽衣学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
富士見児童館・南富士見学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
錦児童館・錦学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
上砂児童館・上砂第三学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
斎場	A	A	A	A	A
総合福祉センター	A	A	A	A	A
柏地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
羽衣地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
上砂地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
自転車等駐車場(第1ブロック)	A	A	A	A	B
自転車等駐車場(第2ブロック)	A	A	A	A	A
駐車場	A	A	A	A	A
八ヶ岳山荘	A	A	A	A	A
立川市滝ノ上会館	A	A	A	A	A
立川市こんぴら橋会館	A	A	A	A	A
立川市高松会館	A	A	A	A	A
立川市若葉会館	A	A	A	A	A
立川市こぶし会館	A	A	A	A	A
立川市羽衣中央会館	A	A	A	A	A
立川市天王橋会館	A	A	A	A	A
立川市柴崎会館	A	A	A	A	A
立川市さかえ会館	A	A	A	A	A
立川市西砂会館	A	A	A	A	A
立川市上砂会館	A	A	A	A	A
幸図書館	A	A	A	A	A
西砂図書館	A	A	A	A	A
高松図書館	A	A	A	A	A
錦図書館	A	A	A	A	A
若葉図書館	A	A	A	A	A
柴崎図書館	A	A	A	A	A
上砂図書館	A	A	A	A	A
多摩川図書館	A	A	A	A	A

※1 評価欄は、左から 施設全般の管理運営に関する業務及び自主事業／子育て支援業務／市民活動支援業務／文化芸術活動支援業務 を表す。

※2 評価欄は、左から 児童館運営管理／学童保育所運営管理 を表す。

※その他特記事項は、仕様書、提案書、協定書等で定められた事項以外の事項を記載しているため評価対象外。

(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項	(7)地域貢献に関する事項	(8)コンプライアンスに関する事項	(9)立川市のコスト削減状況	総合評価	施設名
A	A	A	—	A	たましんRISURUホール(市民会館)
A/B/A/A	A/-/-/-	A/B/A/A	—	A/A/A/A	子ども未来センター
A	A	A	—	A	柴崎市民体育館
A	A	A	—	A	泉市民体育館
A	A	B	—	A	幸児童館
A	A	B	—	A	高松児童館
A/A	A/A	B/B	-/-	A/A	若葉児童館・若葉学童保育所
A/A	A/A	B/B	-/-	A/A	西砂児童館・松中学童保育所
A/A	A/A	B/B	-/-	A/A	羽衣児童館・羽衣学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	富士見児童館・南富士見学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	錦児童館・錦学童保育所
A/B	A/A	A/A	-/-	A/A	上砂児童館・上砂第三学童保育所
A	—	A	—	A	斎場
A	A	A	—	A	総合福祉センター
A	A	A	—	A	柏地域福祉サービスセンター
A	A	A	—	A	羽衣地域福祉サービスセンター
B	A	A	—	A	上砂地域福祉サービスセンター
B	A	A	—	A	自転車等駐車場(第1ブロック)
A	A	A	—	A	自転車等駐車場(第2ブロック)
A	A	A	—	A	駐車場
A	A	A	—	A	八ヶ岳山荘
A	A	A	—	A	立川市滝ノ上会館
A	A	A	—	A	立川市こんぴら橋会館
A	A	A	—	A	立川市高松会館
A	A	A	—	A	立川市若葉会館
A	A	A	—	A	立川市こぶし会館
A	A	A	—	A	立川市羽衣中央会館
A	A	A	—	A	立川市天王橋会館
A	A	A	—	A	立川市柴崎会館
A	A	A	—	A	立川市さかえ会館
A	A	A	—	A	立川市西砂会館
A	A	A	—	A	立川市上砂会館
A	A	A	—	A	幸図書館
A	A	A	—	A	西砂図書館
A	A	A	—	A	高松図書館
A	A	A	—	A	錦図書館
A	A	A	—	A	若葉図書館
A	A	A	—	A	柴崎図書館
A	A	A	—	A	上砂図書館
A	A	A	—	A	多摩川図書館

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
たましんRISURUホール(立川市市民会館)	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成25年11月30日～令和6年3月31日(10年4か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市民の福祉の増進と文化の向上のため、公平かつ公正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルを活用し理解度の向上及び再確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応できるように予約システムが運用されている。	A		
事業の継続性の担保	職場内のコミュニケーションを重視し、OJTを活用することにより、職員の質の向上に努め、安定した事業が実施されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:348日(休館日:毎月第3月曜日及び12/29～1/3) 開館時間:9:00～22:00 職員配置:27人 (正社員・契約社員・パート) 統括責任者1人 舞台技術9人 受付業務12人 維持管理5人 臨時職員賃金:時給1,120円以上 (各社規定による) 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが5類に引き下げられたことにより、施設利用者数は増加傾向にある。感染症対策に配慮しながら適切に運営されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計:318,214人(116.6%) 大ホール:153,783人(117.3%) 小ホール:41,256人(120.1%) 展示室・サブホール・ギャラリー 会議室:79,703人(121.2%) 各窓口:27,085人(108.4%) 市民ロビー等その他:16,387人(98.3%) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが5類に引き下げられたことにより、施設利用者数は増加傾向にあるが、感染症対策に配慮しながら適切に運営されている。	A		
運営企画	舞台公演の事業として、「避難訓練コンサート」は中止となったが、参加・体験型事業として「世界のピアノを弾きくらべてみよう!」を実施されている。コミュニティ活動支援事業として、イルミネーションを実施されている。 共催事業等として、立川シアタープロジェクトへの協賛・協力事業「市民創作ゼミ」、「王さまコンテスト～はだかの王様とロバの耳の王さま～」、「立川ふれあいこどもまつり」を実施されている。感染症対策が徐々に緩和されているなかでも、感染症対策に配慮しながら適切に運営されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:196,910,665円 (うち指定管理料195,860,060円) 支出:197,684,813円 事業収支:▲774,148円 人件費比率:65.5% 指定管理料を含め適正に執行されている。 自主事業納付金:840,483円	A	事業収支は、物価高騰等の影響によりマイナスとなっているが、指定期間中の事業の継続性は確保されている。 協定書に基づき、適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	公立文化施設賠償責任保険、公立文化施設利用者見舞費用保険、公共施設貸館対応興行中止保険 最大 身体5億円、請負賠償10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	舞台設備保守点検、清掃、守衛・設備管理	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	挨拶・対応・服装等について、ビジネスマナーマニュアルを活用し、実施されている。	A	各種研修を実施し、良好な接客が提供されている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施しており、アンケートにおける職員対応の評価も高い。 積極的な広報・PR等を行い、利用情報の提供が行われている。 所管課及び地域文化振興財団との定期的な連絡調整会議を実施し、連携されている。	A
マニュアルの整備	ビジネスマナー・危機管理・受付・施設保全マニュアルが整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	接客マナー、舞台安全、コンプライアンス、個人情報保護研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回第3水曜日に連絡調整会議を実施。 所管部署との緊急連絡網が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、その結果がホームページで公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	・リーフレットだけでなく商業施設のビジョンや多摩モノレールの車内広告を実施。 ・ホームページでは館内ストリートビューによる周知も実施。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成。	A		
公平・公正利用の確保	施設利用システムを活用し、公平・公正に実施されている。	A		
業務の点検	随時点検が実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設保全マニュアルに沿って適切に点検し、損傷・不具合等に対し、適切に処理されている。	A		
保安・警備	毎日巡回点検するなど、適切に管理されている。	A		
小規模修繕	大ホール コンサートグランドピアノ、ワイヤレス受信機、舞台照明器具スポットライト、ピアノ運搬車、開閉幕類ランナー、舞台照明器具部品フロアーコンセント蓋 小ホール 照明操作卓メモリーバッテリー	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適正に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	利用申し込みの管理の徹底等、個人情報の適正な取り扱いが指導されている。	A	適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等に基づき業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報に記載されている書類等は施錠して保管されている。	A		
再委託の禁止	市へ報告せずに業務を第三者へ委託していない。	A		
研修・教育の実施	コンプライアンス研修の中で個人情報についての研修が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定が整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情は特になかった。 危険予知については、適正に事故防止がなされている。 マニュアルが整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	危険予知活動票を作成し、未然の事故防止をされている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危険予知活動票を活用し、事故防止対策の取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	利用者アンケートによる要望把握や文化協会などの地域との連携、意見交換されている。	A	地域や関係機関との連携をされている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
施設の設置目的に沿い、立川市市民会館条例及び立川市市民会館条例施行規則を遵守し、担当部署である地域文化課への報告、連絡、相談等を速やかに行い、立川市地域文化振興財団との連携を図ることにより、適正かつ円滑に管理運営業務を実施した。また、新型コロナウイルス感染症予防対策についても、地域文化課と相談し状況に応じた対応を行った。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<p>○新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが5類に引き下げられたことにより、施設利用者数は増加傾向にあるが、感染症対策に配慮しながら適切に運営されていることは評価できる。</p> <p>○地域や文化団体との連携も積極的に行われており、評価できる。</p> <p>○施設設備の維持、管理についても仕様書に基づき適切に行われ、修繕等にも速やかに対応していることは評価できる。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが5類に引き下げられたことにより、施設利用者数は増加傾向にある。感染症対策に配慮しながら適切に運営されている。</p> <p>施設の維持管理については適切に保守点検を実施し、事故や苦情等もない。</p> <p>施設所管課との連携だけでなく、関係団体との連携も行っており、事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和5年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日（11年4か月）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	地域文化課	A	A
2	子育て支援業務	子育て推進課・ 子ども家庭支援センター・保育課	A	A
3	市民活動支援業務	市民協働課	A	A
4	文化芸術活動支援業務	地域文化課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：
 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが5類に引き下げられたことで、さまざまな社会活動が再開され、利用者は増加傾向である。また、社会環境が変化する中でも、工夫を凝らしながら、それぞれの分野で適切にサービスを提供できていることは評価できる。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日(11年4ヶ月)	
事業名称	事業番号	事業担当課
施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	1	地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、公共サービスが円滑に提供されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルの作成・更新を行い、理解度の向上及び再確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応できるように予約システムが運用されている。	A		
事業の継続性の担保	各種マニュアルによる教育や引継を実施し、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:366日(まんがぱーくは年末年始も営業) 開館時間:8:30~22:00(まんがぱーくは平日10:00~19:00、土日祝日10:00~20:00) 職員配置:正社員1人、契約社員8人 契約社員賃金:時給1,200円以上 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 総利用者数は、コロナ禍以前の水準にはもどっていないが、前年度に比べて増加傾向にある。	A
利用状況	【利用状況】()内は対前年比 利用者延べ人数 243,357人(100.0%) 【内訳】 施設貸出利用者数 41,801人(72.9%) まんがぱーく利用者数 69,996人(113.9%) 広場イベント来場者数 22,200人(180.3%) 広場来訪者数 29,466人(81.3%) その他利用者数 79,894人(104.7%) コロナ禍以前の状況には及ばないが、来場者は増加傾向である。施設貸出利用者数の減少は、子ども家庭支援センターの相談業務でギャラリー、多目的室の利用を停止しているため。	A		
運営企画	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが5類に引き下げられたことにより、以前よりも多くの来場者があったが、感染症対策に配慮しつつ混乱なく開催できている。	A	関係団体と連携した事業の再開により、周辺地域のにぎわいづくりに貢献した。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入:107,876,726円、支出:110,939,100円 (うち指定管理料48,154,700円) 事業収支:▲3,062,374円 人件費比率:45.4% 新型コロナウイルス感染症の影響により収入に対し、支出の増加額が大きいため、収支がマイナスとなっている。 自主事業納付金:3,448,011円	A	収入は前年度より増加しているが、コロナ禍以前の水準には戻っていない。その一方で、感染症対応に関する人件費等の支出を抑えることができないため、事業収支はマイナスとなっているが、指定期間中の事業の継続性は確保されている。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	請負賠償責任保険(子ども未来センター全体が対象) 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	清掃、廃棄物処理、機械警備、建物定期点検、各種設備保守、植栽管理業務、駐車場保守管理業務、イベント警備について実施。	A		
新たな取り組みの状況	SDGSの活動を通じて、子どもたちに活躍の場を提供しようとする団体との協力し、子ども向けのワークショップなどを開催されたことは評価できる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・対応・服装等、実施されている。	A	職員の対応は良好に行われている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき業務が実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議が実施されており、情報が共有されている。	A
マニュアルの整備	整備されているマニュアルに基づいて適正に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議が実施されている。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等が記載され連携体制が確立されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページで公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成し、配布されている。ホームページで施設利用案内、行事案内が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・月次報告書を作成。市への提出と、求めに応じて閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築されている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 防犯対策を強化し、保安・警備が適切に行われている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設保全マニュアルに沿って適切に点検し、損傷・不具合等に対し、適切に処理されている。	A		
保安・警備	毎日巡回点検するなど、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	不良箇所について、仕様書等に基づき速やかに修繕対応している。	A		
備品管理	備品台帳を作成し適正に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて、適正に職員へ指導されている。	A	個人情報保護規程を制定し、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等に基づき業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は施錠して保管されている。	A		
再委託の禁止	市へ報告せずに業務を第三者へ委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定が整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	複数の事故が発生したが、いずれも施設管理上の瑕疵はないと考える。事故発生後の対応についても、警察への通報、市への報告など適切に行っていると評価できる。	A	事故発生後の対応について、警察への通報、市への報告等適切にされている。 危機管理マニュアルが整備され、対応体制が確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	事件・事故の予防に関する内容を含んだ危機管理マニュアルを定め、適切に対応できるよう準備されている。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制が構築され、周辺関連機関への連絡体制が整備されている。主要駅からも近いオープンスペースがあるため、様々な来所者があるが、不審者対応について取り組まれており、評価できる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	懇親会は中止となったが、南口商店街連合会等との意見交換やイベントの実施、市や商工会議所との意見交換、地域のにぎわい創出のための人的資源や場所の提供、毎週の施設周辺のゴミ拾い清掃、市内中学校の職場体験や社会科見学の受け入れ、地域の文化関連団体等との連携、大学のゼミや他自治体の視察・取材対応等を実施しており、良好な関係が築けている。	A	地元商店街や地域団体との連携について積極的に取り組みが行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
約3年間新型コロナウイルス感染症対策で時間制限・利用制限し運営していました。令和5年度途中で2類から5類へと移行し利用・行動基準が緩和されましたが、現場では感染症対策を継続し感染・拡大がないよう十分なケアで運営。広場イベントや地域活動との連動などは完全再開し、利用者を楽しんでもらえるよう積極的に活動しています。今後も行政の指導の下、適切な運営に努めていきます。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
○施設保全業務については仕様書等に基づいて適切に行われている。 ○施設運営についても、感染症拡大防止等への対応を含め、大きなトラブルもなく概ね良好である。 ○運営企画においては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが5類に引き下げられたことで、感染症対策の緩和が進んだが、多人数が集まるイベントのため、感染防止対策を取りながらしっかりと対応できていたことは評価できる。 ○地域や文化団体との連携も積極的に行っており評価できる。		A	新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、これまでの取組が地域に定着しており、関係機関や地域との連携が進んでいる。 施設管理・運営については、事業計画書等に基づき、適切に行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日(11年4ヶ月)	
事業名称	事業番号	事業担当課
子育て支援業務	2	子ども家庭支援センター・子育て推進課・保育課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務の仕様書及び年間事業計画に基づき、施設の管理及び子育て支援拠点事業の運営が適切に行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	当該施設の設置目的及び管理運営上の基本的な事項等を理解するための研修や会議が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	イベントの事前告知を行い、柔軟に運営することで、利用者に対し公平・公正に対応するシステムが構築されている。	A		
事業の継続性の担保	記録、会議、研修を十分に行い情報共有を図り、引継ぎ期間を設け、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:347日 開館時間:8:30～17:00(子育て支援事務室は、提案よりも、平日1時間、土日30分開館時間を延長) 職員配置:正職員及び臨時職員 15人 臨時職員賃金:時給1,113円～1,300円	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 計画どおりのイベント実施ができたことで、利用者数はいずれも前年度に比べ増加している。 事業については、十分な感染症対策を講じ、事業計画書に基づいた講座イベントが概ね実施されている。	A
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年度比 利用者延べ人数 24,911人(121.1%) 【内訳】 支援啓発 9,353人(127%) 子育てひろば 12,845人(118%) 一時預かり保育 2,713人(117%)	A		
運営企画	グループ活動室管理、子育て講座・子育てイベント(ママ&ベビーヨガなど)、父親向けイベント、季節ごとのコンサート、年齢別サークル、子育て情報誌の発行、事業協力(見守り保育)、ひろばであそぶ、壁でお絵かき、地域連携、季節の制作、各種講座、季節の壁面制作、誕生会など	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:67,100,580円、支出:66,744,236円 (うち指定管理料 67,100,580円) 事業収支:356,344円 人件費比率:77%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	団体総合補償制度費用保険 支払限度額:300万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	印刷業務、丁合・製本業務を委託。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートでは「よかった」とする回答が多く、親切で正確かつ丁寧な対応ができていた。	A	職員の接遇は、研修や朝礼を通して、適切に対応されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報が共有化されている。 適切に周知され、公平・公正な利用が確保されている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアル、危機管理マニュアル(防災対応、地震対応、不審者対応、緊急時対応、苦情対応)が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	各種業務研修、接遇研修、危機管理研修、衛生関連研修等が行われている。	A		
所管部署との連携・連絡	月に1回連絡調整会議を開催されている。 緊急時対応マニュアルが事務室内に掲示されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを年2回実施し、館内掲示にて結果が公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットや通信を作成し、配布している。ホームページでも施設利用案内が周知されている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業運営に支障がない範囲で公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	ホームページ、チラシ等で広く周知するなど、公平・公正に利用できるシステムが構築されている。	A		
業務の点検	職員会議を定期的に行い、業務の振り返りが共有されている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	-	備品管理は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	-		
保安・警備	評価対象外	-		
小規模修繕	評価対象外	-		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理されている。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて、適切に職員への指導が行われている。	A	個人情報保護規定を制定し、適切に対応されている。	A
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報の保護に関する法律施行条例」に基づき、適切に業務が執行されている。	A		
適正な管理	記録媒体・個人パソコンの持ち込みを禁止し、入職時に個人情報の取り扱いについて誓約書が交わされていることで、適切に管理されている。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託されていない。	A		
研修・教育の実施	責任者を中心に危機管理等研修に参加するとともに、適時研修が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	条例及び個人情報保護規定に基づき、ルールが整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	一日あたりの利用件数が少数であるにもかかわらず、徴収した保育料に過剰が生じた事業が確認された。再発防止に向けて、現金受領時のダブルチェックの徹底など取組みを徹底して欲しい。	B	安全管理に関する事項は、再発防止を徹底してほしい。 事故防止策の取組みについては、マニュアルを整備し、適切に対応されている。	B
事故の予兆に対する対応	適切に対応できている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	事故につながり得る事象等を予見し、適切に対応できている。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、災害時の避難対応・不審者対応などの取り組みができている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外	—	—	—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	他自治体における同様の業務において、グループ構成事業者の指定管理業務等における不適正な業務執行が発覚した。なお、この事案については、組織的な指示によるものではなく、本市業務においては適正に運営されていること、法人全体での再発防止策が着実に実施されていることを確認している。	B	立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。	B
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
◆ その他特記事項				
特になし。				

◆ 総合評価

事業者振り返りコメント

【啓発】子育て家庭の孤立感・不安感の解消や子育て力の向上、父親の育児参加を促しながら、子育ては夫婦だけでなく祖父母等を含めた地域全体で行うことへの意識を高めるイベントと講座を実施した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、閉塞感からの解放を目的とし母親自身のための浴衣着付け講座、家族で参加しやすい小動物との触れ合いなどを積極的に実施した。またコロナ禍で中止していたRISURUホールでの親子三世代コンサートや中高生ボランティアの復活をし、地域の中高生が活躍する場や、家族地域で参加し楽しむ場を設けた。

【ひろば】令和5年5月以降「新型コロナウイルス感染症」の「5類感染症」移行に伴い、リトミックや音楽会など集客につながるイベントを開催し利用者増となった。午後の「ファミリーひろば」で幼稚園児の利用を促した。誕生会、壁面装飾、リトミック、音楽会、クリスマスコンサート、お父さんと一緒にイベントなどにより、親子で触れ合う楽しさを味わい、育児ストレスの軽減を図った。地域ボランティアによる読み聞かせ、花壇の手入、野菜収穫を通じて利用者と多世代が触れ合った。高松児童館、羽衣児童館の子育てひろばを巡回により子育て推進課、子ども家庭支援センターと連携した。

【一時預かり】利用者数は前年度比較で392人の増加があった。初回利用では、子どもを他者に預けることに不安を抱いている場合が多く、安心して預けてもらえるよう丁寧な接遇対応を心掛けた。初回利用後の子どもの様子に安心し、その後は定期的に利用する家庭が多く、利用者増につながった。外国籍の家庭や、双子やきょうだいで利用、発達課題がある子の利用などの増加傾向が続いている。多様性への理解および発達障害児への理解を深める話し合いや研修を実施した。

法人の東京都新宿区に端を発した不適正報告等については、第三者委員会による報告書に基づいた対応改善策として、全組合員によるコンプライアンスの徹底とともに、労働者協同組合にふさわしいガバナンス及びマネジメントの強化を継続し、健全な業務運営に努めている。

施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>【啓発】新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、イベント・講座を行う上でただ以前通りに戻すのではなく、子育てに関わる多様な家族、世代が参加できるよう創意工夫をして事業をおこない、参加者増となった点は評価できる。また、ボランティアなどによる地域との連携や「情報誌ほほえみ」の発行によって保護者同士の交流、保護者の活躍の場の提供などができていた。</p> <p>【ひろば】コロナ禍の利用者制限の撤廃に伴い、増加の見込まれる土・日曜日等に、一時保育でも利用するグループ活動室の空き状況を効率よく活用し、ファミリーひろばを展開したことは、子育てひろば室利用者の満足度をあげるだけでなく、ファミリー利用の機会もひろげた。また、月2回、父親も参加できる「ファミリーひろば」と「お父さんと一緒に」の継続実施により、立川市で日曜祝日開催の唯一の子育てひろばのイベントとして、育児参加促進事業の展開を実現している。</p> <p>【一時預かり】令和5年度は大幅な増加(前年比17%UP)となった。これは、令和5年5月から新型コロナウイルスが5類(感染症法分類)に移行にしたことにより、外出制限がなくなったことが少なからず寄与していると思われるが、キャンセル数の減少に取り組むなど、最大限の受入に努めた結果によるものと評価できる。今後は、きめ細かい利用者ニーズに対応していく方策を検討し、利用しやすさの向上につなげていくことを期待する。</p> <p>グループ構成事業者の他自治体での指定管理業務における不適正な業務執行があったが、本市業務においては適正に行われていること、法人全体での再発防止策が着実に実施されていること等を確認しており、1次総合評価は「A」とする</p>	A	<p>計画どおりのイベント実施ができたことで、利用者数はいずれも前年度に比べ増加している。</p> <p>コンプライアンスに関する事項について、立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に事業を実施していると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日(11年4ヶ月)	
事業名称	事業番号	事業担当課
市民活動支援業務	3	市民協働課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に基づき、市民活動に関する相談や市民活動プログラムを数多く実施するなど、市民活動支援業務が円滑に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	仕様書や事業者が作成した計画書を踏まえて事業者内で情報共有し、機会あるごとに業務チェックが行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	公平・公正のルールに基づき、相談希望者やプログラム実施担当者・参加者に対応されている。	A		
事業の継続性の担保	全てのコーディネーターが継続かつ安定して団体支援を実施できるよう教育体制の強化に取り組まれている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:359日 開館時間:9:00～22:00 職員配置:正職員3人(稼働2.5人)、本部よりサポート正職員1人 ※正職員のうち1名及びサポート正職員1名について、子ども未来センター以外の業務も兼務している。 給与についても、都が定める最低雇用賃金以上とし適切に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 利用団体を増やす取り組みを行うとともに、登録団体の活動基盤の強化につながる企画が行われているため、プログラム実施数や参加者数は増加している。 運営企画は、さまざまな対面イベントや、オンラインによるイベントが適切に実施されている。	A
利用状況	【利用状況】()内は前年度比 プログラム実施数 410件(116%) 参加者数 11,652人(124%) 〔内訳〕 協働事務室 1,871人(64%) プログラム 9,781人(136%) 委託業務の根幹である市民活動プログラムやそのプログラムに参加する市民数、支援するスタッフなど前年度実績を大幅に上回っている。特に定期プログラム化に向けた支援を強化することで、活動団体の基盤強化をされている。これらの取組を通じて、プログラム実施に係る各種指標は、コロナ禍以前の状況に回復しており、非常に高く評価している。	A		
運営企画	時代や価値観、意識の変化が顕著にみられる中で市民活動に取り組む団体の発掘は厳しい状況にあるが、多くの団体を発掘し新規登録につなげている(10団体)。プログラムに参加する市民の数も過去最高となるなど、またイベントやプログラムの実施においてもボランティアを募集・育成し、そのノウハウの発揮を通じて確実かつ継続した事業実施につなげている。専門的なノウハウを通じて協働のきっかけづくりにも積極的に取り組まれており、非常に高く評価している。	S		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:13,811,600円 (うち指定管理料13,811,600円) 支出:13,760,360円 事業収支:51,240円 人件費比率:72.5% 指定管理料の中で適正に事業を執行されている。	A	事業収支はプラスとなっている。指定管理者業務全体では、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	行事参加者にかかわる傷害保険 支払限度額:1事故500万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	第三者への委託は実施していない。	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	教育・研修を確実に実施しており、アンケートなどを通じてプログラムの実施サポートや相談対応に満足しているという意見が多数寄せられている。	A	アンケートでは、プログラムの内容について、高い評価を得ている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき業務が実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化がされている。	A
マニュアルの整備	日常の業務を推進するために確実にマニュアルを整備・更新し、業務を適正に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	年1回の社内研修を実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回の連絡調整会議、分科会の他にも適時電話、メールでの連絡・調整が行われている。	A		
利用者アンケート等の実施	プログラム参加者、実施団体を対象にアンケートを実施し評価・検証を通じて今後の事業の改善につなげている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	各市民活動支援機能パンフレット、プログラムのカレンダーなどの発行のほかホームページやSNSなどを利用して積極的に情報発信を実施されている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市への提出、講評を確実に実施されている。	A		
公平・公正利用の確保	募集要項等に基づき、公平な利用登録を実施されている。	A		
業務の点検	毎週定例会を実施し、業務の点検を実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—		—
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	評価対象外	—		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	評価対象外	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の管理、取り扱いについて適切に指導されている。	A	個人情報保護規程を整備し、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	適切に実施している。各種条例等の規定に基づき業務を執行されている。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、厳重に保管されている。	A		
再委託の禁止	業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	市のルールや社内ルールの理解、定着について適切に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を適切に整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情は特になかった。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	適切に実施されている。 災害発生時には合人社にて統括するため評価対象外。	—		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	幅広い地域団体や企業とのコラボレーションに取り組まれており、評価している。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
取材・視察対応、実習受け入れ	当支援業務を広く周知していくため、視察やインターンの依頼に対して対応した。厚生労働省、こども家庭庁といった行政機関のほか、慶應義塾大学、青山学院大学、東京理科大学大学院、多摩美術大学といった学術機関からインターンを受け入れた。			

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>令和5年度は、過去最高のコミュニティプログラムが実施された。平均すると月に約 32 回実施されたことになり、定期プログラムが日常的なプログラムの実施に大きく影響していることが伺える。近隣の自治会である『錦みよし会』との打ち合わせでは、協働イベントの紹介をはじめ、錦町で実施している夏祭りや、『錦みよし会はやし連』について互いに理解を深め、6年度以降の協働の可能性を検討することができた。今後は、より一層地域・企業・教育機関等との関係性をさらに深めつつ、団体との連携によって相互の課題解決や取り組みの発展につなげていけるよう、引き続き連携強化に向けて邁進したい。</p>			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<p>令和5年度は、ボランティア育成やアクティベート研修などを通じて人材育成を強化し、効果的・効率的なイベント実施とプログラムの継続的かつ定例的实施につなげ、結果としてプログラム参加者数は過去最高となった。また、団体同士の連携やボランティアの力を活かしながら市民活動のサポートを確実に実施している。前年度より地域・企業・団体等と積極的に協働を進め、子ども未来センターだけに留まらないアウトリーチを行っており、より広い地域の市民が子ども未来センターでのプログラムを認識し参加できるように工夫して実施していることも併せて評価したい。</p>	A	<p>市民活動が本格的に再開する中で、支援が適切に行われている。</p> <p>事業計画書等に基づき、施設の目的に沿った、効果的な事業がなされたと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日(11年4ヶ月)	
事業名称	事業番号	事業担当課
文化芸術活動支援業務	4	地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	評価対象外	—		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	評価対象外	—		—
利用者の公平・公正利用の確保	評価対象外	—		
事業の継続性の担保	評価対象外	—		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	評価対象外	—		
利用状況	【利用状況】 文化芸術講座参加者数 1,127人 (前年度比72.1%) 1開催あたりの平均参加人数 R4 13.1人/R5 12.8人 講座を88回開催し、必要開催数の30を大きく上回っていることは評価できる。	A	多くの講座を開催したことで、必要開催数を達成できている。	
運営企画	「子ども未来センター美術部」、「カッティングシートで子ども未来センターを飾っちゃおう」、「まんが絵の描き方教室」、「演劇ワークショップ」、「まんがペン入れ教室」、「ヨーヨーワークショップ」等を実施。	A	にぎわい創出のための文化芸術プログラムを事業計画以上に行ったことで、事業収支はマイナスとなっているが、指定管理者業務全体では、安定した管理運営が行われている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:6,600,000円、支出:7,920,000円 (うち指定管理料:6,600,000円) 事業収支:▲1,320,000円 人件費比率:42.9% にぎわい創出のため、文化事業に重点をおいており、指定管理業務に定められた数字以上の文化芸術プログラムが行われている。	A	多種多様な文化芸術に関するプログラムや独自性のある新しいプログラムも取り入れており、市民等が文化芸術に触れる機会を提供している。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	普通傷害保険 支払限度額:1億円(センター全体対象の請負賠償責任保険で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・応対等、実施されている。	A	利用者の立場に立った接客がされている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき業務が実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化がされている。	A
マニュアルの整備	整備されているマニュアルに基づいて適正に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議が実施されている。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等が記載され連携体制が確立されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページで公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成し、配布されている。ホームページで施設利用案内、行事案内が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・月次報告書を作成。市への提出と、求めに応じて閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築されている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	—	—
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	評価対象外	—		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	評価対象外	—		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて、適正に職員へ指導されている。	A	個人情報保護規程を制定し、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等に基づき業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は施錠して保管されている。	A		
再委託の禁止	市へ報告せずに業務を第三者へ委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定が整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する苦情等は、特になかった。 マニュアルが整備され、危機管理対応の体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制が構築され、周辺関連機関への連絡体制が整備されている。不審者対応について取り組まれている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
新型コロナウイルス感染症が2類から5類に緩和されて人を集めることに制限がなくなったが、講座によっては集客が戻ってきていないものもある。一方で、今年は海外からの来訪や、留学生の講座が前年を上回る参加があるなどバラエティ溢れる講座が開催できた。令和6年度もより面白い講座を開催してゆきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
○新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが5類に引き下げられたことで、感染症対策の緩和が進んだが、多人数が集まるイベントのため、感染防止対策を取りながらしっかりと対応できていたことは評価できる。 ○多種多様な文化芸術に関するプログラムを実施しており、独自性のある新しいプログラムも取り入れている点、石田倉庫やたちかわ創造舎など、市内の文化芸術分野の団体と連携を持ちながら実施されている点は評価できる。		A	地域の文化芸術活動拠点として認知されている。 新型コロナウイルス感染症法上の取り扱いが5類に引き下げられたあとも、多人数が集まるイベントでは感染防止対策をとることで、利用者が安心して講座を受講できている。 事業計画書等に基づき適切に事業が実施されていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
野村不動産ライフ&スポーツ・パートナーズ共同事業体	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	公募提案書の事業計画をベースに管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	社員を対象に仕様書、公募提案書の内容を確認し、設置目的の理解を深めている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	全ての利用者の方へ公平・公正にご利用いただくため、その都度提案が行われている。	A		
事業の継続性の担保	複数名で業務に携わることで安定したサービス提供が行われている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:336日(水質検査によるプール利用休止あり25日間) 開館時間:9:00～22:00 職員配置:正社員・契約社員11名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給1,140～1,300円 ※研修期間は1,120円	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 84,147人(113.9%) 団体利用 64,999人(112.6%) 教室利用 23,025人(152.3%) 合計 172,171人(117.3%)	A	利用者数は前年度に比べて増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行による利用者の行動変容から、コロナ禍以前の水準には戻っていない。	
運営企画	コロナ禍後の市民の行動変容の影響がある中で、参加しやすいイベント等の企画を実施している。	A	物価高騰の影響により、コロナ禍以前と比較して利用料金収入が大幅に減少している。また、自主事業については利用者数の回復に伴い、市への納付金も前年より増加しており、市歳入に貢献している。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:207,783,519円、支出:228,513,407円 (うち指定管理料:173,892,929円) 事業収支:▲20,729,888円 人件費比率:41.6% 物価高騰の影響および減収等に対し、指定管理料の補てん(34,024,852円、上記指定管理料を含む)を行った。 事業の継続性は確保されている。 自主事業納付金:6,382,423円	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を確保している。) 協定書に基づき、リスク分担して対応	A		
第三者への委託状況	清掃業務、プール水水質検査・簡易専用水道水検査、プール水水質検査・簡易専用水道水検査、電話交換設備保守点検、自家用電気工作物保安管理、エレベータ設備保守点検、自動ドア点検、建築設備定期検査、特定建築物定期調査、空調機点検業務、吸収式冷温水機保守点検、スタジオ用吸収式冷温水機保守点検、温水ボイラー保守点検業務、プール水処理設備保守点検、プール滅菌装置保守点検、空調用自動制御装置保守点検、煤煙濃度測定検査、空気環境測定業務、害虫防除及び生息調査業務、膜屋根保守点検、電動開閉式ドーム点検、機械警備業務、植栽管理保守業務、消防用設備保守点検、放送設備保守点検、受水槽設備等清掃、貯湯槽清掃、雑排水槽点検清掃、汚水槽・湧水槽点検清掃、プール還水槽清掃	A	適正にリスク分担して対応されている。 利用者数の増加に合わせて適切に感染症対策が実施されている。	A
新たな取り組みの状況	公共施設や幼稚園、専門学校へチラシを配布し、施設PRを実施されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者の評価はおおむね良好な評価を得ているが、前年度と比較して接客態度の評価は低下している。	A		
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	各種研修を定期的に行われている。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の業務調整会議の開催とともに、日常的な連絡・調整をされている。	A	日常的に意見を受け付け、利用者の声を運営に活かされている。	
利用者アンケート等の実施	日常的に意見を受け付け、利用者の声を運営に活かしているが、アンケート項目が前年度と比較して減少している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを施設内に設置するとともに、ホームページにより、適宜情報を発信している。市LINEによる周知も行われている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。	A
事業計画・報告書の公表	企業の内部情報、経営ノウハウを除き、原則公開されている。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システムにより、公平・公正な利用を確保されている。	A		
業務の点検	チェック表を作成し日次で業務点検を行い、改善されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画に基づき、適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕は、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	上水配管切替工事、プール目洗い場水栓器具交換、給湯配管補修工事、外構グレーチング隙間補修、プール窓カムラッチハンドル補修、プールスライドドア不良修繕、冷却塔薬注装置メンテナンス、プール非常扉修繕、冷却水ポンプNo.1漏水補修、男女トイレ大便器不具合改修、プール内女子トイレ扉改修、プールサイド床面防滑施工作業、AHU-3空調機修繕作業、MIOX 溶液タンク内部品改修作業、25mプール用溶液注入タンク修繕作業、受水槽 各種部品交換作業、男子更衣室内シャワー水栓器具交換、男子更衣室内シャワー水栓器具交換、各所熱交換機 換気不具合改修、AHU-7 空調機配管修繕作業、冷温水発生器No.2不具合改修	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理されている。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日次・月次での確認が行われている。	A	個人情報マニュアルに基づき適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務を遂行されている。	A		
適正な管理	研修により対策を徹底されている。	A		
再委託の禁止	個人情報の取扱いに係る再委託は行われていない。	A		
研修・教育の実施	社内研修及び施設内での日常的な教育を実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護マニュアルを整備されている。	A		
(6) 安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	安全管理上、特に問題となる事故・苦情は発生していない。	A	安全管理上、特に問題となる事故・苦情は発生していない。 事故の予兆に対する取り組みは、適切に行われている。 マニュアルや各業務フローの作成・運用により事故防止の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	事故につながる恐れがある箇所について、所管課と協議し、対応されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	状況報告を適切に行い対応されている。			
事故防止対策の取り組み状況	事故防止対策を適切に実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	市内の教育機関との連携や地域団体との連携活動が行われている。	A	地域や関係団体等との連携・協力をされている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
アクアレッシン	T-CRUSH・ゆっくり歩行・スマイルアクアマーチ&ラン等の水中にて行うレッスンの実施			
スタンプラリー	利用者はトレーニングジムを利用をし、規定回数のスタンプが貯まると20分パーソナルを無料で受講できる			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>利用人数・利用料金共に前年度を上回る結果となりましたが、コロナ禍による行動変容が残る中での運営が続き、コロナ禍以前の平成31年度と比較すると8割弱程度の結果となりました。</p> <p>運営面では、泉市民体育館指定管理者とも情報共有を随時行い、両体育館の運営に活かしました。事業については、昨年度よりも増やしたくさんの方にご参加いただくことができました。令和6年度もさらに増設し利用者増につなげてまいります。施設の維持管理に関しては、発生予防を第一に考え、限られた修繕予算の中で優先順位をつけ貴市と協議の上修繕を実施いたしました。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<p>新型コロナウイルス感染症5類移行後の市民の行動変容による利用者離れの影響があり、利用者数は前年比で増加したものの、コロナ禍前の水準までの回復は見られず、物価高騰などの影響もあり、赤字収支となっている。</p> <p>運営面においては、令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響に配慮した運営を心がけていたが、5年度は、自ら地域への施設PRや、スポーツジム運営のノウハウを活かした取り組みを行っており、市民の健康増進に寄与されたことを高く評価する。</p> <p>施設の維持管理面では、建物・設備が全体的に老朽化し、改修工事が予定されている中、不具合・劣化箇所の緊急度、優先度を判断し、市に提案、協議しながら、適切な修繕を実施されたことを高く評価する。</p> <p>赤字収支となつてはいるが、維持管理に関する各種経費の上昇を料金に反映することが難しい制度のなかで、スポーツジム運営のノウハウを活かしたプログラム実施などにより、市民に多様なサービスを提供したことを評価し、A評価とする。</p>	A	<p>利用者数は前年度に比べて増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の市民の行動変容から、コロナ禍以前の水準には戻っていない。利用者の日常的意見を受け付け、利用者の声を運営に活かされている。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市泉市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
シンコー・立川体協・アズビル共同事業体	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に沿った管理運営をおこなうため、毎月提案業務の履行確認が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	市民の生活を向上させるため、市民体育やスポーツ振興、第2次スポーツ推進計画など、理解度向上のため、職員の共有機会が設けられている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	すべての利用者が公平・公正に利用できるシステムが構築されている。	A		
事業の継続性の担保	事業を安定的に実施するために、研修プログラムを構築し、継続的に学習を行い、専門知識の習得、資格取得を実施されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:334日 開館時間:9:00～23:00 職員配置:正社員・契約社員7名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給1,351円～1,557円	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 91,174人(118%) 団体利用 147,987人(131%) 教室利用 31,522人(121%) 合計 270,683人(125%) 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の市民の行動変容による利用者離れの影響や、プール室壁面塗装塗膜膨れ対応工事、第二体育室屋上防水工事による利用休止の影響がある中で、前年を上回る利用実績を残している。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の市民の行動変容による利用者離れの影響や、プール室壁面塗装塗膜膨れ対応工事、第二体育室屋上防水工事による利用休止の影響がある中で、利用者数は前年度からは増加している。	
運営企画	健康推進課など市と連携した事業に継続して協力されている。地域プロスポーツチームと連携し、「みる」スポーツ「ささえる」スポーツの面で地域に貢献されている。令和4年度から再開したアクアフェスティバルにも多数の参加者があり、障害者のスポーツ参加にも貢献されている。	A	提案事項は事業計画書等に基づき、適切に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:188,404,880円、支出:195,658,022円 (うち指定管理料:143,963,520円) 事業収支:▲7,253,142円 人件費比率:49% 減収に対し、指定管理料の補てん(14,931,043円、 上記指定管理料に含む)を行った。 事業の継続性は確保されている。 自主事業納付金:478,511円	A	コロナ禍後の市民の 行動変容による利用 者離れの影響から、 利用料金収入はコロ ナ禍以前の水準には 戻っていない。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円(仕様書の水準を超えてい る。) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	
第三者への委託状況	プール水質検査、冷温水発生機保守点検、電光 表示設備保守点検、機械警備業務、エレベーター 設備保守点検、プール滅菌装置点検、自家用電 気工作物保安全管理業務、電話交換設備保守点 検、消防用設備保守点検	A	FM立川やホームペー ジの活用等、施設PR を積極的に実施され ている。	
新たな取り組みの状況	FM立川への出演交渉を館長自ら行い、施設PRを 行われたことは、地域貢献面で高く評価する。ホー ムページについても、PR向上に継続して取り組ま れている。	S		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者間でトラブルを起こした事案について、市に 丁寧に報告するなど、マニュアルでは想定できな い事案についても適切に対応されている。 また、利用ルールに納得しない利用者に対しても 丁寧に説明するとともに、業務調整会議で事案報 告を行い、必要な情報共有が行われている。 前年度まで、アンケートの回答数が少ないことが 課題となっており、より多くの意見を得るための取 組を進めた結果、回答者数が前年度を大きく上回 るとともに、利用満足度も良好だったことを高く評 価する。	S	職員の対応では、マ ニュアルでは想定でき ない事案についても 適切に対応されてい る。この積み重ねに よって、利用者アン ケートの回答者数の 増加や高い満足度を 受けたことにつなが っている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	社内研修、日常研修を積極的に実施されている。	A	業務マニュアルを整 備し、マニュアルに 沿って業務が実施さ れている。	
所管部署との連携・連 絡	対応に注意を要する案件については市に個別に 報告するなど、定例報告以外も適切に対応されて いる。	S	職員研修を行い職員 の接遇及びスキルの 向上に取り組まれて いる。	
利用者アンケート等の 実施	日常的に意見を受け付け、利用者の声を運営に 活かしている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	モノレール沿線の他市体育館閉館情報を収集し、 泉市民体育館への誘導を働きかける、FM立川に 館長自ら出演し施設PRするなど、積極的な取り組 みを高く評価する。	S	対応に注意を要する 案件については、定 例報告以外でも個別 に報告されている。	
事業計画・報告書の公 表	企業の内部情報、経営ノウハウを除き、原則公開 されている。	A	施設利用者数向上に 向けた広報・PR等 の取組について高く評価 できる。	
公平・公正利用の確保	施設予約システムにより、公平・公正な利用を確 保されている。	A		
業務の点検	社内監査を行い、業務点検を実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	チェックリストを作成し、適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕は、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	非常放送設備修繕、誘導灯設備修繕、トレーニング室PAC空調修繕、外灯ランプ修繕、屋外ベンチ修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	内部監査員による調査・監督が行われている。	A	個人情報保護マニュアルに基づき適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護を十分に教育・理解し業務を遂行されている。	A		
適正な管理	全スタッフと個人情報に関わる同意通知を結び防止策を講じている。	A		
再委託の禁止	個人情報の取扱いに係る再委託は行われていない。	A		
研修・教育の実施	社内研修及び施設内での日常的な教育を実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護マニュアルを整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	プール利用者の救急・救命対応等について、適切に対応されている。	A	事故について、適切に対応されている。 マニュアルや訓練を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	事故発生時に緊急時対応訓練が活かされている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	監視員による早期発見対応がなければ生命にかかわる事案であり、適切に対応されている。			
事故防止対策の取り組み状況	安全管理マニュアルや日常の救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組まれている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の方や来館者との積極的なコミュニケーションがとられている。 関係団体との連携を継続して行われている。 新たな取り組みとして多摩モノレール立飛駅構内でポッチャ体験会を実施し、地域住民にニュースポーツに親しむ機会を提供されたことを高く評価する。	A	地域や関係団体等と連携、協力されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>市民の行動変容の影響を受け、失われた運動習慣や利用者コミュニティを取り戻してもらえよう様々な活動を実施しました。市民への運動機会の創出の取組みとして地域への指導員派遣や健康体操の自主グループ立上げなどをおこないました。より多くの方の目につくように、広報活動にも力をいれました。取組成果として、個人利用者数は前年度比118%、総利用者数では約5万人の利用者増となりました。施設大規模修繕の影響で、プールを約2カ月間の休場、第二体育室を約2カ月間の利用中止となりました。施設の老朽化が進む中で、安全性の確保を最重視しながらも、利用者への影響が最小限になるよう調整をしながら施設運営をおこないました。また、地域連携にも取組み5年度は、多摩都市モノレールとの障害者事業連携やFM立川による施設PR、市内小中学校の職場体験受入れなど積極的に輪を広げました。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>新型コロナウイルス感染症5類移行後の市民の行動変容による利用者離れの影響や、プール室壁面塗装塗膜膨れ対応工事、第二体育室屋上防水工事による利用休止の影響がある中で、FM立川での施設PRなどの広報活動、多摩都市モノレールと連携した教室開催、地域プロスポーツチームとの連携による「みる」「ささえる」スポーツの提供、市各種健康事業への協力を行い、前年度と比較して約5万4千人利用者数が増加したこと高く評価する。</p> <p>施設の維持管理面では、保守点検等を適切に業務実施したことに加え、機器不良が懸念される設備についての改善提案を行い、安定した施設運営に寄与したこと、前年度に引き続き、物価高騰下において、水光熱費を計画値以下に抑えて運営したことを高く評価する。</p> <p>赤字収支となっはいるが、施設の利用休止などの影響で、年間を通じて通常の管理運営が行えない状況であり、また、維持管理に関する各種経費の上昇を料金に反映することが難しい制度のなかで、市民に多様なサービスを提供したことを評価し、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症5類移行後の市民の行動変容による利用者離れの影響や、プール室壁面塗装塗膜膨れ対応工事、第二体育室屋上防水工事による利用休止の影響がある中で、利用者数は前年度からは増加している。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸児童館	非公募・特命	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和4年4月1日～令和8年3月31日(4年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議などにおいて、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館登録の毎年更新時における周知、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行われ、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 334日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤4名、非常勤3名(雇用6名) 常勤給与: 215,000円～/月 非常勤賃金 時給1,115円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症による制限も5月でなくなったものの、前年度に比べて個人利用者数が減少している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 16,206人(98.2%) 団体利用 1,713人(97.7%) 館外行事 167人(260.9%) 合 計 18,086人(98.7%) 新型コロナウイルス感染症による制限も5月でなくなったものの、利用状況は前年度から減少となっている。	A		
運営企画	こどもの日企画・季節行事・子ども実行委員企画・地域との連携・各年代別の事業を実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入: 38,878,994円(指定管理料) 支出: 37,929,567円 事業収支: 949,427円 人件費比率 76.9% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	適正にリスク分担して対応されている。	A
第三者への委託状況	消防設備保守、館内・じゅうたん清掃、害虫駆除、 建築設備定期検査、樹木剪定、非常通報装置保守管理	A		
新たな取り組みの状況	緑化活動、学習支援、近隣住民との地域を学ぶ取り組みを実施	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 利用者アンケートを実施し、独自ホームページにより情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	児童館業務マニュアル、危機管理マニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マニュアル/保護規定、清掃マニュアルが設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページにより情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができる。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	流し台床材交換、壁塗装修繕、非常灯バッテリー交換を実施。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを設定し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者が怪我をした事案があった。怪我をした児童への応急処置、保護者への連絡、保護者とともに病院へも同行するなど、事後も適切に対応されている。	A	事案判明後の対応については、適切な対応と再発防止策がとられている。 事故の予兆に対する対応は適切に行われている。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	館内整理日に危険個所の確認、見守りの立ち位置の確認を行い、適切に対応されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 避難訓練、法人内研修が実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	お祭りの会議や三町青少健等へ参加し、要望等があれば情報共有し、各団体との交流を行い、貸館業務や公園の清掃等を通じ地域との関係が築かれている。 また、地域の行事や会議に積極的に参加されている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	他自治体における同様の業務において、人員配置に関する虚偽の報告等の仕様違反があった。立川市においては仕様違反はなかった。事業者として再発防止に向けた取り組みを検討されている。	B	立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。	B
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—

◆ その他特記事項			
乳幼児親子向け事業	子育てひろば事業としてあかちゃんタイム(親子のふれあいやフリートーク)、きりんタイム(からだを動かす)を実施。		
地域会議	さいわい町地域懇談会に出席した。		
地域会議	幸学習館地域運営協議会に出席した。		
放課後子ども教室	幸小学校はっぴいスマイルクラブで出張児童館を実施した。		
放課後子ども教室	第八小学校はちっ子クラブで出張児童館を実施した。		
児童館広報活動	立川市クラフト同好会(竹とんぼ・昔遊び)の活動に協力した。		
◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>施設管理については、施設・設備点検及び施設チェック表に従い年4回点検を行っている。また、年間を通して毎日の開館・閉館作業の際には、清掃に加え日常点検を行っている。地震・台風等発生の際は速やかに再度点検を行い、子ども育成課へ報告を行っている。清掃、消毒、網戸貼り、草むしりや電球交換等は、日常的に行い、業者を必要とする施設の修繕においては計画的に予算を組み実施をしている。</p> <p>運営にあたっては、子どもが楽しめる物や日本の伝統文化、季節を感じられる行事等年間の事業計画を立案している。児童館の利用ルール、行事内容について子ども会議で話し合い、子ども達の要望を日々の運営に反映させている。他には利用者交流会・日々の運営の中より上がった利用者の声を事業に反映させている。また日頃より幸学習館、栄福祉作業所、中砂保育園、防災ボランティアネット、お手玉の会、グッドネイバーを進める会等、地域の方々のご協力を頂きながら運営を行っている。</p>			
施設担当課評価			2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の制限がほぼ解除され、様々な活動が再開された。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所として適切な安全管理がなされていたと言える。</p> <p>日々の施設管理や清掃等を怠ることなく運営していることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。また、地域との会議にて意見交流する機会を設け、連携を強化していることは、信頼関係が確立されていることの証でもある。児童館の施設点検のほか、職員間での情報共有を日々行っている。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展し、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>事業計画書に基づき、適切に館の運営を継続することができた。</p> <p>館の管理・運営だけでなく、積極的に地域行事や関係機関との連携も行っており、地域における児童館の役割が認知されている。</p> <p>仕様書等に基づき管理・運営状況は適切であると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松児童館	非公募・特命	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により、利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録が行われ、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 334日 開館時間: 9:00~20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤3名、非常勤6名 常勤給与: 215,000円~/月 非常勤賃金: 時給1,115円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、前年度に比べて個人利用、団体利用ともに利用者数が増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 13,480人(106.5%) 団体利用 533人(165.5%) 館外行事 32人(65.5%) 合計 14,046人(107.8%) 新型コロナウイルス感染症による制限も5月でなくなり、通常の利用状況に戻りつつある。	A		
運営企画	新一年生歓迎会、こどもの日企画、地域との連携行事、他児童館との合同行事、自然体験事業、季節行事、子ども委員会などを実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入: 37,561,653円(指定管理料) 支出: 36,713,193円 事業収支: 848,460円 人件費比率 77.4% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
第三者への委託状況	定期清掃、害虫駆除、絨毯クリーニング、非常通報装置、カーテンクリーニングを実施	A		
新たな取り組みの状況	地域のボランティアによる切り絵、お正月遊びを実施されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 児童館ホームページを活用し情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等が設置されている。 定期的なマニュアルの確認を行っている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページにより情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。 施設周辺の美化も積極的に行っている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	各所不良による小規模修繕は適切に行われている。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	子育てひろばについて、職員全員がイベントの対応をしていたため、利用者への対応ができないことによる苦情が発生した。相手方への謝罪、担当課への連絡、再発防止策の実行と、適切な事後対応ができています。	A	利用者からの苦情があったが、適切に事後対応されている。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	危険と思われる場所では見守りや声掛けの確認を行い、適切に対応されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	高学年が多く遊んでいたときに、体も大きく、力も強いことから、怪我の危険性が高いと判断して制止させるなど、適切に対応されている。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	高松町・曙町青少年等への参加、高松会館、学習館との連携、高松商店街や自治連と情報共有や連携がとられている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	他自治体における同様の業務において、人員配置に関する虚偽の報告等の仕様違反があった。立川市においては仕様違反はなかった。事業者として再発防止に向けた取り組みを検討されている。	B	立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。	B
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
中高生ロングタイム	中高生に特化したイベントを実施。 小学校卒業後も継続して児童館に来館するきっかけづくりとして実施した。			

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>令和5年度は新型コロナウイルス感染症も落ち着き、コロナ禍以前に近い活動ができるようになった年であった。地域との連携も少しずつだが戻りつつある。児童館、子育てひろばでの「ハロウィンイベント」では地域の方々にご協力頂き、高松町を練り歩き、協力店へ伺うこともできた。また、地域交流会では、普段の子ども達の様子を見て頂く機会とし、初めて自由参観型を取り入れた。実際に子ども達と一緒に活動することで、様々な意見を聞くことができた。</p> <p>児童館行事としては、飲食再開が大きなポイントとなった。夏まつり、ハロウィン、クリスマスでは各イベントのテーマに合わせた飲食を実施することができた。乳幼児親子、お友達同士、一緒に笑顔で飲食する姿が印象的であった。また「中高生ロングタイム」を数年ぶりに復活させた。今まで中高生の利用が少なかったが、5年度は小学校卒業後も継続して利用する姿が多く見られた。</p> <p>新たな事業の取り組みの館外活動については、5年度は準備・計画期間とし、6年度実施予定としている。</p>			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の制限がほぼ解除され、様々な活動が再開された。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされていたと言える。</p> <p>日々の施設管理や清掃等を怠ることなく運営していることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。また、地域との会議にて意見交流する機会を設け、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。児童館の施設点検のほか、職員間での情報共有を日々行っている。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展し、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるよう、より一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>利用者である子どもの意見や意向を聞き入れ、ニーズに合った行事を実施され、利用者増につながっている。</p> <p>地域団体や商店街と連携した事業により、地域に根付いた活動を実施している。</p> <p>事業計画書に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和5年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成25年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した若葉児童館は、令和5年度で指定管理期間通算で11年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行った。また、併設の若葉学童保育所でも土曜日の延長保育を継続実施し、ともに安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
若葉児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録が行われ、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 334日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤4名、非常勤7名 常勤給与: 215,000円～月 非常勤賃金: 時給1,115円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 17,653人(108.6%) 団体利用 179人(198.9%) 館外行事 832人(153.2%) 合計 18,664人(110.5%) 新型コロナウイルス感染症感染症による制限も5月でなくなり、通常の利用状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、前年度に比べて個人利用、団体利用ともに利用者数が増加している。	
運営企画	新入生・保護者向け事業、運動の楽しさに触れる行事、学習支援事業、多様な文化に触れる行事、乳幼児向け行事の充実、中高生事業の充実、地域との連携、地域行事の参加、子どもと作る行事を実施	A	事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入: 54,996,579円(指定管理料) 支出: 54,959,330円 事業収支: 37,249円 人件費比率: 78.2% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
第三者への委託状況	消防設備保守・点検、定期清掃、害虫駆除、非常 通報装置、樹木せん定、建築設備定期検査、カー テンクリーニングを実施。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されてい る。	A	子どもをはじめ、利用 者への対応は、適切 に行われている。 業務マニュアルを整 備し、マニュアルに 沿って業務が実施さ れている。 利用者アンケートを 実施し、年度内に公表 されている。 独自ホームページに より情報提供が行わ れている。	A
マニュアルの整備	児童館・学童保育所業務マニュアル、危機管理マ ニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マ ニュアル／保護規定、清掃マニュアル等が設置さ れている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示さ れている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへ のおたより掲載、児童館独自ホームページにより情 報が発信されている。	A		
事業計画・報告書の公 表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	責任者により業務点検を適宜実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設 の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態 を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画 書・協定書に基づき適 切に実施されている。 小規模修繕につい ては、適切に行われ ている。	A
施設及び設備の保守・ 点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備 し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点 検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	遊戯室ガラス交換、遊戯室外壁ウエザーカバー交 換、出入口外灯交換を実施。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	トランポリンで遊んだ児童が怪我をした事案等が発生したが、児童への応急処置、保護者への連絡など、事後対応を適切に対応されている。	A	児童が怪我をした事案が発生したが、事後対応が適切に対応されている。	A
事故の予兆に対する対応	日々の会議や月1回の職員会議でトラブル対策の検討などを行い、見守り強化や連携がされている。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	児童館に道を聞きに来た高齢者の受け答えが不明確なことに不安を覚え、警察に連絡するなど、適切な対応をとられている。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。定期的な避難訓練も実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	若葉青少健への参加等、常に地域との連携がとられている。小学校下校時の見守り、夕焼けチャイム時の見守りが実施されている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	他自治体における同様の業務において、人員配置に関する虚偽の報告等の仕様違反があった。立川市においては仕様違反はなかった。事業者として再発防止に向けた取り組みを検討されている。	B	立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。	B
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催した。			
地域との協力	立川ふれあいこどもまつりにて児童館ブースを提供。実行委員会に出席し、企画に参加した。			

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>利用者の大多数が地域の小中学生だが、隣接する2市からの利用者も増加している。幼児期から継続して利用している小学生が、友達を連れて来館し広がっている様子が見られる。また、乳幼児の利用が大きく増加しており、身近にある安心して遊べる場所の一つとなっていることが考えられる。若葉台小放課後子ども教室で工作や校庭遊びをする事に加え、若葉図書館での講座実施や団地のイベントにゲームコーナーを設置するなど、出張児童館の活動を広げた。その他、地域団体の行事に協力する機会も多くいただき、「地域の中の児童館」を強く感じる事ができた。第1回地域交流会は、参観形式で実施したところ、小学校の先生方が多く参観して下さったり、地域の方と小学生の交流が見られたりした。「児童館は小学生以下が遊ぶところ」というイメージが、大人にも子どもにも強くある中、中高生事業について思案を重ねてきた。今後も多感で多様な中高生に寄り添い、受け入れながら、児童館だからできることを考え事業の充実を図る。</p>			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の制限がほぼ解除され、様々な活動が再開された。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされていたと言える。</p> <p>日々の施設管理や清掃等を怠ることなく運営していることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。また、地域との会議にて意見交流する機会を設け、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。児童館の施設点検のほか、職員間での情報共有を日々行っている。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展し、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>		A	A
		館の管理・運営だけでなく、積極的に地域行事や関係機関との連携も行っており、地域における児童館の役割が認知されている。	
		地域及び関係機関との連携による事業が定着しており、成果を上げている。	
		事業計画書等に基づき、管理・運営は適切に行われていると判断し、A評価とする。	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
若葉学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録が行われ、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数: 293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤2人、非常勤3人 常勤給与: 215,000円/月 非常勤賃金: 時給1,115円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 40人 延べ利用人数 5,296人(93.8%)	A		
運営企画	伝承遊び、水遊び・縁日遊び、お誕生日会(毎月)、工作、おたのしみランチ、ゲーム大会、親子交流会、子ども喫茶を実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(若葉児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備・保守点検、定期清掃、害虫駆除、非常通報装置、樹木剪定、建築設備定期検査、カーテンクリーニングを実施。 児童館と一体的に実施。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A		
事業計画・報告書の公表	児童館事務室に常設している。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正な利用が確保されている。	A		
業務の点検	法人内部監査を実施し、適宜行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回し、確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故等は特になかった。	A
事故の予兆に対する対応	日々の会議や月1回の職員会議でトラブル対策の検討などを行い、見守り強化や連携されている。		事故の予兆に対する対応は適切に行われている。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。毎月避難訓練が実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、学校や地域住民との連携がとられている。	A	適切に地域との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	他自治体における同様の業務において、人員配置に関する虚偽の報告等の仕様違反があった。立川市においては仕様違反はなかった。事業者として再発防止に向けた取り組みを検討されている。	B	立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。	B
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>コロナ禍の規制が5月から緩和され、マスクを外す子どもが多くなったことで表情の変化が多く見えるようになった。子どもたち同士も顔を合わせて会話することが出来、以前よりも同級生同士、異学年間の仲が深まっていた。</p> <p>大きな事故や怪我が無かったことが特徴な1年だった。危険な行動があった時は、なぜその行動がいけないのか、その行動を続けていくとどうなるのかを子どもたちの目を見てしっかりと伝えた。子どもたちと職員が協力して安心な安全な学童保育所作りが出来たのだと感じる。</p> <p>また、行事も少しずつではあるがコロナ禍前に実施していた、子ども喫茶、親子交流会を再び実施することが出来た。子ども喫茶では、登下校の見守りをしてくださっているシルバー人材派遣センターの方をお招きし、一緒に昔遊びやミニゲームをした。普段は挨拶だけの交流だが、遊びを通して、多くの会話をすることが出来ていた。また、親子交流会では、土曜保育を利用する児童のほとんどが親子で参加し、一緒に工作やゲームをして、親子でのふれあいの時間を作ることができた。</p>			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価
<p>新型コロナウイルス感染症の制限がなくなったとはいえ、インフルエンザをはじめ感染症への注意は尽きない。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。</p> <p>大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない努力は、評価に値する。</p> <p>画一的ではない、在籍児童に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も継続していただきたい。</p> <p>また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。</p>		A	A
		児童館と合同行事を実施するなど併設のメリットを生かしつつ運営されている。	
		児童の状況把握しつつ、事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和5年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	西砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	松中学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
<p>評価理由等：</p> <p>平成25年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した西砂児童館は、令和5年度で指定管理期間通算で11年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行ってきた。</p> <p>また、併設の松中学童保育所では、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んでいる。</p>	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
西砂児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 334日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤3名、非常勤6名(雇用9名) 常勤給与: 215,000円～/月 非常勤賃金: 時給1,115円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用状況は、放課後子ども教室くるプレを松中小学校に導入した影響で、前年度に比べて個人利用の利用者数が減少した一方で、団体利用の利用者数が大幅に増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 16,685人(96.9%) 団体利用 387人(182.6%) 館外行事 572人(139.3%) 合計 17,644人(98.9%) 新型コロナウイルス感染症感染症による制限も5月でなくなったものの、利用状況は前年度から減少となっている。	A		
運営企画	地域との連携、地域施設等との連携、季節行事(地域との連携・子ども実行委員)、被災地復興支援事業、福祉サービス向上の取り組み(父親育児支援を含む乳幼児保護者支援)、学習支援地域との連携を実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入: 63,336,436円(指定管理料) 支出: 60,920,683円 事業収支: 2,415,753円 人件費比率: 75.3% 指定管理料の中で適正に事業執行されている。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	床清掃、窓ガラス清掃、樹木剪定、害虫駆除、空調設備点検・保守管理、消防設備保守・点検、建築設備定期検査、特殊建築物設備定期検査、非常通報装置保守点検を実施。	A		
新たな取り組みの状況	子どもの居場所づくり、地域ハザードマップ作りを実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への職員の対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	児童館・学童保育所業務マニュアル、危機管理マニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マニュアル／保護規定、清掃マニュアル等が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページにより情報が発信されている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	責任者により業務点検を適宜実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	館内コンセント設備修繕、遊戯室入口扉修繕、玄関ホール等の照明交換、図書室アコーディオンカーテン撤去を実施されている。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員への徹底と定期的な責任者の確認が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	子育てひろば利用中の児童が転倒し、怪我をする事案等が発生したが、再発防止やさらに大きな事故につながることにに対して対応策を実施するなど、適切な対応をとっている。	A	事故・苦情対応状況については適切に対応されている。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	毎日の開館作業時をはじめ、随時危険箇所の有無を確認し管理を行っている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会、地運協、青少健定例会、にしっこ、近隣自治会などと情報共有や連携がされている。貸館業務においては西砂学習館中規模改修中の利用団体貸館受け入れを実施されている。地域アンテナショップ『にこにこサロン』イベント協力、青少健・松中小ぐるプレ主催行事への協力などを実施されている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	他自治体における同様の業務において、人員配置に関する虚偽の報告等の仕様違反があった。立川市においては仕様違反はなかった。事業者として再発防止に向けた取り組みを検討されている。	B	立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。	B
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
地域連携	近隣小学校施設を使用したバドミントン大会の企画実施(年度内2回実施)。学校管理職をはじめとする協力が得られた。			
子どもたちの将来に向けた取り組み	東京都ドッジボール協会主催大会への参加(2大会)。市内対抗ドッジボール大会で実績を収めた子どもたちに、さらなる技術向上はもちろん、地域にとどまらないハイレベルのチームと対戦することによる経験を提供できた。			

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>少しづつ以前の日常に近づいてきた印象の1年で、特に、利用生徒を通じて都立武蔵村山高校の書道部による協力が得られ、新たな地域連携の形が構築できたのは、嬉しい成果ととらえている。また、不登校の児童生徒の受け入れや、配慮の必要な児童生徒についての情報共有など、様々な機関と連携しながら、子どもたちにとって心地よい居場所を目指して運営を続けてきた。施設管理としては、小規模修繕が少し進んだものの、落雷や低温の影響による故障も相次いだ。利用者への影響が最小限で済んだのは救いである。また、子どもの声や音などで地域からご意見をいただいたり、不審者案件に繋がりがかねない事象もあったが、そのたびに地域自治会の協力を頂き、住宅地に於ける子育て施設の共存について互いに考える機会に繋がったと考える。今後も運営の質を高め、拠点施設として子どもたちが伸び伸びと過ごす環境が保証されるには何が大切なのかを意識していく。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>令和5年度は、多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故等なく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされている。</p> <p>放課後子ども教室くるプレを松中小学校に導入し、ランドセル来館利用児童が減少したにもかかわらず、団体利用者数が増加していることは素晴らしい。</p> <p>事業者の振り返りにもあるが、感染症対策を怠ることなく運営していることは、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。地域との会議にて意見交流する機会のある場として、3年ぶりに地域交流会を開催し、地域との連携を強化されていることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。幅広い課題を抱える中、関連機関と連携することで、今後もその関係性の維持、発展し、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>利用状況は、放課後子ども教室くるプレを松中小学校に導入した影響で、前年度に比べて個人利用の利用者数が減少した一方で、団体利用の利用者数が大幅に増加している。</p> <p>事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施し、適切に管理・運営がなされていると判断しA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市松中学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
松中学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿った運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数: 293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤3人、非常勤3人 常勤給与: 215,000円～/月 非常勤賃金: 時給1,115円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 70人 延べ利用人数 13,722人(104.3%)	A		
運営企画	工作週間、誕生会、クリスマス会、合同避難訓練、お楽しみランチ、褒めらレター、親子遠足、にしすなまつなカタ涼み会、保育参観、ぬり絵コンテストの実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(西砂児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(西砂児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A		
事業計画・報告書の公表	年間事業計画が利用者に配布されている。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正な利用が確保されている。	A		
業務の点検	職員会議で全体の課題確認が実施されるとともに、責任者による業務点検が実施されている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情は発生していない。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	毎日の開館作業時をはじめ、随時危険箇所の有無を確認し管理を行っている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	鉄棒で遊び中にバランスを崩し、本人の意図しないタイミングで手を離してしまい、落下してしまった。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。 毎月避難訓練が実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、学校や地域住民との連携が行われている。	A	日常的に地域との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	他自治体における同様の業務において、人員配置に関する虚偽の報告等の仕様違反があった。立川市においては仕様違反はなかった。事業者として再発防止に向けた取り組みを検討されている。	B	立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。	B
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>在籍児童70名中1～2年生が55名、加配児童も4名(2学期より特別支援級児童がさらに1名追加)という、前年度に続きに気の抜けない状況での保育となった。特に、家庭事情や保護者のかかわりに端を発するとみられる、配慮の必要な行動を示す児童も多かった。問題行動に目を向けるのではなく、その背景を考慮し、学童内で出来る子供や保護者への支援として何が必要か、複合施設の強みを活かし、学童・児童館の職員全体制で見守りを継続した。</p> <p>運営については、保護者会共催の大型行事「にしすなまつなか夕涼み会」においては、青少健をはじめとする地域の協力を得ることができ、また学童親子遠足も2年連続で実施することが出来た。</p> <p>今後もご家庭に代わって子どもの安全を守るという学童保育の基本に立ち返り、子育て現場の原点を見失わず、子どもたちにとって安心安全な場所であることを最優先に運営を続けていきたい。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>新型コロナウイルス感染症の制限がなくなったとはいえ、インフルエンザをはじめ感染症への注意は尽きない。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。</p> <p>大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない行動は、評価に値する。</p> <p>画一的ではない、在籍児童に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も継続していただきたい。</p> <p>また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。</p>		A	<p>児童館と合同行事を実施するなど併設のメリットを活かしながら運営されている。</p> <p>児童の安全管理に関する事項について、事故・苦情は発生していない。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営は行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和5年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	羽衣児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	羽衣学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
<p>評価理由等：</p> <p>平成26年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した羽衣児童館は、令和5年度で指定管理期間通算で10年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行ってきた。</p> <p>また、併設の羽衣学童保育所でも、特に配慮を必要とする児童を保育しながらも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んでいる。</p>	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
羽衣児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 334日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤3人、非常勤8人 常勤給与: 215,000円～/月 非常勤賃金: 時給1,115円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用状況は、放課後子ども教室くるプレを第六小学校に導入した影響で、前年度に比べて利用者数が減少している。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 11,991人(85.6%) 団体利用 69人(89.6%) 館外行事 150人(220.6%) 合計 12,210人(86.3%) 新型コロナウイルス感染症感染症による制限も5月でなくなったものの、利用状況は前年度から減少となっている。第六小学校で4月からスタートした放課後子ども教室くるプレの影響が大きいと思われる。	A		
運営企画	季節行事、季節行事地域連携、自立支援災害対策、体力増進活動児童館連携企画、季節行事子どもスタッフ、地域連携事業を実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:57,071,050円(指定管理料) 支出:57,108,050円 事業収支:▲37,000円 人件費比率:81.7% 物価高騰に対する支援として水道光熱費が不足することから指定管理料を補填した。(183,000円) 事業の継続性は確保されている。	A	適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	定期清掃、窓ガラス清掃、エアコンフィルター清掃、樹木せん定、害虫駆除、消防設備保守・点検、絨毯クリーニング、非常通報装置保守、建築設備定期検査、ピアノ調律、害獣駆除を実施。	A		
新たな取り組みの状況	食事、お菓子作りを実施したほか、毎年のドッジボール大会に向けてクラブを立ち上げ活動されている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	児童館・学童保育所業務マニュアル、危機管理マニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マニュアル／保護規定、清掃マニュアル等が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページにより情報が発信されている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	遊戯室壁修繕、談話室等コンセント差し込み不良部分修繕を実施。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	夕方に近隣住民がうるさいと児童館入口まで来て怒鳴る、その後レーザーポインターを当てるなどの行為をされたことから、利用者に対して外ではなるべく静かにするよう指導されている。	A	近隣住民からの苦情については適切に対応されている。 事故の予兆への取り組みが適切に行われている。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	館内整理日などで、点検を行われている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域定例会議へ参加、地域関係との情報共有を実施。 また、地域イベントでの準備・片付けなどにより、地域や関係機関との連携がとられている。	A	地域住民および関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	他自治体における同様の業務において、人員配置に関する虚偽の報告等の仕様違反があった。立川市においては仕様違反はなかった。事業者として再発防止に向けた取り組みを検討されている。	B	立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。	B
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」「ボーリング講習会」「炭焼き体験会」を開催			

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>運営上の行事などは、コロナ禍における規制前と同じ取り組みが可能になったが、放課後子ども教室などが地区で実施されたことの影響もあり、前年度に利用していた小学生の利用者は少なくなった。羽衣児童館は館庭など近隣への配慮のため子どもたちが遊びたいバスケットボールなどの遊びが実施出来ない等の問題もある。突発的な大雨や遠くに出かけた際の帰り道などに立ち寄る児童もいるため地域の居場所として認知されている。規制緩和により食事を伴う行事を積極的にを行い、保護者も行事に参加する機会が増えた。地域にて見守りが必要な児童がいたため、子ども家庭支援センター、民生児童委員や児童相談所など関係各所と密に動き対応する1年となった。関係機関と協力し引き続き密に対応を行っていく。規制緩和に伴い地域との関係が回復され、夏に行った児童館祭りでは地域アンテナショップで活動しているオカリナの会、おてだまの会が実技を発表する機会も作れた。錦町の星槎国際高等学校よりボランティアを受け入れ、新たに地域にて活躍したい貢献したい人たちとの関係が出来た1年となった。施設状況としては修繕や破損物品などの廃棄を行い精査を継続して行っている。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		評価理由等	
		1次評価	
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の制限がほぼ解除され、様々な活動が再開された。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされていたと言える。</p> <p>日々の施設管理や清掃等を怠ることなく運営されていることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。また、地域との会議にて意見交流する機会を設け、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。児童館の施設点検のほか、職員間での情報共有を日々行われている。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展し、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>		<p>A</p>	<p>A</p>
		<p>利用状況は、放課後子ども教室くるぷれを第六小学校に導入した影響で、前年度に比べて利用者数が減少しているが、地域や保護者と協力したさまざまな行事が展開され、地域への貢献度も高い。</p> <p>事業計画書に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
羽衣学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿った運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数: 293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤3人、非常勤4人 常勤給与: 215,000円～/月 非常勤賃金: 時給1,115円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 10,458人(110.7%)	A		
運営企画	新入生歓迎会、誕生会、スポーツ大会、工作週間、読み聞かせ会、ゲーム大会、クリスマス会、節分、おたのしみランチ、墨汁絵画を実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(羽衣児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	定期清掃、樹木せん定、害虫駆除、消防設備保守・点検、絨毯クリーニング、非常通報装置保守、建築設備定期検査、ピアノ調律、害獣駆除 児童館と一体的に実施。	A		
新たな取り組みの状況	児童館大型行事にて練習したダンスを発表する機会を設けた。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供をし、公平・公正に運営されている。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A		
事業計画・報告書の公表	年間事業計画が利用者に配布されている。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正な利用が確保されている。	A		
業務の点検	職員会議で全体の課題確認が実施されるとともに、責任者による業務点検が実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳により適正に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	管理責任者を定め、個人情報を扱う際は管理表を使用されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報の保護が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故等は特になかった。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。 また、学期ごとの訓練が実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携がとられている。	A	地域住民との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	他自治体における同様の業務において、人員配置に関する虚偽の報告等の仕様違反があった。立川市においては仕様違反はなかった。事業者として再発防止に向けた取り組みを検討されている。	B	立川市での仕様違反はなかったものの、日々の人員配置など、事業者として現場任せにすることなく、本部が関わりながら、より良い運営をお願いしたい。	B
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>前年度の目標は「子ども自らで考え行動できる」を目標として取り組んできました。子ども達が「体を動かして踊りたい」と言った事がきっかけで羽衣ダンサーズができました。子ども達が自ら喜んで行事に参加し、自分達の踊りを清涼祭・クリスマス・地域交流会等で発表したことで、地域の方々や親御さん達が見に来てくれました。子ども達の日々の生活の中で、連絡帳やお迎え時に子どもの成長を伝え、一緒に共有出来て嬉しいとの言葉をいただきました。</p> <p>その他には児童相談所や子ども家庭支援センターに関わる重い案件も2件扱い、親御さんの養育不安等の悩み相談に応じてきました。これら案件を取り扱う上で職員同士密に情報共有をし、子ども達の支援を円滑に進められるように務めてきました。生活の安全面や健康、育成支援を丁寧に行い、親御さんが安心して任せられる第二の家庭として通える居場所作りを目指して努力しました。コロナは落ち着きましたがインフルエンザや溶連菌などの感染症が流行った為、手洗い消毒を引き続き徹底いたしました。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>新型コロナウイルス感染症の制限がなくなったとはいえ、インフルエンザをはじめ感染症への注意は尽きない。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。</p> <p>大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない運営は、評価に値する。</p> <p>画一的ではない、在籍児童に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も継続していただきたい。</p> <p>また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。</p>		A	<p>児童館との併設の強みを生かしながらさまざまな行事が展開されている。</p> <p>事業計画書に基づき、安定した運営がされていると判断しA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和5年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	富士見児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	南富士見学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：
 平成26年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した富士見児童館は、令和5年度で指定管理期間10年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行った。また、併設の南富士見学童保育所でも、多くの児童を保育しながらも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
富士見児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：334日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤4名、非常勤5名(雇用13名) 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金：時給1,113円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 10,869人(99.3%) 団体利用 259人(77.8%) 館外行事 318人(72.9%) 合計 11,446人(97.7%) 新型コロナウイルス感染症による行動制限は5月でなくなったものの、利用状況は前年度から微減となっている。	A	新型コロナウイルス感染症による行動制限は5月でなくなったものの、前年度に比べて利用者数が減少している。	
運営企画	入学・進級企画、折紙・工作企画、季節行事「おいでなさい」、季節行事保護者連携事業、季節行事地域保護者連携事業、他児童館との合同行事、季節行事「スノーパーティー」、歴史・伝承遊び体験、地域交流会の実施。	A	毎年の恒例行事に加え、地域との連携企画等、多様な運営企画が実施されている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入: 53,405,559円(指定管理料) 支出: 53,405,559円 事業収支: 0円 人件費比率: 73.0% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 10億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	非常通報装置点検・保守、空調設備保守、消防設備保守・点検、建築設備定期検査、緑地管理業務、清掃業務、非常通報装置保守・学校110番保守	A		
新たな取り組みの状況	調理体験などの体験行事を企画されていたが、感染症対策等のため中止。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応、ポロシャツを着用、名札必携などの身だしなみについても清潔に心掛けて、適切に実施されている。 利用案内、おたよりをういて館内案内を行い、利用方法等を丁寧に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供を行っている。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル、子どもの虐待防止マニュアル等が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載をされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がなされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	特になし。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、エリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	館内会議時の確認及び法人内研修の実施、法人外部会議・研修への参加。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	事故などが起こってしまったあとの対応ができています。	A	事故・苦情対応状況については適切に対応されている。	A
事故の予兆に対する対応	事故・怪我につながる恐れのある行動を認識し、児童、保護者への指導が行われている。	A		
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	事故・怪我につながる恐れのある行動を認識し、児童、保護者への指導が行われている。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。一年間に避難訓練3回、エピベン研修1回実施している。不審者対応対策も行われている。	A	危機管理担当の責任者を設定し、事故防止対策の取り組みが行われている。	
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	積極的に地域や関係会議へ参加しており、地域住民や関係機関と連携されている。また、新生小・一小開催の放課後子ども教室へ出張児童館が行われている。	A	地域の行事や会議等への出席により地域との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」運営に協力、参加している。			
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館合同フェスティバル(今年度2月11日・開催予定)」に協力、参加している。			
他館との合同での事業協力	錦児童館と連携をとり、立川ふれあいこどもまつり実行委員会主催の「立川ふれあいこどもまつり(今年度3月9日開催予定)」にイベントブースを開設、協力している。			

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>令和5年度は、今まで感染予防対策により中止や制限が付いていた各種イベントが、ほぼコロナ禍前と同じように再開できるようになったが、まだ新型コロナウイルス、インフルエンザ等感染症には気を抜くことはできない。更に麻疹等の感染症発生報告も出てきた。そのため、市から配布されたアルコール及び次亜塩素酸水を館内の清掃、消毒時に引き続き使い、館内での感染予防を高める努力を継続して行っている。</p> <p>制限が少なくなったイベントには多くの子ども達、保護者、地域の方々が参加してくれた。コロナ禍で行動制限を余儀なくされていた利用者の遊びの場としての役割を担ってきた。一方で、行動制限が緩和された5年度は、外での行動を楽しむ時間ができたためか、残念ながら曜日によっては利用者が減る傾向にあった。興味関心をもたれ、来館してみたいというイベントや装飾、設備、職員による存在感のある児童館を追求し、子ども達や地域に価値のある児童館作りのため更に努力をしていくことを誓う。また、「地域交流会」5年度も開催することができた。前年度以上に貴重な意見や参考となる助言をもらうことができた。今後も可能な限り地域の会合やイベントに参加して連携を行っていきたい。利用者アンケートの要望欄に職員の言葉使いについて「もう少し優しく」とあった。館長以下全員で今一度利用者への正しい言葉使いと対応について話し合い、「丁寧」で「わかりやすく」、「優しい」言葉使いをもって今後も見守りを行っていく。</p> <p>施設管理に関してはマニュアルを基に施設長中心に全職員共通認識の下、常に保身に努めることができた。館周辺及び屋上の排水溝の清掃、管理を念入りに行い、天候での建屋への被害防止に務めた。また、子どもが触れるであろうと考えられる箇所は実際に職員間で見分し触れ、すべての事態(転倒・打撲・擦過傷等)を想定し事故防止に努めた。また、施設内機器に関しても、トラブルの予兆(機械表示、音等)を全職員共通認識し、状況確認を円滑に行えるようにし、不具合が出た場合にできる限り早く修復するように努めた。</p>			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の制限がほぼ解除され、様々な活動が再開された。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされていたと言える。</p> <p>事業者の振り返りにもあるが、コロナだけでなく感染対策を怠ることなく運営していることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。また、地域との会議にて意見交流する機会を設け、地域との連携を強化していることは、信頼関係が確立されていることの証でもある。児童館の施設点検のほか、職員間での情報共有を日々行われている。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展し、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>		A	A
		<p>新型コロナウイルス感染症による行動制限が5月でなくなったものの、前年度に比べて利用者数が減少している。</p> <p>地域のイベント等に積極的に参加し、地域との関係を構築するための取組が行われた。</p> <p>事業計画書等に基づき管理・運営は適切に行われていると判断し、A評価とする。</p>	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市南富士見学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
南富士見学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿って運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議などで共通認識が高められている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	入所説明会、保護者懇談会等において「学童のしおり」をもとに、利用者の公平・公正な利用がされている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数: 293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤4人、非常勤3人 常勤給与: 186,000円～/月 非常勤賃金: 時給 1,113円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われている。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 40人 延べ利用人数 7,757人(99.0%)	A		
運営企画	オリエンテーション、夏遊び、お楽しみ会、避難訓練、進級お祝い会、児童館行事への参加、合同行事の実施、子ども会議、工作ウィーク、スポーツレク、誕生日会など、多様な運営企画を実施されている。	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(富士見児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(富士見児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	オンラインでのイラスト教室など、新たな試みに取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	社内事務接客研修等に参加するなど、接客力向上への対策が適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A
マニュアルの整備	危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、業務マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	社内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A		
事業計画・報告書の公表	児童館事務室に常設している。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正利用の確保されている。	A		
業務の点検	セルフモニタリングで、適宜実施されている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができる。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	網戸補修、壁紙補修を実施	A		
備品管理	備品台帳により適正に管理されている。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部及びエリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	鍵付き書庫で管理、PCデータはパスワードで管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	社内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A		
事故の予兆に対する対応	危険のある箇所の防止対策がとられている。		事故・苦情は特になかった。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	適宜、注意喚起をし、速やかな対応がなされている。		マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故防止対策の取り組み状況	責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。 防災への意識付け、避難訓練を実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携がとられている。	A	地域や関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>令和5年度は、新型コロナウイルスが5月より5類に以降した影響により、消毒など、感染対策は今まで通り行ったが、マスク着用が個人の判断となった。それにより、児童の顔の表情なども見やすくなった。児童同士も解放感があるように感じた。おやつや、お弁当の黙食なども解禁になり、前半後半に分かれて食べることもなくなり、今までよりも楽しい時間となったのではないかと感じた。学童ではみんなが楽しい学童という目標を継続しつつ、4年度に引き続き、子どもの主体性を育てることを意識して取り組んだ。5年度も班活動を取り入れ、班ごとに毎月行っている行事の立案をし、当日の運営までを出来るだけ児童が主体となって行えるよう、職員のリレーも入れながら実施した。班活動を重ねるにつれて、協力して行えるようになり、児童同士のコミュニケーションも取ることが上手になった。頼もしく成長したなと思える場面が増えたように感じた。5年度も“進級お祝い会”では、ショータイムで得意なことを披露する機会があったが、沢山の児童がこれやりたい！と積極性も前年度より一層出て来たと感じた。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>新型コロナウイルス感染症の制限がなくなったとはいえ、インフルエンザをはじめ感染症への注意は尽きない。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。</p> <p>大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない運営は、評価に値する。</p> <p>画一的ではない、在籍児童に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も継続していただきたい。</p> <p>また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。</p>		A	<p>児童館との併設の強みを生かしながら、さまざまな行事が行われた。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に運営されていると判断しA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和5年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	錦児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	錦学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成27年度より児童館と併設学童保育所一体で指定管理者制度を導入した錦児童館は、令和5年度で指定管理期間9年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、一年を通して利用者や学童保育所保護者、地域関係団体からの苦情やクレームもなく、安定的な児童館運営を行った。また、併設の錦学童保育所でも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んだ。

評価ランク

S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
錦児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：334日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤4名、非常勤4名(雇用9名) 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金：時給1,113円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 11,296人(82.3%) 団体利用 44人(26.8%) 館外行事 312人(136.8%) 合計 11,652人(100.3%) 新型コロナウイルス感染症による制限は5月でなくなったものの、利用状況は前年度から減少となっている。	A	新型コロナウイルス感染症による制限は5月でなくなったものの、前年度に比べて個人利用、団体利用の利用者数が減少している。	
運営企画	入学・進級企画、こどもの日企画、子ども会議、季節行事、学習館地域合同行事、地域との協力活動を実施。	A	事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入: 50,934,295円(指定管理料) 支出: 50,934,295円 事業収支: 0円 人件費比率: 79.0% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 10億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	非常通報装置点検・保守、空調設備保守、消防設備保守・点検、建築設備定期検査、清掃業務、非常通報装置保守	A		
新たな取り組みの状況	新たなイベントとして、カラオケ・ビンゴ大会を実施。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応、制服や名札の着用などの身だしなみについても清潔に心掛けて、適切に実施されている。 利用案内、おたよりをを用いて館内案内を行い、利用方法等を丁寧に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供を行っている。	A
マニュアルの整備	児童館／学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル、子どもの虐待防止マニュアル等が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載をされている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	遊戯室天井、2F女子トイレの自動水栓器具の交換を実施	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、エリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	館内会議時の確認及び法人内研修の実施、法人外部会議・研修への参加。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情対応状況について、適切に対応されている。 事故防止対策については、日々のミーティングで情報が共有されている。	A
事故の予兆に対する対応	事故につながる恐れのある危険行為を未然に防ぐための注意喚起が行われている。	A		
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	事故につながる恐れのある危険行為を未然に防ぐための注意喚起が行われている。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 一年間に避難訓練等3回実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	積極的に地域や関係会議へ参加しており、地域住民や関係機関との連携がとられている。また近隣の小学校の放課後子ども教室への出張児童館が行われている。	A	地域の行事や会議等への出席により地域との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
お米の寄贈	柴崎町にある『スープカフェなんでもない日』にお米を寄贈。「みんなでご飯立川」(困難を抱えている世帯の児童対象のお弁当配布)に役立ててもらおう。			

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>指定管理4年目も、来館する児童や保護者、地域の皆様に愛される児童館を目指し活動してきた。季節行事(おばけやしき・ハロウィン・まんぼうまつり・クリスマス等)においては、参加したい時間帯の希望に合わせて実施した。こうすることで、混雑することなく児童が活動を楽しむことができた。児童館の行事を楽しみに待っていた児童が多く、大勢参加してくれたことが喜ばしい。</p> <p>地域の方々との交流は青少健、錦学習館運営協議会、はねきんネット、支援ネット、にしキッズハートホーム等で連携を取り、子どもたちを見守ってきた。</p> <p>立川ふれあいこどもまつりでは参加した児童のたくさんの笑顔を見ることができた。今後も工夫をしながら錦児童館ならではの活動をして子どもたちを元気づけていきたい。また、数年ぶりに開催した地域交流会への参加者も多く、児童館が地域の方々から大いに期待されていることを感じる事ができた。</p>			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の行動制限がほぼ解除され、様々な活動が再開された。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされていたと言える。</p> <p>事業者の振り返りにもあるが、新型コロナウイルス感染症だけでなく感染対策を怠ることなく運営していることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。また、地域との会議にて意見交流する機会を設け、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。児童館の施設点検のほか、職員間での情報共有を日々行われている。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展し、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>		A	A
		<p>新型コロナウイルス感染症による行動制限も5月でなくなったものの、前年度に比べて利用者数が減少した。一方で、毎年恒例の行事に加え、地域との連携企画等、多様な運営企画が実施されている。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
錦学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿って運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議などで共通認識が高められている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	入所説明会、保護者懇談会等において「学童のしおり」をもとに、利用者の公平・公正な利用がされている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数：293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤4名、非常勤1名 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金：時給1,113円～/時間 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 事業計画は感染症対策を行いながら適切に実施された。 適正にリスク分担して対応されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 11,135人(95.6%)	A		
運営企画	入所歓迎会、工作週間、誕生日会、避難訓練、まんぼう縁日、秋のスポーツ祭り、クリスマス会、こま検定、進級お祝い会など児童館各種行事へも参加、合同行事へも参加	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(錦児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(錦児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	社内事務接客研修等に参加するなど、接客力向上への対策が適切に実施されている。	A	利用者に対しては、丁寧に対応されている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A
マニュアルの整備	危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、業務マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	社内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A		
事業計画・報告書の公表	児童館事務室に常設している。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正利用の確保がなされている。	A		
業務の点検	セルフモニタリングで、適宜実施されている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	特になし	—		
備品管理	備品台帳により適正に管理されている。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部及びエリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	個人情報に関するルールは、研修やマニュアルに基づき、適切に取り扱われている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	鍵付き書庫で管理、PCデータはパスワードで管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	会社内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情は特になかった。 事故防止対策については、日々のミーティングで情報が共有されている。	A
事故の予兆に対する対応	危険のある箇所の防止対策がとられている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	危険のある箇所の防止対策がとられている。			
事故防止対策の取り組み状況	責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。 避難訓練は、毎月実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携がとられている。	A	地域住民や関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
例年、新型コロナウイルス感染症に配慮しての事業だったが、5月から5類へと移行したことにより、少しずつ緩和しての運営となった。新たな目線に立ち保育に取り組んできた1年となった。活気が戻った今期は、学童のイベントや児童館行事に参加する人数も増加し、盛り上がりを見せていた。また昨年と比較し、保護者とのやりとりも対面が増えた印象だった。何気ない会話から相談に発展することもあり、良好な関係が築けていた。前年度の課題であった利用人数に対する場の確保や遊びについては、緩和の影響もあり児童館とすみ分けしながら活動に取り組めた。児童からの意見も吸い上げ、遊びも発展することができていた。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>新型コロナウイルス感染症の制限がなくなったとはいえ、インフルエンザをはじめ感染症への注意は尽きない。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。</p> <p>大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いた過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない運営は、評価に値する。</p> <p>画一的ではない、在籍児童に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も継続していただきたい。</p> <p>また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。</p>		A	<p>児童館との併設のメリットや比較的近隣に 関係機関があることの強みを生かして行事が実施されている。児童間の負傷事案についても適切に対処されている。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和5年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	上砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	上砂第三学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：
 平成27年度より児童館と併設学童保育所とを一体で指定管理者制度を導入した上砂児童館は、令和5年度で指定管理期間9年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、一年を通して利用者や学童保育所保護者、地域関係団体からの苦情やクレームもなく、安定的な児童館運営を行った。また、併設の上砂第三学童保育所でも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
上砂児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が進んでいる。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：334日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤4名、非常勤2名(雇用15名) 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金：時給1,113円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症による行事への人数制限もなくなり、前年度に比べて利用数は増加している。 毎年の恒例行事に加え、地域との連携企画等、多様な運営企画が実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 25,177人(129.0%) 団体利用 0人(0.0%) 館外行事 839人(251.2%) 合計 26,016人(130.9%) 新型コロナウイルス感染症による行事への人数制限もなくなり、通常の利用状況に戻りつつある。	A		
運営企画	映画会、スポーツ、カレンダー作り、マンカラ大会、こどもの日イベント、むかしあそび、子ども会議、避難訓練、ハロウィン、子どもまつりを実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入: 52,679,078円(指定管理料) 支出: 57,976,534円 事業収支: ▲5,297,456円 人件費比率: 91.0% 適正に事業執行されている。 人件費の上昇等の影響から、収支はマイナスとなっているが、事業の継続性は確保されている。	A	人件費増に伴い事業収支はマイナスとなっているが、指定期間中の事業の継続性は担保されている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 10億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	非常通報装置点検・保守、空調設備保守、リサイクル資源回収、消防用設備点検を実施。	A		
新たな取り組みの状況	子ども会議等新たな取り組みが行われている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、それに沿って業務が実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に結果が公表されている。 利用案内の発行・独自ホームページの活用により、情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル、子どもの虐待防止マニュアル等が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載されている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル・事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	網戸取り付け、ガラス修理、排水処理を実施。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	館内会議時の確認及び法人内研修の実施、法人外部会議・研修への参加。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	一部利用者の喧嘩や外回り清掃でのたばこ発見に関して、関係者への連絡等適切な対応が行われている。 年齢を詐称した利用者の事案が発生した。学年や氏名を偽って児童館を利用することがないよう、学生に対しては利用者登録時に身分を確認するなど、適切な事後対応をとられている。	A	安全管理において、年齢を詐称した利用者の事案が発生した。市・警察と連携し、適切に対応されている。その後は学生の利用者登録時に身分を確認するなど適切な事後対応がとられている。 事故防止の取組みについては、チェック表の活用や研修が実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	事故につながる恐れのある行為を確認し、注意を促されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	事故につながる恐れのある行為に対し、適切な事後対応をとられている。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 月1回防災訓練、年2回総合防災訓練が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館運営協議会を開催し、関係機関や団体の会議、地域の防犯・防災講習会に積極的に参加されている。	A	地域住民や関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。			
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。			

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>長かったコロナ対応の体制がゴールデンウイーク明けから通常運営となった。当初子どもたちも戸惑いながら過ごしていたが、1年かけて徐々に自由に子ども達らしく過ごせるようになっていきました。児童館のルールや行事の見直しも子どもたちの意見を取り入れながら行い、利用者の数も増える結果となりました。本社全体で取り組んでいる「現場力」を生かし環境整備や職員の意識改革も少しずつ行いました。利用者の年齢詐称の事件があったことで、これまで以上に職員同士の交流も増え現場が「チーム」となって動けるようになった。年明けには子ども主体のおまつりを企画し、積極的な子どもたちの姿を見ることができました。企画から準備、ご招待状の作成、学校でのアピールまで子どもたちのネットワークと行動力に驚かされました。当日は来館者222名となり、片付けまで行うことができました。今後も子ども主体の児童館を目指し職員が「チーム」となってより良い児童館運営を目指します。</p>			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の制限がほぼ解除され、様々な活動が再開された。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされていたと言える。</p> <p>事業者の振り返りにもあるが、コロナだけでなく感染対策を怠ることなく運営されていることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。また、地域との会議にて意見交流する機会を設け、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。児童館の施設点検のほか、職員間での情報共有を日々行っている。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展し、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症による行事への人数制限もなくなり、前年度に比べて利用数は増加している。</p> <p>安全管理において、年齢を詐称した利用者の事例が発生した。市・警察と連携し、適切に対応されている。その後は学生の利用者登録時に身分を確認するなど適切な事後対応がとられている。</p> <p>地域のための児童館として、役割が認知されており、地域との協力体制が構築されている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂第三学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
上砂第三学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿って運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議などで共通認識が高められている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	入所説明会、保護者懇談会等において「学童のしおり」をもとに、利用者の公平・公正な利用がされている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録を行い、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数: 293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤4名、非常勤1名(雇用6名) 常勤給与: 186,000円~/月 非常勤賃金: 時給1,113円~/月 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな行事が行われた。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 12,977人(105.2%)	A		
運営企画	歓迎会、七夕制作、お楽しみランチ、伝承遊び、お別れ会、お誕生日会、お話し会を実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(上砂児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(上砂児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	児童館行事に児童が参加する等、児童館とのかかわりを増やす取り組みを実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	社内事務接客研修等に参加し、接客対応ともに、適切に実施されている。	A	利用者に対しては、丁寧に対応されている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。 利用案内の発行・独自ホームページの活用により、情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、業務マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	社内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。市ホームページで情報が提供されている。	A		
事業計画・報告書の公表	児童館事務室に常設している。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正利用の確保がなされている。	A		
業務の点検	セルフモニタリングで、適宜実施されている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル・事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳により適正に管理されている。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部及びエリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	鍵付き書庫で管理、PCデータはパスワードで管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用児童の降所時間誤りの事案について、ミス発覚後、すぐに謝罪や各所への報告がなされているので大事にならなかった。 保護者が安心して預けられるために、今後は細心の注意を払うよう心掛けていただきたい。	B	利用児童の降所時間誤りの事案が発生した。その後の対応と再発防止策は、適切に実施されている。 事故防止の取組については、チェック表の活用や研修を実施されている。	B
事故の予兆に対する対応	物品や施設の不具合について、事故や怪我につながる前に適切に対応されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。避難訓練等実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、情報交換を行いながら、地域住民や関係機関との連携がとられている。	A	地域や関係機関との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
保護者会の撤廃や一部行事の見直しのため、令和4年度で実施した「おたのしみ工作」や「豆まき」等は中止した。代わりに、併設館である児童館と協力し児童館イベントへの自由参加や児童が自主的に考えて活動できるように学童室と児童館との行き来を自由にする取り組みを行った。 職員も学童児童だけでなく、児童館の一般来館児童やランドセル来館児童とも交流し、館全体を見守れるよう体制の見直しを行った。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
新型コロナウイルス感染症の制限がなくなったとはいえ、インフルエンザをはじめ感染症への注意は尽きない。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。 大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない運営は、評価に値する。 画一的ではない、在籍児童に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も継続していただきたい。 また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。	A	安全管理上の課題はあったが、その後の対応と再発防止策については適切に実施されている。 児童館との併設のメリットを生かしながら、行事が実施されている。 事業計画書等に基づき、適切に管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市斎場	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
公益社団法人 立川市シルバー人材センター	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	斎場使用や料金など斎場条例等に基づき、適正に管理されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	葬祭事業所長と本部事務局事業係担当者との定期的なミーティングを通じ、理解の浸透に取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	式場及び葬儀日程の予約はすべて先着順とし、公正・公平な利用が確保されている。	A		
事業の継続性の担保	職員等の退職・異動には十分な引継期間を設けるとともに、引き継ぎ後もサポートの取れる体制を確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開業日数:366日 開業時間:8:30～20:00 職員配置状況:葬祭事業所長1名、管理・市営葬儀従事会員18名、経理2名、受付5名、清掃3名 賃金単価:嘱託 月額200,000円 会員(配分金) 時給1,120円～1,380円	A	基本的事項については、事業計画通り実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 斎場利用件数:318件(97.2%) 市営葬儀利用件数:279件(97.2%) 1階式場:貸出数278回(102.6%) 2階和室:貸出数49回(94.2%) 霊安室:貸出数980回(107.6%)	A	前年度に比べ市営葬儀利用件数は減少しているが、霊安室などの貸出数は増加している。	
運営企画	市民マップへ紹介記事を記載(2.2万枚) 市民便利帳へ紹介記事を掲載 市営葬儀説明会、施設見学の実施(12回) 市営葬儀個別説明会の実施(20回) 出張市営葬儀説明会の実施(5回) 自治連への市営葬儀説明会(1回) 市関係者へ市営葬儀内容の説明(1回) 市営葬儀説明チラシの市内全戸配布(1回)	A	事業計画に基づき、市営葬儀説明会など利用者の獲得に向けた取組が行われている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:112,342,264円、支出109,557,694円 (うち指定管理料24,650,000円) 事業収支:2,784,570円 人件費比率:31.18% 外部委託費比率:2.80%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	シルバー人材センター総合保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	施設修繕費が減少し ており、事業収支が改 善されている。	A
第三者への委託状況	施設警備、消防設備保守、定期清掃、コピー機保 守、ゴミ収集、安全運転講習、自動ドア保守、広告 掲載、文書処理、施設検査	A	適正にリスク分担して 対応されている。	
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に対応している。アンケート結果でも良好な結 果となっている。	A		A
マニュアルの整備	業務マニュアル「立川市の葬儀」を整備し、これに 基づき、適切に対応されている。	A		
研修・教育の実施状況	会議やミーティングを通じ、啓発と指導が行われて いる。	A	朝礼等を通して、接遇 に関する確認を行って おり、アンケート結果 においても、職員の対 応は良好である。	
所管部署との連携・連 絡	所管部署とは業務連絡会議等により随時、連絡・ 調整が行われている。 本部事務局担当職員への連絡は、常時可能と なっている。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、シルバー人材センター ホームページや施設内にて掲示・公表されてい る。	A	業務マニュアルを整 備し、それに沿って業 務が実施されている。	
広報・PR等の利用情報 の提供	パンフレットを発行するとともに、シルバー人材セ ンターホームページ等で周知されている。	A	利用は申し込みの先 着順としており、公平 ・公正に運営されてい る。	
事業計画・報告書の公 表	シルバー人材センター全体の事業計画・報告書を 事務所に備えている。	A		
公平・公正利用の確保	式場予約等、全て先着順とし、公平・公正な利用 が確保されている。	A		
業務の点検	会員との会議や面談にて、適正に実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき適切に実施してお り、常に衛生的な状態となっている。	A		A
施設及び設備の保守・ 点検	マニュアル等の整備をし、事業計画書・協定書に 基づき適切に実施している。	A	マニュアル等も整備さ れており、事業計画 書・協定書に基づき、 清掃や施設、設備の 保守点検が適切に実 施されている。	
保安・警備	適切に管理・運営されている。	A		
小規模修繕	式場室内機のオーバーホール、動力用漏電ブレー カーの交換、排水管の高圧洗浄	A	小規模修繕について は、適切に行われて いる。簡易な修繕は、 随時対応されている。	
備品管理	備品台帳を作成し、常時点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	葬祭事業所長の指導の下、適切に実施されている。	A	個人情報保護要綱を制定し、要綱に沿って適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	法人として、個人情報保護要綱を制定し、業務執行されている。	A		
適正な管理	一定期間を経過した書類は、本部事業係において管理されている。	A		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	会議やミーティングを通じ、啓発を実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護要綱を制定し、適正に管理されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する苦情等は、特になかった。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを整備し、会議・ミーティング・講習会への参加を通じて対応策を指導するとともに、葬祭事業所長を中心にした対応体制を確立されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	施設の性格上、地域に開かれた運営は難しい。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>令和5年度の立川市斎場利用申請件数は318件となり前年度より9件減少しました。利用の内訳は、業者葬儀利用件数79件(前年84件)、市営葬儀利用件数279件(前年287件)で、市営葬儀での内訳は、斎場利用の葬儀199件(前年187件)、直葬80件(前年100件)の利用件数となりました。</p> <p>収入におきましては、管理代行収入・葬祭用品売払収入・葬祭関連商品収入のいずれも前年に比べ増収となりました。特に新型コロナウイルス感染症による影響が大幅に減少したため、料理などの利用を多くいただき葬祭関連商品収入が大幅に増加いたしました。また、指定管理料につきましても、市営葬儀の利用件数が想定を超えたため、増額していただきました。</p> <p>支出では人件費や物価の上昇はありましたが、施設等に大きな不具合等がなく修繕費等が抑えられたことに加え諸経費削減に取り組んだため、最終の収支は前年度を上回る2,784,570円のプラスとなりました。</p> <p>令和6年度の立川市斎場の運営につきましては、市民への一層の周知・サービス向上を行い、多くの市民に市営葬儀を利用して頂くとともに効率的な管理運営を努めてまいります。</p>			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<p>近年は葬儀規模の縮小・家族葬や直葬の増加といった動きが継続しており、民間葬儀業者間での安価な家族葬プランによる獲得競争が起きて市営葬儀を取り巻く環境は厳しい状況にある。</p> <p>こうした状況に対応するために、現地(斎場)や各地の学習館等における「市営葬儀説明会」の開催に加え、個別説明会を数多く開催し、市内全戸に対する市営葬儀のチラシ配布等により、民間葬儀社と同等の葬儀を安価に行うことができる市営葬儀のメリットを積極的・継続的にPRし、利用促進されている。アンケートの回答結果では「斎場を以前から知っていた」が前年よりも増えており、引き続き利用者数増に向けての取り組みを期待する。令和5年度の市営葬儀利用件数は昨年と比べ微減したものの、斎場利用の葬儀は12件増加した(直葬件数減)。また、霊安室の利用件数が増加傾向で、数日待機した上で市営葬儀を利用するというケースが増えている。</p> <p>施設・設備については老朽化が進んでおり、定期的な点検や適宜の修繕等を行いながら使用されている状況であるが、日々の適切な業務執行により大きな不具合もなく、安全性への対応ができています。</p> <p>高齢者数は年々増加しており、斎場利用に対する市民ニーズは高いこと、利用者アンケートにおいて「とてもよかった」「よかった」「とても満足」「満足」の割合が9割程度となっており、価格・待遇両面において市民の福祉サービスとして非常に高い支持を得ていることから、より一層の周知に取り組むことやさらなる効率的な施設管理運営に向けて様々な検討をし、対応していただくことを期待する。</p> <p>指定管理者として市民への周知、サービス向上に努め、適切に施設整備を行い、効率的な管理運営を行っていることからA評価とする。</p>	A	<p>前年度に比べ市営葬儀利用件数は減少しているが、霊安室などの貸出数は増加している。</p> <p>施設修繕費が減少しており、事業収支が改善されている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に提案内容が実施され、サービス水準が確保されると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市総合福祉センター	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 立川市社会福祉協議会	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画や設置目的に沿って、適切に管理されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理部門係内での定期的な会議等で、基本的な事項を理解されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	館の利用目的に合わせて公平・公正に利用できるよう、申込み開始時期が設定されている。	A		
事業の継続性の担保	複数名の職員を配置し、業務の共有が行われている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	【センター管理業務】 開所日数:293日 開所時間:8:30～19:00 常勤職員(嘱託)1名、非常勤職員1名 非常勤:時給1,072円(4月～9月) 時給1,113円(10月～3月) 【生活介護支援事業所】 開所日数:243日(知的障害者) 243日(身体障害者) 開所時間:9:00～15:30 正規6名、嘱託10名 非常勤9名:時給1,120円 【高齢者デイサービス事業】 開所日数:243日 開所時間:9:15～16:30 正規1名、嘱託2名 非常勤8名:時給1,130円(介護職) 時給1,650円(看護師)	A	基本的事項については、計画通り適切に実施されている。 職員配置については、事業の運営状況に合わせた配置となっている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【センター管理業務】() 内は対前年度比 延べ利用者数:20,855名(121.5%) 【知的障害者デイサービス】() 内は対前年度比 延べ利用者数:4,993名(105.5%) 【身体障害者デイサービス】() 内は対前年度比 延べ利用者数:3,526名(84.7%) 【高齢者デイサービス事業】() 内は対前年度比 延べ利用者数:5,244名(99.0%)	A	新型コロナウイルス感染症の5類移行後でも感染症対策を徹底するとともに、新規利用者の受け入れも積極的に行われている。	A
運営企画	生活介護支援事業所 【知的障害者デイサービス】 プール活動、臨床美術、季節行事、避難訓練 【身体障害者デイサービス】 理学療法、作業療法、臨床美術、季節行事、避難訓練 【高齢者デイサービス事業】 体操、書道、音楽、散歩・外気浴、敬老会、クリスマス会、忘年会、新年会、作品展、出前サービス利用、和太鼓の演奏会、富士見保育園の訪問、フラダンスの披露、舞踊、民謡の披露、福祉ネイル	A	運営企画は、利用者やその家族のニーズに応え、多くのイベントを実施している。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	<p>【センター管理業務】 収入:71,652,194円 (うち指定管理料71,652,000円) 支出:72,229,919円 事業収支:▲577,725円 物価高騰に対する支援として水道光熱費が不足することから指定管理料を補填した。(2,633,000円)</p> <p>【生活介護支援事業所】 収入:128,212,474円 支出:119,825,809円 事業収支:8,386,665円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし)</p> <p>【高齢者デイサービス事業】 収入:47,703,789円 支出:56,117,359円 事業収支:▲8,413,570円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし)</p>	A	センター管理運営業務は、物価高騰の影響により、支出が収入を大きく上回っている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	事業活動包括保険 支払限度額:1事故3億円 保険期間中の上限なし 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	高齢者デイサービスは、利用者が増えたことに伴う人件費の増加等の影響によりマイナスとなっている。	A
第三者への委託状況	プール運営業務、警備業務、自家用電気工作物 保安管理業務、プール可動式床システム保守点 検、消防用設備保守点検、防火設備定期点検、発 電設備保守点検、設備管理業務および建築物環 境衛生管理業務、エレベーター保守点検、自動ド ア保守点検業務、清掃業務、送水管防食装置保 守点検業務、中央監視盤保守点検、建築設備定 期検査業務、特定建築物定期調査業務、除草作 業業務、給排水衛生設備清掃及び産業廃棄物収 集運搬業務、産業廃棄物(汚泥)処理業務、産業 廃棄物(廃プラ・金属)処理業務、一般廃棄物(可 燃ごみ)処理業務、プール等受付業務、運営一般 管理、送迎運行業務、電話交換機設備保守	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇マニュアルに基づき、適切に対応するとともに、職員ミーティングにおいて共有されている。	A		
マニュアルの整備	接遇マニュアル、電話受付マニュアル、出退勤時 館内点検・手順マニュアル、介護職員業務マニ ュアルを整備し、適切に対応されている。	A	アンケートにおいて、職員の評価も高く、接遇に関しては、良好に行われている。	
研修・教育の実施状況	年4回全体研修を実施。別途、階層別、業務別研 修を実施。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的な報告のほか連絡・調整を月に数回行わ れている。また、非常時等は、ただちに市へ連絡 する体制が取られている。	A	各種法令を遵守するとともに、関係組織に 加盟し研修等に参加されている。	A
利用者アンケート等の 実施	年1回実施し、公表されている。	A	利用者アンケートを年 1回実施し、結果が公 表されている。	
広報・PR等の利用情報 の提供	ホームページに施設案内・事業所を事業ごとに掲 載されている。	A		
事業計画・報告書の公 表	事業計画・報告書が公表されている。	A	施設利用についての 広報・情報提供は適 切に実施されている。	
公平・公正利用の確保	利用申し込み日を定めることで、公平・公正な利用 が確保されている。	A		
業務の点検	常に点検されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A	清掃や施設・設備の保守点検は、事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕については、緊急性や優先度を判断しつつ、迅速に対応されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	プールろ過装置入口弁交換、各所照明器具修繕、キッチン水栓交換、プール及び休憩室ブラインド交換、OAフロア修繕、グリストラップ蓋修繕、屋上シール防水修繕、プール 固定シャワーヘッド交換、トイレ部品等修理、2階事務室空調機修繕、トイレ 便フタキット部品、ボイラー/サーマル付電磁接触器取替工事、建設設備点検による指摘箇所修繕 復旧ワイヤー修繕、消防設備点検による指摘箇所修繕 フォームヘッド配管等修繕、屋上冷媒管保温補修、高齢者デイ トイレ手すり取付、各所照明器具修繕、スプリンクラー消火設備補給水槽電極保持器交換、貯湯槽ST-1-1温水3方弁修繕、エントランス照明/ランプ交換、プール昇温系統減圧弁交換作業、自動ドア錠移設修繕、排煙窓の改修	A		
備品管理	適切に管理されている。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A	立川市社会福祉協議会個人情報保護規程により、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
適正な管理	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
再委託の禁止	個人情報に関する再委託は行われていない。	A		
研修・教育の実施	職員会議等の場において、個人情報保護規程が周知されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
(6) 安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	該当なし。	A	安全管理に関する苦情等は、特になかった。 災害発生時や事故発生時に備え、避難訓練を定期的に行い、体制が構築されている。	A
事故の予兆に対する対応	該当なし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	該当なし。			
事故防止対策の取り組み状況	立川市社会福祉協議会職員参集マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを定め、立川市及び関係機関との連絡体制が整備されている。 避難訓練は、全館で年2回、生活介護支援事業所のコスモスにて13回、マンボウにて10回、高齢者デイサービスにて4回実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(7) 地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川市社会福祉協議会として、関係機関との連携を強化し、地域福祉の推進拠点として施設を有効に活用するとともに、地域での懇談会などを実施し、地域課題を把握し運営に活かしている。	A	積極的に地域や関係機関と連携されている。	A
(8) コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9) 立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>前年度に比べると貸館の利用者数は増加した。法令等を遵守し、概ね実施計画に基づき管理・運営を行うことができています。</p> <p>総合福祉センターの館内利用は、ボランティアや市民活動、介護、権利擁護、生活困窮等、多様な市民の来所相談が多い。また、市内障害者団体や市民グループの会合、介護支援専門員等の各種研修会や連絡会、市内関係機関が集まる地域ケア会議等において、幅広く地域福祉推進のために利用されている。</p> <p>設備の不具合については、その都度指定管理者として対応可能範囲の修繕を行った。</p> <p>今後も市民にとって快適に利用できる総合福祉センターとなるよう、館内設備の改善やホスピタリティあふれる対応に取り組んでいきたい。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>施設の維持管理については、各種マニュアルを整備し日々適切な業務執行が行われている。施設の老朽化に伴い設備等の不具合が多く発生しているが、小規模修繕についてはその都度実施し安全性を担保されており、利用者に影響がでないよう適切な対応がとられている。</p> <p>総合福祉センター内の活動室など、各施設の利用は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、イベント等の利用が活発になり、全体的に利用者が増加した。身体・知的障害者デイサービスについては、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き始め、コロナ前の利用に戻つつあるものの、退所者が数人出たこともあり利用率は減少している。身体・知的障害者デイサービスの事業収支については、人件費の抑制もあり、黒字となっている。高齢者デイサービスに関しては、事業収支がなかなか改善できない状況が続いている。市内民間介護事業所によるサービス提供が充実しており、ショートステイを利用する方が増えたことで、総合福祉センターの高齢者デイサービスの利用者は減少傾向にある。課題や要因の分析を行った上で、引き続き改善に向けた対応をとっていくことを期待する。</p> <p>感染防止対策を徹底したサービス提供やイベントの実施等、利用者や家族のニーズに応える活動を実施しており、障害者や高齢者が地域で安心した生活を送れることに寄与されている。</p> <p>利用者アンケートでは、施設等の利用しやすさや職員の接遇について良好な結果が出ており、事故後の再発防止策等を職員間で共有するなど、利用者の安全確保や安心な利用を心掛けている点は評価できる。</p> <p>全体としては、地域における社会福祉の推進を図るという社会福祉協議会の役割を活かした良好な施設管理運営がなされ、地域等との連携がとられていることから、A評価とする。</p>		A	<p>利用者ニーズ等に応え、新型コロナウイルス感染症5類移行後も、感染症対策を行いながら多くの運営企画が実施されている。</p> <p>安全管理に関する苦情等は、特になかった。</p> <p>積極的に福祉体験などに取り組み、地域の福祉向上に貢献している。</p> <p>事業計画書等に基づき、管理運営及びサービス提供が実施されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柏地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 至誠学舎立川	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	立川市との基本協定に基づき設置目的に沿った通所介護事業の管理運営のために、年度事業計画を作成し、実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	指定管理者としての業務内容を年度事業計画に明記した上で、日々の業務連絡会や朝礼等において職員に対し説明がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法・関連法令を遵守した人員・運営基準に則り運営している。具体的なサービス提供に当っては介護支援専門員の作成する「居宅サービス計画」に基づき「通所介護計画」を作成し、利用者の同意の上でサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	新任・現任全職員を対象にした勉強会の開催、新任職員を対象にした研修の実施、業務チェックシートを活用した業務の質の担保等が行われている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	<p>営業日数：一般型通所介護(含介護予防)：310日 認知症対応型通所介護：310日 営業時間：8：30～17：30 (サービス提供時間 9：30～16：45) 職員配置：24人(正規3人、契約社員21人) 時給：介護職 1,115～1,220円 看護師・准看護師 1,470～1,770円 理学療法士・作業療法士 2,020円</p>	A	<p>基本的事項については、事業計画通り適切に実施されている。</p> <p>認知症対応型通所介護利用者数は前年度よりも増加したが、一般型通所介護利用者数は、近隣にリハビリ特化型デイが増えた影響もあり大きく減少し、全体の利用者数は前年と比較して減少した。</p> <p>事業提案書等に基づき、四季折々の行事を企画・実施し、利用者から好評が得られている。</p>	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護(含介護予防)：5,141人(86.8%) 認知症対応型通所介護：3,129人(110.2%) 一般通所介護は近隣にリハビリ特化型デイが増えた影響もあり前年度を下回ったが、認知症対応型通所介護は前年度を上回った。全体としては継続的に高い稼働率を確保することができた。	A		
運営企画	十分な感染症対策を講じ、工夫をしながら、30周年式典、夏祭り、長寿お祝い会、作品展示会、初詣を実施	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:95,316,605円、支出:95,738,124円 事業収支:▲421,519円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:73.69% 一般通所介護の利用実績は、前年度を下回り事業収支はマイナスだったが、認知症対応型通所介護の利用実績は上回っている。	A	近隣にリハビリ特化型デイが増えた影響もあり、一般型通所介護の稼働率は低下したが、認知症対応型通所介護は一定の利用稼働率を維持しており、事業は安定している。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:5,000万円(特約付1億円) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務、空調設備及び給湯設備保守点検、消防設備保守点検、床・窓ガラス清掃、機械警備、自動ドア保守点検、入浴用リフト保守点検	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	「ホームの手引き」に基づき適切に対応されている。 アンケートでは、利用者・家族の方々全員から「満足」「まずまず満足」と評価されている。	A	多様な業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 毎日業務終了後、自己点検票にて業務点検が行われている。 利用者アンケートを年1回実施し、利用者・家族へ発行している「柏だより」にて結果が公表されている。	A
マニュアルの整備	ルーチン業務マニュアル、相談員業務マニュアル、配膳マニュアル、服薬手順マニュアル、連絡係業務マニュアル、感染予防対策マニュアル、送迎マニュアルなどが整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	感染症対策を実施しながら、工夫して職場内研修を実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	月次報告や随時の報告が行われている。非常時・事故等の連絡体制は、取り扱い要綱に基づき実施されている。	A		
利用者アンケート等の実施	アンケートを実施し、利用者・家族へ発行している「柏だより」にて結果が報告されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用者用・ケアマネジャー用のパンフレットを作成し、見学時等に渡しての説明やHPで公表もされている。	A		
事業計画・報告書の公表	閲覧用として施設内に設置されている。	A		
公平・公正利用の確保	介護保険法を遵守し、公平・公正にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	毎日業務終了後、自己点検票にて行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	感染症予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒が行われている。環境美化担当職員が定められている。	A	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒が行われている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	年度計画やマニュアルに基づき適切に保守点検が行われている。	A		
保安・警備	保管箱を設置し、鍵が管理されている。夜間は委託により機械警備を行い適切に実施されている。	A		
小規模修繕	ロビーや活動室などの修繕を行い、施設を適切に維持した。	A		
備品管理	備品台帳を作成・管理し、年1回確認作業が実施されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人「個人情報に関する基本規程」に則り、管理人が監督をしている。	A	個人情報に関する取り扱いは、法人で定められた「個人情報に関する基本規程」に基づき対応されており、年に1度の職員研修も実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報の保護に関する法律施行条例」が準用されている。	A		
適正な管理	法人「個人情報に関する基本規程」「個人情報に関する文書等管理規程」に基づき適正に管理されている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A		
研修・教育の実施	年1回の研修会が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	自立歩行できる利用者がバランスを崩して転倒、後頭部を陶芸窯にぶつけ出血した事案が発生した。職員が迅速に遠方家族への連絡や病院受診対応を行い大事には至らなかった。迅速適切な対応を評価する。	A	施設内で利用者が転倒する事案が発生しているが、転倒後の処置や再発防止策は適切に実施されている。 日常的な事故防止対策の取り組みは、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	「ヒヤリ・ハット報告書」に基づき、事故防止の取り組みが行われている。送迎ドライバーによる「送迎連絡会」を実施し、送迎における事故を防止する取り組みを行っている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	状況を分析し、事故の発生を未然に防ぐために対策を講じている。			
事故防止対策の取り組み状況	「ホームの手引き」「柏センターセクションマニュアル」に基づき、事故防止の取り組みが行われている。年3回の防災訓練が実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域包括支援センター等と関係機関との連携を行い、地域のニーズに応えている。地域住民から緊急要請があった際の職員派遣、認知症高齢者の徘徊対応、障がい者への対応など、地域貢献を行うなど地域住民との信頼関係を構築していることを評価する。	A	地域の自治会・地域包括支援センター等との連携を行い、地域のニーズに応えている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>立川市柏地域福祉サービスセンターは、要支援・要介護の認定を受けた方、市のチェックシートの基準を満たした方などを対象に、通所介護サービス・認知症対応型通所介護サービスを提供する施設で、「社会福祉法人至誠学舎立川」が指定管理者として管理・運営を実施している。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたこともあり、過去2年間に起こったデイサービス休業を繰り返すことなく、1年間を過ごすことができた。また、ボランティア活動の再開、趣味活動の制限解除、年中行事の通常開催など、新型コロナウイルス感染症拡大前の事業運営に戻る取り組みを行った1年間であった。</p> <p>利用者人数については、近隣にデイサービス事業所が増えたこともあり、通所介護は年間平均59.61%と前年度比約11.98ポイントダウンと大きく稼働を下げた結果となってしまった。一方で、認知症対応型通所介護は、地域に事業所が少ないこともあり、前年度比4.57ポイントアップと稼働を上げる結果となり、年間平均83.11%と引き続き高稼働率を維持することができた。</p> <p>認知症高齢者は増加していくことが予想されているが、今後も地域で認知症高齢者が安心して暮らるように、地域福祉サービスセンターとして、通所サービスの提供や地域の見守り活動など、引き続き積極的に社会貢献できるように努めていきたい。</p> <p>法令順守については、立川市集団指導、立川市通所サービス事業者連絡会への参加等を通じて、日頃の事業運営の振り返りを行うと共に、最新情報を入手して、適切な事業運営が実施できるように取り組んだ。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、感染リスクが高まる中においても、デイサービスを休業することなく、ボランティア活動の再開、趣味活動の制限解除、年中行事の通常開催などを行えている。一般型通所介護は、近隣にデイサービス事業所が増えた影響もあり昨年比11.98ポイント減となったが、認知症対応型通所介護は昨年比4.57ポイント増となり、高稼働率を保っている。利用者アンケートの結果を見ると、一般型通所介護、認知症対応型通所介護ともにサービスに対する満足度は高い水準となっており、家族からも高評価を得られている。地域貢献活動についても積極的に行われており高く評価することができる。以上のことから総合評価をAとする。</p>		A	<p>近隣にリハビリ特化型デイが増えた影響もあり、一般型通所介護の稼働率は低下したが、認知症対応型通所介護は一定の利用稼働率を維持しており、事業は安定している。</p> <p>四季折々のイベントや利用者のニーズに合わせた行事が展開されている。</p> <p>施設内で利用者が転倒する事案が発生しているが、転倒後の対応や再発防止の取り組みが適切に行われている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に事業が運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 恵比寿会	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	運営方針・規定に基づき、人員配置や施設管理が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入社時に施設の説明や地域特性が説明されている。第三者評価機関監査を実施し、目的に沿った取り組みが行われているか調査し改善につなげられている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市内の利用希望者に適切に対応できるように、居宅事業所と連携が緊密に図られている。	A		
事業の継続性の担保	専任の機能訓練指導員(理学療法士)を配置し専用職種の指導のもとに在宅生活を支援し、継続に務めるための業務平準化が図られるようマニュアルの作成と更新がされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:一般型通所介護(含介護予防 257日) 認知症対応型通所介護 309日 営業期間:8:30~18:00(サービス提供時間:9:00~17:30) 職員配置:25名(正規:5名 契約:20名) 時給:介護職 1,133~1,186円 介護福祉士 1,157~1,229円 看護師・准看護師 1,820~1,830円 その他職員:1,072円(4月~9月) 1,113円(10月~3月) 障害者雇用での自立訓練対象者: 1,072円(4月~9月) 1,113円(10月~3月)	A	基本的事項については、事業計画通り実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護(含介護予防):7,377人(105.2%) 認知症対応型通所介護:1,579人(93.9%) 利用者数合計:8,956人(103.0%) 新型コロナウイルス感染症の影響がある中、利用者数を維持できているのは、十分な感染症対策をはじめとする取り組みによるものである。	A	利用者数は一般型は前年度比で増加した。また、認知症対応型は前年比で減少しているが、利用者数はほぼ維持できている。 季節にあったさまざまな行事を企画・実施されている。	
運営企画	新たな創作活動の提供や外出イベントを8回実施し、前年度より活動的に運営を行ったことを評価する。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:100,294,977円、支出:101,728,088円 事業収支:▲1,433,111円(利用料金収入のため、 指定管理料はなし) 人件費比率:81.83%	A	事業収支はマイナス だが、安定的な運営 が確保されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	損害賠償保険 支払い限度額:5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	電気設備保守、警備設備保守、清掃業務、消防設 備点検、貯水槽点検、自動ドア保守、リハビリ機器 点検、植栽せん定・除草を適切に実施されている。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者、来所者へのあいさつがされている。言葉 使いに配慮し、マナー全般においては概ね好評で ある。	A	業務マニュアルを設 置して適切に実施され ている。 セミナーやミーティ ングを通じ、教育等が意 欲的に実施されてい る。 利用者アンケートを年 1回実施し、施設内掲 示・ホームページ掲載 等により結果が公表さ れている。 第三者評価制度を実 施し、業務の改善に取 り組まれている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置するとともに内部監査が実 施され、適宜見直しながら実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	セミナーや研修会を実施し、それを職員へ周知す るための勉強会やミーティング時に教育が実施さ れている。	A		
所管部署との連携・連 絡	緊急連絡の体制を整備し、適宜、市と連絡・調整さ れている。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを年1回実施し、施設内掲示・ ホームページ掲載等により結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報紙の発行、パンフレットやホームページによる 情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公 表	事業計画・報告書を施設内に掲示し、公表されて いる	A		
公平・公正利用の確保	要介護度による区別を行わず、順次希望者が受 付られている。	A		
業務の点検	第三者評価制度を実施し、改善の取り込みが行わ れている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	清掃等の年間計画に基づき実施されている。	A	施設状況を把握し、対応しながら管理・運営が行われている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	利用者の安全を第一に施設状況を把握し、設備維持管理計画に基づき実施されている。	A		
保安・警備	機械警備の機器を適切に保守管理している。定位置での鍵を保管し、鍵保持者はチェック表で管理されている。また、毎日チェック表で施錠等の保安点検が行われている。	A		
小規模修繕	各所を修繕し、施設を適切に維持した。	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理されている。備品は良好な状態が保持されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人の個人情報管理規定により、各部署責任者を明確化し指揮・監督が行われている。	A	立川市個人情報の保護に関する法律施行条例を準用し適正に管理するとともに、学習会等で職員への周知が行われている。	A
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報の保護に関する法律施行条例」が準用されている。	A		
適正な管理	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適正に管理されている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	法人学習会にて、再確認がされている。また、新人には入社時に研修が行われている。法人で行う法定研修以外に、内部研修として高齢者虐待、スピーチロック、認知症ケア、アサーションを学ぶ機会が設けられている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適切に運用されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	自立歩行できる利用者の転倒事案では、突発事故に対しても、迅速適正に対応が行われている。	A	自立歩行できる利用者の転倒事案について、適切に対応されている。 日常的な事故防止への取り組みは行われている。 マニュアルを通じて事故防止対策に取り組まれている。	A
事故の予兆に対する対応	インシデント・アクシデント報告書を作成し、法人本部にてリスク会議で確認して、課題検討するとともに全職員で情報共有され事故報告されている。2週間後の改善策の振り返りも行いながら再発防止が行われている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき緊急連絡体制が確立されている。年1回のセンター全体での避難訓練、自衛消防訓練にそった毎月の訓練が実施されている。また、利用者とともに炊き出し訓練が実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の医療機関との連携が取られており、センター内の居宅介護事業や地域包括支援センターとも連携されている。また、施設見学やボランティアの受け入れなど、地域との結びつきを重視されている。利用者とも積極的に関わり関係性が取られている。	A	積極的に地域や関係機関と連携されている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>・一般型(総合)の稼働状況が前年度より上昇した。新規利用者獲得が49人となり前年度の37人を上回っている。また曜日追加件数が前年度10件から29件に増加している。</p> <p>・認知症対応型は、令和5年度上半期の稼働が低く下半期は回復傾向となったが、年度合計では昨年度から微減となった。一般型から認知症対応型への変更が6人となった。利用者の中には、一般型利用時には見られなかった楽器演奏を行うなど、個別性を発揮して過ごされる方も見られた。</p> <p>・一般型認知症対応型合わせて42件の見学に対応し、うち29件が利用につながった。29件のほとんどが個別性の高い機能訓練を気に入られた。また、これまで当センターと関わりのないケアマネジャーに羽衣デイを見学してもらおう機会を定期的に行い、延べ6人の新規利用者を獲得した。</p> <p>・外出イベントを年度通じて定期的実施。利用者が楽しみを感じるほか、長距離を不安なく歩くなど、利用者にとって日頃の機能訓練の成果を感じる機会となった。</p> <p>・令和5年度より準職員対象のミーティングと運転手対象のミーティングをそれぞれ実施した。必要な情報を伝えるほか、職員からの要望や提案を引き出し、ともに考える機会とした。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
認知症対応型は、前年度より微減となっているが、一般・総合の稼働状況は、前年度より上昇している。一般型・認知症型合わせて42件の利用者家族の見学があり、そのうち29件の方がデイサービス利用につながっているが、個別性の高い機能訓練ができることや活動の充実さ、ケアマネジャーが同一敷地内にいることなどが理由ということである。また、前年度に比べ外出イベントの回数を増やして実施するなど機能訓練の効果を測定する機会を多くする取組が行われている。利用者が自宅での生活を継続できるサービス提供を実施したことは、通所サービス事業所として高く評価できる。以上のことを踏まえ、総合評価をAとする。		A	<p>利用者のニーズに応えた取組を行い、利用者の高い満足度につながっている。</p> <p>利用者の転倒の事案が発生しているが、再発防止の取り組みは行われている。</p> <p>事業計画に基づき概ね適切に管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂地域福祉サービスセンター	公募	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 敬愛会	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置の目的に沿い、概ね計画通り適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	スタッフミーティングの度に基本的な事項の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法を厳守し、利用者の公平・公正利用が確保されている。	A		
事業の継続性の担保	職員の働きやすい環境構築のため管理者による面談や研修等を行うことで退職者も少なく業務が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般型通所介護(含介護予防)258日 認知症対応型通所介護258日 営業時間：9:00～18:00 (通所サービス提供9:00～17:00) 職員配置：10人(正規7人、契約3人) 時給：介護職(無資格)1,113円 介護職1,190円 介護福祉士 1,290円 看護師 1,600円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、事業計画通り適切に実施されている。 介護職などの人材確保が困難な中、処遇改善を進め必要な人材が確保されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護(含介護予防)：2,898人(147%) 認知症対応型通所介護：1,075人(207%) 体組成計や体力測定を定期的実施し、脳トレにつながるレクリエーションや音楽を活用した活動を取り入れ、利用者の自覚を促すことができる。	A	利用者数は一般型・認知症ともに前年比で大きく増加している。 地域や近隣施設と交流の場としての事業が展開されている。	
運営企画	1年を通し四季に応じた行事が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:43,119,843円、支出:51,563,129円 事業収支:▲8,443,286円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:74.5% 収支はマイナスとなっているが、事業運営は確保されており、地域の高齢者へサービス提供が行われている。	A	必要な人材の確保に努めたことから、事業収支はマイナスとなっているが、事業の継続性は確保されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	警備、自家用電気工作物保安管理、清掃、受水槽清掃、消防用設備保守点検、防火対象物定期点検、空調設備保守点検、建築設備保守点検、植木せん定、ごみ処理、水道検査	A		
新たな取り組みの状況	令和6年1月にCogEvoを導入し、データを活用した個別の取り組みが始められている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切な挨拶・対応等がされている。	A	各種業務マニュアルを設置し、適正に事業実施されている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果が施設にて公表されている。	A
マニュアルの整備	業務に応じた様々なマニュアルが設置され、業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	適宜研修や教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署と連絡・調整・連携がされている。 非常時・事故等の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回アンケートを実施し、結果を施設に設置して公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットや法人ホームページで情報が提供されている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設に設置して公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムが構築されている。 設置目的以外の利用はされていない。	A		
業務の点検	ミーティング等で業務点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画に基づき実施している。	A	事業計画等に基づき、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	各所を修繕し、施設を適切に維持した。	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう管理されている。	A	研修・教育を実施している。個人情報に関する取り扱いマニュアルに基づき実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報の保護に関する法律施行条例」が準用されている。	A		
適正な管理	適正に管理されている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	適切に研修・教育が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報の取り扱いに関するマニュアル等が整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	・利用者の送迎忘れの事案が発生した。再発防止に向けて、送迎計画のダブルチェックの強化が行われている。 ・一部食材を好まない利用者への配膳ミスがあったが、再発防止策が対応されている。	B	利用者の送迎忘れの事案等が発生しているが、事後の処置や再発防止策は適切に実施されている。	B
事故の予兆に対する対応	・ヒヤリハットを基に伝達、注意喚起、対応の徹底が行われている。 ・原因・状況を調べ、職員ミーティングで対応策等を話し合い、事故防止・再発防止されている。 ・運転手・添乗等の意識を高め事故防止されている。			
具体的にヒヤリ・ハットとした状況	状況を分析し、事故の発生を未然に防ぐために対策を講じている。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みが行われている。また、年1回消火器訓練、その他消火模擬訓練も実施し、消防法に乗っ取った訓練が年2回以上実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	関係機関との連携を行い、地域のニーズに応えている。 ひと涼みスポット・認知症カフェ・体操教室等地域住民への場所の提供を行い、地域資源の案内等地域貢献されている。	A	積極的に地域や関係機関との連携を図られている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>受託者2年目ということもあり、手探りで開始し運動型のデイサービスとして各自治会や地域、ケアマネジャー等に周知していき、一般・総合の利用が徐々に増加。ご利用者様からも運動効果があると評価をいただいている。認知デイに関しては当方の特徴が不明瞭でご利用者やその家族、ケアマネに納得を頂くことが難しかった。我々も試行錯誤があったが、居室介助を含めご利用者一人一人の生活にも介助を広げ、デイの時間と空間に限られない対応をしていくことで自分たちのスタイルを築いてきた。その結果、ご利用者の数を増やしてきたが、まだ途上にある。地域密着型も認知型も「おいらが町のデイ」となるべく地域に根ざした活動を今後も継続する。</p> <p>新型コロナウイルスの影響は特になく、感染蔓延等もないが感染対策を今後も継続していく。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<p>受託2年目ではあるが、地域密着型運動型デイサービスとして利用者の目的や体力等を考慮した運動メニューを提供することができ、利用者からも運動効果実感の意見をいただいている様子で、一般・総合の利用者が徐々に増加している。認知症型デイサービスについて、特徴が不明瞭とのことであったが、運動をメインに回想法や脳トレ等を実施して、利用者の体調維持に注力されている。地域密着型も認知症型も地域に根ざした活動を行われており、通所サービス事業所として高く評価することができる。以上のことを踏まえ、総合評価をAとする。</p>	A	<p>法人の特色である運動型デイサービスをメインとした取り組みを行い、利用者からの好評の声につながっている。</p> <p>地域や近隣施設との連携により、事業が実施されている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に施設の管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。</p>		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第1ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例・規則や事業計画書に準じて適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	現場責任者によるOJTや統括・副統括の相互巡回により、逐次指導が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入等により、公平・公正に利用できる環境を整備されている。	A		
事業の継続性の担保	新人時のOJT研修後、常に経験者がフォローする体制で業務が行われている。雇用の安定のため、勤務シフトの対応が実施されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:366日 営業時間:24時間利用 職員数:統括責任者:2名/統括場長:1名/副統括場長:1名/管理員:86名 契約社員 時給:1,075円(4月～9月) 1,113円(10月～3月)	A	基本的事項については、仕様書及び事業計画通り適切に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
利用状況	<p>【定期利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 4,167台 (99%) バイク合計 60台 (64%) 立川駅南口西:自転車495台 (99%) 立川駅南口第三:自転車130台 (102%) 立川駅南口第四:自転車138台 (104%) 立川駅南口立体:自転車266台 (103%) 立川駅南口第一タワー:自転車190台 (98%) 立川駅南口第二タワー:自転車270台 (100%) 立川駅北口第一:自転車683台 (101%) 立川駅北口第三:自転車239台 (52%) バイク49台 (58%) 西地下道:自転車472台 (109%) 西国立駅第一:自転車68台 (101%) 西国立駅第二:自転車99台 (132%) バイク11台 (122%) 西国立駅第三:自転車98台 (114%) 西立川駅:自転車186台 (103%) あげぼの口南臨時:自転車378台 (101%) 曙町一丁目東:自転車409台 (105%) 曙陸橋東:自転車46台 (-) バイク 49台 (-)</p> <p>【一時利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 4,834台 (110%) バイク合計 131台 (119%) コトリンク:自転車639台 (137%) バイク 79台 (150%) 立川駅南口立体:自転車203台 (104%) 立川駅南口第一タワー:自転車23台 (135%) 立川駅南口第二タワー:自転車43台 (126%) 立川駅北口第一:自転車279台 (111%) 立川駅北口第三:自転車323台 (99%) バイク47台 (90%) 西地下道:自転車241台 (107%) 西国立駅第二:自転車230台 (112%) バイク 5台 (83%) 西国立駅第三:自転車110台 (103%) 西立川駅:自転車116台 (105%) 立川北駅下:自転車1,542台 (105%) 立川北駅西臨時:自転車161台 (103%) あげぼの口南臨時:自転車247台 (103%) 立川駅北口西地区:自転車677台 (114%)</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行による利用者の行動変容の影響により、定期利用は前年度と比較し横ばいの状況だが、一時利用については、大幅に増加傾向にある。</p> <p>令和3年度から収支の赤字が続いていたが、電力・ガス価格激変緩和対策事業による光熱費の削減、指定管理者最終年度による、備品消耗品の購入計画の見直し、その他企業ノウハウを活用したコスト削減策により、プラスに転じている。</p>	A
運営企画	立川駅の北口・南口それぞれの拠点となる施設において安全点検キャンペーンを実施され、自転車の安全利用を推進されている。例年50組くらいの参加者数であるが、北口西地区で開催した2回では多くの利用者に点検が行われている。	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:252,254,876円 支出:241,391,993円 事業収支:10,862,883円 人件費比率:60.96% 使用料収入 181,514,434円(前年度183,423,728円) 自主事業納付金:61,214円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	動産保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	令和4年度同様に、機器トラブル発生時等において、迅速に各委託先と連携しており、適切な委託状況である。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	OJTや接客接客研修を実施し、適切に対応されている。	A	各マニュアルが整備され、適切に業務が行われている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を接客の参考としている。 電磁ロック式駐輪機の導入により、公平・公正な利用が確保されている。	A
マニュアルの整備	緊急対応マニュアル、接客/接客マニュアル、駐車場機器対応マニュアル、駐車場管理PCマニュアル、個人情報保護マニュアル、危機管理マニュアル、自転車駐車場管理マニュアルを整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	研修により、職員スキルが向上されている。	A		
所管部署との連携・連絡	業務調整会議の実施、緊急連絡体制の構築を実施されている。	A		
利用者アンケート等の実施	全駐車場にて年1回実施し、結果が場内掲示により公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市内有料駐車場マップの配布実施、ホームページによる情報提供が行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	適切に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正利用の確保をされ、設置目的外の利用はされていない。	A		
業務の点検	第三者機関に依頼し実施されている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	一部の施設で除草に関する問題はあったが、全体的には仕様書のとおり適切に実施されている。	A	仕様書等に基づき、適切に管理されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施されている。	A		
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施されている。	A		
小規模修繕	スライドラックの修繕ほか各施設の修繕を実施し、適切に修繕が行われている。	A		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理されている。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報取扱研修が実施されている。	A	利用者から預かった申請書を紛失する事案が発生した。適切な管理を実施してほしい。	B
個人情報等秘密の保持	利用者から預かった申請書を紛失する事案が発生した。次期指定管理者への引き継ぎ等を含めて、再発防止を徹底してほしい。	B		
適正な管理	利用者から預かった申請書を紛失する事案が発生した。次期指定管理者への引き継ぎ等を含めて、適正な管理を実施してほしい。	B		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報保護マニュアルを整備し、本社で個人情報取り扱い研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	全管理室へマニュアルを配備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	コトリンクでの昇降機停止があったが、速やかな報告、対応により利用者への影響を最小限に抑えている。 利用者から預かった申請書を紛失する事案が発生した。申請書の写しを一定期間保管する管理体制をとることで、申請自体の有無の確認につながっているが、個人情報の適切な管理について次期指定管理者への引き継ぎ等を含めて、再発防止を徹底してほしい。	B	利用者から預かった申請書を紛失する事案が発生したため、再発防止を徹底してほしい。	B
事故の予兆に対する対応	「場内走行禁止」掲示物による注意喚起の実施と降雪予報に対応しスコップ・融雪剤の配備を実施されている。			
具体的にヒヤリ・ハットとした状況	特筆すべき事項はなかった。			
事故防止対策の取り組み状況	管理員による利用者への注意喚起、管理室へのマニュアル配備、研修等を実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	放置禁止区域内の車両に対する警告札貼付、周辺施設の清掃などにより地域連携に取り組んでいる。	A	地域との連携がとられている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
レンタサイクル	61,214円納付し、歳入に貢献すると共に、観光利用及びビジネス利用に伴う地域活性化に貢献いたしました。また、自主事業のレンタサイクル(T-BIKE)会員カードでの使用を継続し、立川市ブランドメッセージロゴマーク活用に協力いたしました。			
地域貢献	立川市安全安心パトロール参加 ・立川駅周辺清掃活動参加 ・こども110番登録(コトリンク追加)			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<ul style="list-style-type: none"> ・立川駅北口第三の廃止に向け、立川市様はじめ現地統括責任者、現地副統括責任者、現地管理員、弊社コールセンターと常に連携をし、ご利用者様へ迅速かつ丁寧に対応いたしました。 ・曙陸橋東の開設に向け、関係各所と密に連携をとり、元北口第三ご利用者様含む多くのご利用者様が快適にご利用頂けますよう準備を行い、立川市内駐輪場初となるWEBでの定期新規申込及び更新、解約の出来るシステムを導入いたしました。 ・指定管理者の変更に伴い、立川市様はじめ次期指定管理者と密に連携をとり、シームレスな引継ぎに努めました。 				
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
指定期間最終年であった令和5年度は、立川駅北口周辺で最大規模である北口第三有料自転車等駐車場の閉鎖があった。土地所有者の意向により急遽決定となったにもかかわらず、閉鎖に向けた現地利用者への丁寧な説明や適切な掲示物の作成、他駐輪場への定期利用に向けた手続き、廃止に関しての問合せに迅速かつ確実に対応され、その結果、大きなトラブルなく閉鎖が出来た点について高く評価したい。 また、曙陸橋東有料自転車駐車場の開設についても、企業ノウハウを活かしたシステムの導入を行い、定期利用の新規申込・更新・解約の手続きをオンライン化され、利用者への利便性向上に繋がった点も高く評価したい。 加えて、令和6年度からの指定管理者変更による引継ぎでは、設備機器や駐輪場で利用する各種インフラの名義変更等の確認作業や、管理員に対して次期指定管理者からの案内等を適切に伝達し、年度当初から駐輪場の管理運営を円滑に出来るよう引継ぎが行われている点についても高く評価したい。 令和6年度から指定管理者ではなくなるが、指定管理者での経験を活かし、多方面で活躍する事を期待したい。		A	新型コロナウイルス感染症の5類移行による利用者の行動変容の影響により、定期利用は前年度と比較し横ばいの状況だが、一時利用については、大幅に増加傾向にある。 事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第2ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名		指定管理期間
サイカパーキング株式会社		平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例・規則や事業計画書に準じて適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	専任の講師による研修の実施により、職員の質の維持を継続されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入等により、公平・公正に利用できる環境を整備されている。	A		
事業の継続性の担保	事業継続に支障が無いよう、人員確保の迅速に対応し、適切な研修の実施されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:366日 営業時間:24時間利用 職員数:統括責任者1名、場長2名、管理員17名 場長及び管理員 :時給1,113円 場長には月5,000円の手当有	A	基本的事項については、仕様書及び事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、新型コロナウイルス感染症5類移行による利用者の行動変容から、前年度と比較して全体的に増加傾向にある。	A
利用状況	【定期利用 平均利用台数】()内は対前年度比 自転車合計 1,399台(101%) バイク合計 45台(96%) 武蔵砂川駅第一:自転車759台(100%) バイク 25台(109%) 武蔵砂川駅第二:自転車252台(105%) バイク 20台(83%) 西武立川駅北口第二:自転車388台(100%) 【一時利用 平均利用台数】()内は対前年度比 自転車合計 757台(116%) バイク合計 22台(105%) 西武立川駅北口:自転車219台(139%) 西武立川駅北口臨時:自転車47台(107%) 武蔵砂川駅第一:自転車389台(108%) バイク10台(91%) 武蔵砂川駅第二:自転車102台(116%) バイク12台(120%)	A		
運営企画	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:49,658,200円 支出:48,824,413円 事業収支:833,787円 人件費比率:45.53% 使用料収入 49,240,752円(前年度46,163,512円)	A	令和2年度から事業収支はマイナスであったが、新型コロナウイルス感染症5類移行による利用者の行動変容や、5年度は大きな修繕等もなかったことから、収支をプラスとすることができている。 事業計画書に基づく新たな取り組みについて、利用者のサービス向上に努めている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	産業廃棄物処理、コールセンター業務、定期WEB管理システム利用案内業務、機械警備業務、駐輪場管理業務、集金業務、で実施。機器トラブル発生時等において、迅速に各委託先と連携しており、適切な委託状況である。	A		
新たな取り組みの状況	点検を実施し自転車の安全利用を推進した。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	オリエンテーション、現場指導を実施されている。	A	各マニュアルが整備され、適切に業務が行われている。 利用者アンケートを年1回実施し、3施設に掲示している。WEB形式のアンケートも活用し積極的に意見を収集されている。 入退場ゲートの設置により、公平・公正な利用が確保されている。	A
マニュアルの整備	定期更新機操作マニュアル、トラブル対応マニュアルを整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	専門講師による研修会により、職員スキルが向上されている。	A		
所管部署との連携・連絡	業務調整会議の実施、緊急連絡網作成等により、適切に連携がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	全駐車場で年1回実施し、結果が場内掲示により公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	駐輪場利用についてのしおりを作成し、定期利用申し込み時に配布している他、ホームページで周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	適切に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	入退場ゲートの設置により公平・公正に利用できるシステムを構築している。また、設置目的外の利用はされていない。	A		
業務の点検	統括責任者により点検を実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施されている。	A	仕様書等に基づき、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施されている。	A		
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施されている。	A		
小規模修繕	ラックのメンテナンスほかドアノブ故障時は迅速に対応し修繕されている。	A		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	管理員研修会において、個人情報管理者による講習を実施し、現地確認も併せて行った。	A	研修の実施により、個人情報の管理等について適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報の保護に関する法律施行条例」に基づき、適切に実施されている。	A		
適正な管理	鍵付書庫を活用し、適正に管理されている。	A		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	管理員研修会において、個人情報管理者による講習を実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	管理員研修会において、個人情報管理者による講習を実施し、マニュアル配布も実施されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	該当なし。	A	安全管理に関する苦情等は、特になかった。 事故の予兆への取り組みが適切に行われている。	A
事故の予兆に対する対応	利用者同士の接触事故防止に向け、自動音声案内機を導入されている。	A		
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特筆すべき事項はなかった。			
事故防止対策の取り組み状況	統括責任者からの駐輪場内の危険箇所等の報告の実施、現場指導、マニュアル整備等を行っている。			
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川市地域見守りネットワークへの参加、第一ブロックとの連携、地域高齢者団体との連携、駐輪場周辺のごみ回収、草刈りなどにより地域連携に取り組んでいる。	A	地域と連携されている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>令和5年度で、指定管理期間の最終5年目となる、立川市自転車等駐車場(第二ブロック)の運営管理に関しては、全ての月において利用者数がほぼ前年を上回る結果となった。新型コロナウイルス感染症による利用者減少の影響はなくなったのではないかと考える。利用者が増加する一方で現場対応に追われる機会も増えてきた中で、対応手順等を日々再確認したことで、大きなトラブルに発展することがなかった。</p> <p>世間的に新型コロナウイルス感染症の影響も減ったことにより、3年ぶりに対面での管理員研修を実施し接客接遇の向上に努めた。</p> <p>また、西武立川駅北口自転車駐車場に設置している2段ラックが老朽化していたため全車室メンテナンスを実施。近年は自転車の多様化が進んでおり、引き続き貴市と連携をとり運営管理に従事できればと考える。</p>			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
<p>指定期間最終年であった令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大前の平成31年度より利用者数が上回る結果となった。</p> <p>近年の自転車規格の多様化等により、利用者の増加と併せて、現場での対応方法が複雑になる中、管理員との作業確認を定期的に行い、利用者が快適に利用出来る環境を整えたことを評価したい。</p> <p>また、西武立川駅北口自転車駐車場は屋根等雨除け出来るものがなく、ラック等の機器は通常よりも痛みやすくなる為、老朽化を未然に防ぎ、利用者に安心安全に利用して頂くよう対応された点についても高く評価したい。</p> <p>令和6年度も指定管理者として、企業ノウハウを活用し自転車の多様化に対応できるよう、引き続き適切な管理運営を期待したい。</p>	A	<p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症5類移行による利用者の行動変容から、前年度と比較して全体的に増加傾向にある。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市駐車場	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
タイムズ24株式会社連合体	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に基づき管理運営が行われ、周辺の交通渋滞緩和に貢献している。	A	公の施設の役割と、市の代行者の立場であることへの理解は深く、適切に業務が行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月、各駐車場責任者が集まり管理運営に関する情報や意見交換が行われ、それに基づく職員への指導・伝達により、職員の意識が向上されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	各駐車場への管制機器等により、公平・公正に利用できる環境が整備されている。	A		
事業の継続性の担保	業務に精通した職員が配置されているほか、職員の交代にも対応できるように業務マニュアルを作成されており、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:366日 営業時間:24時間利用 リーダー:時給1,300円(11月よりインフレ手当+50円) 一般職員:時給1,200円(11月よりインフレ手当+50円) 人件費はインフレ手当により、事業計画と比較して増加しているが、支出全体としては計画通りの額内で適正に実施されている。	A	基本的事項は事業計画のとおり実施された。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用台数は全体的に、前年度と比較して増加傾向であり、事業計画に基づき安定的な運営がなされている。	A
利用状況	【時間貸】()内は前年度数・対前年度比 合計180,540台(171,230台・105.4%) 北口第一:148,402台(141,375台・104.9%) 北口第一(二輪):9,217台(8,281台・111.3%) 緑川第五:12,941台(12,804台・101.0%) 緑川第六:9,980台(8,770台・113.7%) 【定期利用】()内は前年度数・対前年度比 合計1,827台(1,717台・106.4%) 北口第一:851台(782台・108.8%) 緑川第五:171台(176台・97.1%) 緑川第六:805台(759台・106.0%) 総料金収入は、173,155,783円(前年度163,008,473円、前年度比106.2%)となった。 前年度の業績と比較し、時間貸しの利用台数、総料金収入ともに増加している。新型コロナウイルス感染症による影響が収まってきたことが一因と考えられる。	A		
運営企画	事業計画書に記載の事業は予定通り実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	<p>収支計画による収入計画は、182,680,000円に対し、実績は173,155,738円となった。 支出計画は、57,305,000円に対し、54,782,467円となった。 収益(収入-支出)は計画125,375,000円に対し、実績118,373,316円となった。</p> <p>納付金については、基本納付金7,500万円、超過納付金20,425,391円、合計95,425,391円となった。 (前年度は基本納付金7,500万円、超過納付金15,351,737円、合計90,351,737円)</p> <p>新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5月に5類に移行され、人流が再開したことにより収入の増加に繋がった。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、人流が再開したことにより収入の増加に繋がっている。</p>	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	<p>指定管理者の判断により、保険に加入している。 自動車管理者責任賠償保険、施設管理者賠償責任保険、 1事故・1請求または1補償:5000万円 協定書に基づき、リスク分担して対応。</p>	A	<p>市への納付金は、基本納付金に超過納付金を加え9千万円を超えており、概ね適正な水準であった。</p>	
第三者への委託状況	<p>外周誘導、清掃、機械警備、諸設備管理・点検、 消防設備点検</p>	A		
新たな取り組みの状況	<p>カーシェアは、近隣住民等の利便性向上に繋がったと考える。タイムズタワーの設置は、令和6年2月に設置したため、今後効果を検証していく。パーク&ライドは、市営駐車場という立場から、実施は難しいと市が判断した。タイムズタワー並びに災害用飲料自販機の設置が出来なかったことは、提案前の事前確認が不足していたと考えられるが、運営管理に支障はきたしていない。</p>	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	<p>研修を実施し、挨拶、接遇、服装、利用者説明等について、接遇は問題なく行われている。</p>	A	<p>窓口業務の研修等、各種研修が実施され、接遇は適切に行われている。</p> <p>仕様書や業務マニュアルに基づき、適切に業務が行われている。</p>	A
マニュアルの整備	<p>利用者対応等の業務マニュアルが整備され、業務が行われている。</p>	A		
研修・教育の実施状況	<p>職員に対する研修が実施されている。</p>	A		
所管部署との連携・連絡	<p>毎月の業務調整会議により情報が共有されている。緊急時の連絡体制が整えられている。</p>	A		
利用者アンケート等の実施	<p>利用者アンケートについて適切に実施されている。</p>	A		
広報・PR等の利用情報の提供	<p>ホームページ、駐車場案内サイト等により、PRに努めている。</p>	A		
事業計画・報告書の公表	<p>市に提出をしている。</p>	A		
公平・公正利用の確保	<p>全駐車場に管制機器を設置し、公平・公正に利用できる環境が整備されている。</p>	A		
業務の点検	<p>毎月、モニタリングチェックシートを作成し、市へ提出する機会において、業務点検が行われている。</p>	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	適切に維持管理されている。	A	適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	適切に保守点検されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	適切に実施されている。	A		
備品管理	適切に実施されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護の重要性が十分に認識され、事故防止が徹底されている。	A	情報セキュリティに関する意識が高く、個人情報の管理・研修実施などの体制が整えられている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定に基づき、適正に管理されている。	A		
適正な管理	契約者情報等は、厳重に管理されている。	A		
再委託の禁止	外部委託は市の承諾を得た上で、適正に実施されている。	A		
研修・教育の実施	全職員を対象に研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規程に基づき個人情報保護を実施している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者の車両誤操作によるゲートバー、ガードレールへの接触事案が2件発生した。いずれの事案についても利用者の負傷等はなく、事案発生後は適切に対応されている。	A	利用者の誤操作による事故が発生したが、適切に対応されている。各種マニュアルに基づき、事故防止に努めており、大きな事故等はなく、事故防止への取り組みは良好に行われている。	A
事故の予兆に対する対応	適切に安全確認が行われている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	各種マニュアルに基づき、事故防止に努めている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	関係事業者との交通に関する懇談会に参加し、情報交換に取り組んでいる。駐車場外周の歩道を清掃し、周辺美化に寄与した。また、大規模災害発生時に人的、場所的資源を提供できる体制となっている。市営駐車場としてのイメージアップにつながっている。	A	仕様書で求めているわけではないが、周辺美化等イメージアップに貢献されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>最終的な利用実績は時間貸利用が台数で前年比105.4%、収入では106.7%の水準、定期利用が前年比106.4%、収入では106.6%の水準と令和4年度を上回る結果となりました。長らく続いた新型コロナウイルス感染症による影響がようやく収まり、駐車場利用についても1年間を通して安定した運営をすることが出来ました。その結果、利用台数、利用料金収入共に本指定管理期間では最高の数値を記録することができ、コロナ禍前の水準を超えることが出来ました。北口第一駐車場の自動二輪の収入についても駅周辺の大型駐輪場の閉鎖に伴い、稼働が高まり最高の収入額を記録しております。</p> <p>一方で、提携店舗への利用料請求やサービス券の販売額は減少傾向が継続しており、大口提携先であるパレスホテル立川も令和5年12月をもって閉館するなど、減少傾向に歯止めが利かない状況となりつつあります。これは長らく続く物価高が商業施設の集客など個人消費全般に影響を与えているものと考えられますので、この点につきましては注視するだけでなく、周辺店舗に対し新規提携の営業を行うなど、収入額向上に向けて施策を行ってまいります。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>令和5年度について、時間貸しの利用台数は、180,540台(前年度171,230台、前年度比105.4%)となった。 定期利用の契約台数は、1,827台(前年度1,717台、前年度比106.4%)となった。 総料金収入は、173,155,783円(前年度163,008,473円、前年度比106.2%)となった。 納付金については、基本納付金7,500万円、超過納付金20,425,391円、合計95,425,391円となった。 (前年度は基本納付金7,500万円、超過納付金15,351,737円、合計90,351,737円) 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限緩和により、徐々に売上も回復傾向にあったが、リモート会議や在宅勤務などの定着の影響か、コロナ禍以前には戻らなかった。令和5年度は、収益は収支計画を下回ってはいるものの、基本納付金、超過納付金ともに協定の通り納付があった。収益としては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが令和5年5月に5類に移行され、人流が再開したことにより利用台数と収入の増加に繋がり、本指定管理期間では最高の数値を記録することができ、コロナ禍前の水準を超えることが出来た。 また、駐車場の営業に支障が出るような大きな事故や苦情はなかった。</p>		A	<p>民間駐車場との競争が厳しい状況の中、収益が確保されたことは評価できる。</p> <p>巡回実施や研修等により、事故防止の取り組みを適切に実施している。</p> <p>事業計画に基づき、概ね適切に管理・運営が行われていると判断しA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市八ヶ岳山荘	公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社レストラン・ピガール	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例、規則、基本協定書等を踏まえ適切に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	ミーティングの中での職員教育とともに、月に1度以上の頻度で、本社の役員が現地に出張して情報を交換することで、設置目的や運営上の注意が共有されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	法令を遵守し、公平・公正な利用が確保されている。	A		
事業の継続性の担保	現地周辺で人材不足の状況であるが、繁忙期や緊急時には東京の店舗の職員を派遣することで、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:366日 開館時間:24時間 職員配置:正社員6名、嘱託3名、パート1名 給与単価:月給22.5万円～47.0万円 パート時給1,500円 適正に事業が実施されている。	A	基本的事項については、実施計画通り実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、新型コロナウイルス感染症の、5類移行による市民の行動変容の影響は受けつつも、コロナ禍以前の水準には戻っていないが、利用者数が増えたことは評価できる。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】8,684人(108.0%) 〔内訳〕 一般利用者 5,600人(106.8%) 学校利用 3,084人(110.1%) 令和5年度は、市が実施する照明工事を、自然教室の利用時期を避けて最も集客が見込める夏季に行ったため、夏季に体育館が利用できず団体客が減少した。この条件下で、年間を通して4年度より多くの利用者を獲得したことは評価できる。	A		
運営企画	令和4年度に引き続き、一般利用者へのアメニティーセットの提供、4月と11月の閑散期割引、障がいのある方の利用促進など、工夫して各種企画を実施したほか、夕食のバーベキュー提供、外国人の方への利用促進など積極的に取り組んでいた。特にバーベキューは利用者から人気があった。そうした集客強化など営業努力も評価できる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:73,878,787円、支出:74,888,900円 事業収支:▲1,010,113円 ＜収入内訳 指定管理料:59,413,000円 利用料金収入:9,692,000円(施設使用料) その他事業収入:4,773,787円(食事・売店等)＞ 物価の高騰による影響、照明工事の影響についての補てん等(5,347,000円、上記指定管理料を含む)を行った。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	生産物賠償保険 支払限度額:10億円 施設賠償保険に自主的に加入しているほか、協定書に基づき、適正にリスク分担して対応している。	A	物価高騰の影響により指定管理料の補てんを行っている。必要経費については適正に支出されている。	A
第三者への委託状況	施設保守管理、定期清掃、消防設備保守、定期消毒、自家用電気工作物保守 すべて仕様書にある業務は実行し、申請している以外の業務を第三者に委託はしていない。	A	適正にリスク分担して対応されている。	
新たな取り組みの状況	閑散期の2月等の平日の利用を狙い、貸し切りでの営業を進めるなど、指定管理者の営業努力により新たに障がい者の方等の利用が促進できた。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	研修・日々のミーティングでチェックし取り組んでおり、利用者アンケートでは「良い」以上の評価が95.9%以上だった。	A		
マニュアルの整備	衛生管理、災害時対応、消防等の各マニュアルに基づき業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	研修・教育を適切に行われている。	A	各種マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	月例報告の他、適宜連絡がされ、天候による被害等の緊急連絡も速やかに行われた。	A	接客の取り組みが積極的に行われている。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートが実施され、公表されている。	A	緊急対応についても所管部署との連絡・連携を密にはかることで、柔軟に対応された。	A
広報・PR等の利用情報の提供	チラシを配布。ホームページに利用案内や空室情報等を記載し、団体向けに直接の営業活動も行われている。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出されている。	A	利用者アンケートでは、利用者からの好評を得ている。	
公平・公正利用の確保	条例等をよく理解し、公平公正な利用に取り組んでいる。	A		
業務の点検	現地職員と十分なコミュニケーションをとり改善に取り組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画書等に基づき、適切に実施されている。周辺の施設が少なくなり自然教室のハイキング道等も草木が生い茂るため、自然教室前には整備が行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 衛生管理や施設・設備保守は適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。発見した設備の不具合については、早期に発見され、市にすぐに報告されるとともに、修理等必要な対応がとられている。	A		
保安・警備	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	消火器交換、自炊棟橋修理、受水槽補給水管修理、非常用照明、202号、207号室サッシ修理等いずれも的確に修理を行った。	A		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、職員が指揮監督している。	A	適切に個人情報が管理されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	責任者により、適正に管理されている。	A		
再委託の禁止	市が承認したもの以外、第三者への委託は行われていない。	A		
研修・教育の実施	必要な研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルが整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	苦情があった場合は、すぐに対応するとともに、再発防止に取り組まれている。	A	配膳不足等による苦情事案があり、安全管理に課題があった。事後の対応や再発防止策は適切に実施されている。 マニュアルが整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	施設老朽化により故障や事故につながりそうな箇所については適宜報告を受けている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	自然教室での安全対策について現地の状況をよく知るスタッフが適切にアドバイスを行っている。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みが行われ、災害発生時の連絡体制が確立されており、疑似体験などの訓練も行っている。学校寮地区内における協力体制も整っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	適正に実施されている。	A	地域との関係は良好である。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
大晦日ビンゴ大会等のサービス事業の実施	宿泊者の方ならどなたでも無料で参加できるビンゴ大会や、星空観察会等のサービス事業を実施。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和5年度については事業計画書の作成の段階までは公募時の「新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮せずに書類を作成する」と言うご指示での書類作成でした。実際の社会は年度が進み、新型コロナウイルスが終息に向かい、社会活動が平常に戻る段階で急激な人件費の高騰や前年度よりのロシア・ウクライナ危機の影響で食糧価格等が急激に上昇。その影響を立川市八ヶ岳山荘の運営でも非常に受け、厳しい経営状況でした。なお、一般来客者数は前年度より6.8%増加して5,600名様でした。回復傾向にありますが新型コロナウイルス感染拡大前のまだ65%程度です。また浄化槽や浴槽、埋設配管等の老朽化が進み、更なる多額の修繕費が必要となる時期が迫っています。今後どのように対応していくかは令和6年度よりの大きな課題になると思います。清里学校寮地区の多くの施設が閉鎖になり、寂しくなっていました。閉鎖した市の林間学校にご利用いただくチャンスでもあります。そのためには現在の立川市八ヶ岳山荘の運営体制、指定管理者の運営についての考え方を再考することも必要な時期に来ているようにも思われた令和5年度でした。とにかくあらゆる知恵を用いて、1名様でも多くの一般ご利用者様をお迎えできるように励みます。				
施設担当課評価				
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価 評価理由等	2次評価
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は新型コロナウイルス感染症の大きな影響は収まってきたが、他の感染症を含めた宿泊時の発熱等の事例は多い中、適切に対応し安全な運営ができています。大雪の際にも、宿泊予定客に前もって現地の状況をお知らせするなど、利用者の安全に配慮して運営していることは評価できる。 ・学校寮地区内の他市の施設が長期間休館したり廃止になっている中で、立川市八ヶ岳山荘は前年度より利用客を増やしている。 ・施設の老朽化に伴う故障が増え、部品の調達が困難であったり積雪による設備の被害が発生するなどのアクシデントが起こる中、迅速な修繕の手配ができています。現地の事業者から、情報収集をしっかりと行い適切に対応しており評価できる。市への報告も迅速で、状況変化を含め適宜報告がある。 ・団体での集客が見込める夏季に市の照明工事で体育館を閉鎖したため、利用客数が伸び悩んだ。また、物価・人件費の異常な高騰があり市が補てんをしたが、指定管理者の経費節減等の努力により、見込みより低い補てん額となったことは評価できる。 ・利用者アンケートでは、食事について96.9%以上、施設について94.6%以上、サービスについて95.9%以上が「良い」以上となっており、大変評価が高い。指定管理者制度の目的である「民間の活力を利用して、より良い市民サービスの提供」が達成されている。4回の公募を経て、平成21年度から当該指定管理者がトータル15年間営業してきており、安定的な運営を継続している。 		A	<p>エリア全体の集客力が落ち込む中、令和4年度と比較して利用者が増えていることは高く評価できる。</p> <p>施設・設備の維持管理に対し、適切に対応しながら、安定的な運営に努めている。</p> <p>安全管理上の課題はあったが、事後の対応や再発防止策は適切に実施されている。また、利用者アンケートの評価は高く、質の高いサービスが提供されている。</p> <p>事業計画書等に基づき、概ね適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市滝ノ上会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市滝ノ上会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的を開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:304日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:72,783～82,073円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:881件(85.7%) 利用者数:12,370名(79.5%) 平均施設使用率:33.7%(107.0%) 中規模改修工事による休館や利用制限があり減少している。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 中規模改修工事による休館や利用制限のため、昨年度に比べて利用件数・利用者数は減少している。	A
運営企画	()は参加者数、発行部数 利用者懇談会(40名)、広報発行2回(各5,000部)、新年懇談会(60名)、富士見町ふれあいコンサート(150名) 定例となっている上記事業を新年懇談会以外実施することができ、ふれあいコンサートでは工夫を講じながら開催していた。会館まつりは中規模改修工事により中止とした。	A	事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,143,822円、支出:4,143,822円 * 指定管理料3,963,580円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会、役員会を開催 し、業務の点検が行 われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的で開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。とりわけ、中規模 改修工事は隔週での定例会を行い、連携して対応 できた。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	日常点検マニュアルに基づき会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者が車椅子用スロープの段差に躓き、骨折する事案が発生した。施設での事故に対し、管理運営委員会で検討し、早急に対応策を講じたことは評価できる。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が図れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行により以前の活動ができるようになってきたが、令和5年度は中規模改修工事のため、会館の利用が制限され、4年度に数年ぶりに開催した会館まつりが中止となりました。一方で、中規模改修工事による土足化を行ったことで、利用者の利便性が向上し、照明のLED化により、利用者から各部屋の明るさに関する高評価をいただくことができました。令和6年度は令和5年度に実施できなかった事業を引き継ぐとともに、滝ノ上会館40周年記念式典を行う予定のため、更に利用者から愛される滝ノ上会館を作っていくたい。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>利用者の高齢化による団体の解散や夜間利用者の減少など、学習等供用施設全体が抱える課題がある中、多世代の利用促進のため、PTA選出の管理運営委員がPTAの任期が終わった後も、地域協力委員として運営に継続して参加するなど、若い世代を積極的に登用する働きかけをされている。</p> <p>滝ノ上会館は風水害時の指定避難所にも位置づけられており、台風の際は避難者の受け入れを行なっている。また、地域住民にとって学習や趣味、娯楽といった活動の拠点となっており、開館以来、利用者の方々や地域の各種団体と一体となりながら、富士見町の文化を盛り上げてきた。とりわけ「子どもの居場所づくり」への取り組みは特筆すべきものであり、子どもが参加しやすい企画を数多く実施されている。</p> <p>令和5年度は中規模改修工事に際し、休館や一部使用停止、騒音など施設利用者等に大きな影響があった。しかし、管理運営委員会から、利用者や周辺住民に丁寧に説明を行ったため、ほとんど苦情もなく順調に工事を行うことができた。また工事の影響により、会館まつりをはじめとした多くのイベントが中止となったが、会館だより等で改修工事後の内容を積極的に発信し、利用者への対応が行われている。</p> <p>以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。</p>		A	<p>中規模改修工事による休館や利用制限のため、昨年度に比べて利用件数・利用者数は減少したが、地域に密着した事業を企画し、感染症対策を講じながら可能な限り実施されている。</p> <p>地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こんぴら橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こんぴら会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:333日 営業時間:9:00~22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00~17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:40,024~103,413円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,902件(123.3%) 利用者数:19,744名(127.9%) 平均施設使用率:53.9%(125.6%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(950名)利用者懇談会(19名)、広報発行3回(各400部)、賀詞交歓会(67名)、会館創立40周年事業(73名)、地域懇談会(45名)、その他定例となっている事業を実施することができた。4年ぶりに会館まつり、会館40周年記念式典、祝賀会も盛況の中開催され、地域住民のコミュニティ施設としての大きな役割を果たした。	A	事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,129,562円、支出:4,129,562円 * 指定管理料3,974,280円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者アンケートを実施し、会館広報におい て結果が公表されて いる。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われてい る。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	日常点検マニュアルに基づき会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	数件苦情はあったが、都度適切な対応を行っている。	A	苦情に対して適切に対応されている。 管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>4年ぶりに会館まつりを開催することができ、多くの地域の皆様にご来場いただき盛況に終える事ができた。また会館創立40周年の記念事業として記念誌の発行、記念式典、祝賀会に多くの来賓地域の皆様と共に開催することができました。その他、「認知症予防講座」講演会の開催、「防災・避難訓練」、「新年賀詞交歓会」などの事業を再開し、利用者からも地域のふれあいが戻ってきたと喜ばれた。また「地域懇談会」「利用者懇談会」も行い、地元の市議会議員や利用者との意見交換に積極的に取り組んだ。今後もより良い会館づくりに努めていきたい。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>こんぴら橋会館は、地域の住民にとって生涯学習及び地域コミュニティの拠点として、開館以来、利用者の方々や地域の各種団体と一体となりながら、砂川地域の文化を盛り上げてきた。運営側においても、管理人同士で積極的なコミュニケーションをとっているため、円滑に運営を行っている。会館広報では、会館の情報を見やすく掲載する工夫がみられ、地域の情報発信源としても、会館と地域の住民や各種団体を繋ぐ役割を果たしている。</p> <p>例年、地域の住民団体を指定管理者とすることの利点を活かし地域事業を行っている。令和5年度は4年ぶりに会館まつりを開催し、大勢の来館者で賑わいをみせることができ、40周年記念事業式典も盛大に執り行うことができた。例年行っている、「防災・避難訓練」「地域懇談会」など運営委員会や準備委員会が感染症対策を講じながら、開催することができている。</p> <p>施設管理の面では、管理運営委員を中心に、地域のボランティアの力を借りて施設内の整備・清掃を行っているほか、指定管理料の修繕料を活用した軽微な修繕等も積極的に実施し、管理運営委員と利用者団体が協力して施設の維持保全が保たれている。</p> <p>以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。</p>		A	<p>昨年度に比べて利用者数は増加した。</p> <p>恒例の会館まつりも、4年ぶりに開催し、多くの事業を実施されている。</p> <p>地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市高松会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:323日 営業時間:9:00~22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00~17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:10,000~65,842円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,088件(112.5%) 利用者数:13,416名(135.9%) 平均施設使用率:36.1%(111.4%) 利用件数、利用者数に前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は大幅に増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり、高松町ふれあい健康フェア、利用者懇談会(45名)、広報発行3回(各800部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりは4年ぶりと開催となり、盛況であった。また健康フェアなど地域住民に寄り添うイベントも開催しコミュニティ施設としての役割を果たしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:3,857,964円、支出:3,857,964円 * 指定管理料3,798,225円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	-		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会の代わり にアンケートを実施 し、会館広報において 結果が公表されてい る。 事業計画書・報告書 は総会で利用者団体 代表等に公表されて いる。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	特になし。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者の転倒事案に対して適切な対応を行っている。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>会館まつりを規模を縮小して4年ぶりに開催することができ、多くの地域の皆様にご来場いただき盛況に終える事ができた。広報誌「つどい」では、令和6年1月号第144号を高松会館創立40周年記念号とし、会館誕生の経過および主な事業の紹介により地域の情報発信源としての会館の役割をアピールした。管理運営は、新型コロナウイルス感染症が5類に緩和されたことを受け、マスク着用は個人の判断に委ね、利用人数制限と飲食禁止を撤廃した。今後もより良い会館づくりに努めていきたい。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<p>高松会館は、地域コミュニティの拠点施設として、地域に密着した会館運営や企画づくりを心がけている。そのため地域の諸団体とは様々な面で協力しており、地域の各種団体が実施する行事に積極的に協力・協賛している。定期的に開催している管理運営委員会では、各団体間の情報交換の場としての役割も兼ねており、会館が地域の諸団体と連携し、一体となりながら、高松町の地域活動を盛り上げている。施設の2階は高松児童館となっており、積極的に児童館と連携されている。令和5年度は4年ぶりに会館まつりを開催することができ、演芸大会やカラオケ大会を行い、地域交流を進められた。</p> <p>会館広報を年3回発行し、会館の情報のみならず、前述した児童館の情報及び地域で開催される様々な行事を紹介するなど、地域の情報発信源として、会館が各種団体を繋ぐ役割を果たしている。管理運営委員会においては、常任委員の高齢化が進み後継者探しに苦慮している。</p> <p>以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。</p>	A	<p>昨年度に比べて利用者数は増加した。</p> <p>恒例の会館まつりも、4年ぶりに開催し、多くの事業を実施されている。</p> <p>地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。</p>	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市若葉会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:329日 営業時間:9:00~22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00~17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:39,750~77,535円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,390件(103.6%) 利用者数:14,831名(108.5%) 平均施設使用率:37.2%(105.4%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(350名)、各講座、広報発行3回(各5,000部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりは工夫を講じながら開催された。また会館独自の講座を実施し、地域交流を促進されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:3,958,622円、支出:3,958,622円 * 指定管理料3,957,210円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会の代わ りにアンケートを実施 し、会館広報において 結果が公表されてい る。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	ピアノ、ガス警報器等について、適切に実施された。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和5年度は、運営委員19名、管理人5名体制でスタートし、祭り担当・講座担当・広報担当・事務局・会計とそれぞれ分担し運営にあたった。4年ぶりに会館まつりを開催することができ、多くの地域の皆様にご来場いただき盛況に終える事ができた。広報紙「若葉会館だより」の第1号は、社会教育5団体との合同広報紙として発行した。第3号広報紙では改めて「若葉会館ってこんなところ」という記事を掲載し利用案内を詳しく周知した。また、利用者アンケートで各団体の紹介を載せてほしいとの要望があったため、現在活動している趣味のサークル等の紹介記事を掲載し、その中で希望するサークル活動内容の紹介や問合せ先の掲載をした。今後も「皆様の会館」との想いを新たに努力して参りたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
若葉会館は若葉町のコミュニティの拠点として、会館広報の発行、講座の開催、会館まつりの会館三大事業に取り組んでいる。年3回の広報発行のうち、7月に発行する各種団体との合同広報では、会館のみならず自治会、文化会、体育会、青少健、子ども会など、地域の各団体の情報を掲載し、新たな会館利用者の掘り起こしにもつながっている。令和5年度は、4年ぶりに会館まつりを開催することができ、立川第九中学校の吹奏楽部による演奏会・模擬店・子ども対象工作教室など、久しぶりの開催に大いに盛り上がっていた。また、会館独自で年3回若葉会館講座を開催し、地域の方々との交流を深める取組みが行われている。以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	<p>昨年度に比べて利用者数は増加した。</p> <p>恒例の会館まつりも、4年ぶりに開催し、多くの事業を実施されている。</p> <p>地域住民の手で仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こぶし会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こぶし会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:335日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時6名 月給:52,522～116,495円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:2,660件(111.5%) 利用者数:36,265名(123.7%) 平均施設使用率:44.6%(120.5%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(400名)、教養講座(135名)、広報発行2回(各4,000部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりは工夫を講じながら開催されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,485,490円、支出:4,485,490円 * 指定管理料4,485,490円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的で開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	コンセント・大鏡キャスター等について、適切に実施された。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、徐々に通常運営に戻りつつ事業を実施することができた。3年以上自粛した活動を経て、会館利用団体の変化などもあり、会館祭りは縮小での開催となったが、久しぶりの賑わいを地域の皆様へ見せることができた。また、「教養講座」の落語会や短編映画会も好評であった。事業全体として前年度まで準備しながら実施できなかったものがあり、それらを利用し予算の削減となった。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>こぶし会館は、幸町と柏町の二町にまたがる会館であり、それぞれの地域の各種団体から選出された委員により運営されており、この二町の地域活動に様々な形で関わっている。加えて、学習等供用施設11館の中で施設規模が最も大きく、立川駅からモノレールもしくはバスでのアクセスが可能で交通の便が良いことから、市外を含む他地域からの利用や、行政事業のための利用も多い。令和5年度中でも、サークル入会・立ち上げの問合せが多かったことから積極的に利用されていることが伺える。</p> <p>二町にまたがるという規模の大きさを生かして、令和5年度は4年ぶりに「こぶし会館ふれあいまつり」「教養講座」を開催し、生涯学習の拠点としての役割、地域住民の交流への貢献を果たしている。管理運営において、利用件数が多い中、管理運営委員会・管理人間でも積極的にコミュニケーションを取っており、会館運営においても臨機応変に対応できている。</p> <p>以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。</p>		A	<p>前年度に比べて利用件数・利用者数ともに増加し、学習等供用施設全体からみても、高い水準が維持されている。</p> <p>恒例の会館まつりも、4年ぶりに開催し、多くの事業を実施されている。</p> <p>地域住民の手で仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣中央会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市羽衣中央会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:335日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時6名 月給:90,000～110,000円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,351件(101.0%) 利用者数:19,725名(106.4%) 平均施設使用率:36.4%(110.9%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(多数)、防犯講習会(25名)、教育講演会(30名)、健康フェア(多数)、広報発行3回(各2,500部) 定例となっている上記事業を実施されている。会館まつりをはじめ賀詞交換会、講演会も盛況に開催され、地域コミュニティ施設としての役割を果たしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,747,136円、支出:4,747,136円 * 指定管理料4,205,360円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし	-		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、日常生活が活気を取り戻し、会館利用者の増加や、各種団体との共催事業が盛大に実施できた。特に会館まつりでは、羽衣商店街と羽衣児童館のハロウィン事業の参加を得て、地域の子供たちと交流ができ、演芸の部では第六小学校の児童を中心としたソーラン踊りが披露された。管理運営委員会は、これからも羽衣町の各種団体の活動の拠点として、また、市民の多種多様なコミュニティ活動の場として、安心して利用できるよう努めたい。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>羽衣中央会館は、羽衣町のコミュニティ活動の拠点として、地域内の各種団体と連携しながら、地域に密着した管理運営を行っている。</p> <p>例年は、地域内の各種団体との共催事業も含め、様々な事業を通じてより多くの地域住民に会館を知ってもらい、また、参加してもらえるように創意工夫して取り組んでいる。前年度に引き続き、「会館まつり・文化祭」、「講演会」、「健康フェア」を開催することができ、地域コミュニティの拠点としての役割を担った。</p> <p>管理運営の面については、地域のあらゆる活動の拠点である会館を少しでも快適に利用してもらえよう、常に利用者の声に耳を傾けながら、管理運営がなされている。</p> <p>以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。</p>		A	<p>前年度に比べて利用件数・利用者数ともに増加し、学習等供用施設全体からみても、高い水準が維持されている。</p> <p>地域住民の手で仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市天王橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市天王橋会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:317日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:26,744～99,595円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,012件(108.9%) 利用者数:15,385名(116.5%) 平均施設使用率:33.6%(110.2%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(500名)、カラオケ団体自主交流会(150名)、一番町みんなのコンサート(200名)、わいわい教室(70名)広報発行2回(各4,000部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつり、みんなのコンサート、わいわい教室など前年度から規模を拡大し行うなど、地域住民から好評であった。地域住民のコミュニティ施設としての役割を担っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:3,248,415円、支出:3,248,415円 * 指定管理料3,248,415円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等 に基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的で開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	コンセント・大鏡キャスター等について、適切に実施された。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>令和5年度は、会館まつり、一番町みんなのコンサート、わいわい教室等を開催することができ、大盛況であった。特に、一番町みんなのコンサートは、外部の演奏家達を招いて実施してきたが、候補を見つけることが難しい中で、令和5年度は(第31回)は近くの会館で練習していた団体に声をかけた結果、「今まで馴染みが無かった音楽・楽器で楽しかった」と大好評を得た。広報誌みのりでは、創刊以来手作りモノクロ版を令和5年第82号よりカラー化した。管外研修では地域の慣習に焦点を当て、32年前の「雨乞いの記録」を手がかりに武蔵御岳神社に参拝、宮司の講話に長い歴史の一端に触れた旅になった。利用者団体も運営委員も高齢化が進んでおり、地域住民との連携や共同作業のために、より広い人材を求める必要があると感じている。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>天王橋会館は、一番町地域のコミュニティ拠点として、多くの地域住民に親しまれている。管理運営委員会の活動にも地域の住民が自主的に参加・協力している。特に施設管理の面においては、限られた修繕料の中で、個人の特技を活かして軽微な修繕や植木の管理などをボランティアで行っており、会館はこうした善意により支えられている。</p> <p>例年、世代を超えて多くの来館者で賑わう「会館まつり」をはじめ、「一番町みんなのコンサート」「わいわい教室」等の特色ある自主事業を多く実施されており、会館が様々な場面で地域の住民が集う場となっている。コロナ禍が明け、上記事業もイベント拡大を積極的に企画されていて、地域コミュニティの拠点としての役割を担っている。</p> <p>以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。</p>		A	<p>昨年度に比べて利用者数は増加した。</p> <p>地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市柴崎会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:333日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給:4,846～141,021円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:2,281件(101.3%) 利用者数:24,869名(101.3%) 平均施設使用率:54.8%(103.0%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A		
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(700名)、健康講座(35名)、柴崎ふれあいまつり(150名)、広報発行2回(各2,500部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりを開催するとともに、柴崎ふれあいまつりも地域住民から盛況であった。地域のコミュニティ施設としての役割を果たしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,336,205円、支出:4,336,205円 * 指定管理料4,336,205円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報にて結果が公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	テーブルや洗面台について、適切に実施された。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和5年度は、1年を通して各事業が滞りなく執行できた。徐々に通常に戻りつつ事業を実施することができた。前年度規模を縮小して開催した「柴崎会館まつり」、「柴崎ふれあいまつり」は、5年度は例年通りの規模で開催し、多くの方々から喜んでいただけた。またその他各行事も復活させることができ、地域のコミュニティセンターとしての役割を果たすことができた。これからも地域の方が安心して活動できる、愛される会館として事業を行っていく。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
柴崎会館の管理運営委員会には、柴崎町内すべての自治会の代表が参加しており、地域住民の活動の場として、会館は地域になくてはならない施設として認知されている。したがって、地域内の様々な情報は会館に集約され、会館を軸に地域の情報発信・伝達が行われている。 このように地域団体の強い結束に支えられた柴崎会館は、例年、コミュニティ事業の実施においても、管理運営委員会を中心に各団体の協力のもと会館まつり等事業を行っている。令和5年度はコロナ禍が解消し、「柴崎会館まつり」、「柴崎ふれあいまつり」を前年度から規模を拡大・工夫し開催したことで、大盛況となった。管理運営面においては、利用者懇談会での意見・要望を、令和5年度中に会館だよりに意見・要望の声を掲載するなど、利用者の声を積極的に聴き取る姿勢が伺える。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	昨年度に比べて利用者数は増加した。 地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市さかえ会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市さかえ会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:63,953～101,282円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,812件(102.2%) 利用者数:21,790名(104.3%) 平均施設使用率:52.6%(100.4%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A		
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(564名)、利用者懇談会(41名)、コミュニティイベント(15名)、栄町音楽祭(150名)、賀詞交換会(41名)、栄町寄席(71名)、広報発行2回(各4,000部) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつり、コミュニティイベント、寄席など盛況の中開催することができ、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,218,977円、支出:4,218,977円 * 指定管理料4,206,810円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会の代わ りにアンケートを実施 し、会館広報において 結果が公表されてい る。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	ベンチ等について、適切に実施された。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハッとした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和5年度は、コロナ禍前の事業を再開したのもあり通常の状態となった。引き続き換気等に注意して事業を開催している。会館まつりでは、地域の子育て世代の家族連れも楽しめるよう子ども向けの企画を入れ、子ども達の参加を促す取り組みを行った。また、利用者の高齢化によって利用団体の減少がある一方で新たに利用を始める若い世代の団体も増えてきているため、若い世代にさかえ会館を知ってもらえるようなイベント企画、広報紙の充実を図っていききたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
さかえ会館は、栄町のほぼ中心に位置し、また近隣に学習館等のサークル活動ができる施設がないこともあり、栄町における各種活動の拠点として、多くの地域住民に利用されている。運営委員においても、地域内の各種団体や小中学校PTAからの派遣や地域活動経験者で選出されており、各地域団体と協力しながら、地域を盛り上げている。 地域住民の交流や生涯学習の場としての役割を果たすため、安全対策に十分配慮し、「さかえ会館まつり」「コミュニティイベント」「栄町寄席」等を実施した。「さかえ会館まつり」については、前年度から規模を拡大し、コロナ禍前の規模にて開催し、子供から大人まで楽しめる模擬店やイベントを行い、管理運営委員会で工夫を凝らしたことにより大盛況となった。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。	A	昨年度に比べて利用者数は増加した。 地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市西砂会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給:31,500～97,228円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:608件(103.8%) 利用者数:10,220名(110.1%) 平均施設使用率:30.2%(115.3%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 一部中止したイベントもあったが、地域に密着した事業が行われた。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(300名)、利用者懇談会(25名)、うどん作り研修会(20名)、繭玉飾り(12名)、親子うどん作り大会(40名)、栄町寄席(71名)、広報発行2回(各1,800部) 「お茶づくり教室」、「流しソーメン大会」は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止としたが、定例となっている上記事業は開催することができた。「会館まつり」、「親子うどん作り大会」、「繭玉飾り」など会館独自のイベントも盛況であり、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:3,563,951円、支出:3,563,951円 * 指定管理料3,273,800円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は総会で利用者団体 代表等に公表されて いる。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	水栓やクロス張替等について、適切に実施された。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	手摺の設置要望は以前から出ているため、指定管理者とも調整し、対応していく。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>前年度に引き続き、「お茶作り教室」「流しソーメン大会」は新型コロナウイルス感染症防止のため、参加者及び関係者の健康と安全確保のため中止としたが、「会館まつり」「親子うどん作り大会」「繭玉飾り」等の事業は感染対策を講じ、開催することができた。会館まつりは、雨天での実施となったが、子供の来館数増大を図るため、綿あめや射的、木工教室などを取り入れ、次回に向けて手応えがあった。また「繭玉飾り」は、西砂川地域の伝統祭事であり、正面ロビーに展示することで多くの利用者から関心をえることができた。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>西砂会館は、立地条件から他地域の利用者は少ない反面、地元利用団体の作品等が常設的に展示されているなど、西砂地域に密着した会館として親しまれている。管理運営委員会も西砂の地域色を活かし、広報誌への歴史コラムの掲載や会館事業としての伝統文化体験事業の開催などを通じて、地域の各種団体とも協力しながら西砂地域の文化の継承に重点的に取り組んでいる。</p> <p>とりわけ伝統文化体験事業については、他館には見られない西砂の特色と言え、そうめん流し、まゆ玉飾り、手打ちうどん作り等をそれぞれ開催している。令和5年度は、一部の行事は中止となったが、会館まつりの開催や親子手打ちうどん作り大会を行われている。多くの事業で子供を対象としたイベントを設けており、若い世代に会館を知ってもらうことに尽力している。また、他会館と会館運営について意見交換を行うなど、外からの意見も積極的に取り入れている。</p> <p>以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。</p>		A	<p>昨年度に比べて利用者数は増加した。</p> <p>伝統文化体験事業を実施するなど地域コミュニティの核としての取り組みが行われている。</p> <p>十分な感染症対策を講じながら地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市上砂会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的で開催されている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的を開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:335日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給:49,510～116,495円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:2,288件(106.1%) 利用者数:26,975名(115.1%) 平均施設使用率:40.7%(106.3%) 各実績ともに前年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 事業計画書に基づき、様々なイベントを企画・実施されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 会館まつり(400名)、大掃除・自衛消防訓練(40名)、クリスマス工作教室(24名)、講演会(52名)、上砂会館新年交流会(23名)、広報発行3回(各6,000部) 定例となっている上記事業を実施することができ、4年ぶりに会館まつりを開催することができた。また会館独自の自主事業も盛況に開催され、地域コミュニティの拠点としての役割を担っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,367,460円、支出:4,367,460円 * 指定管理料4,367,460円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 事業計画書・報告書 は総会で利用者団体 代表等に公表されて いる。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的で開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	規模にかかわらず修繕が必要な場合は、運営委員会より随時連絡を受け、対応することができた。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	手摺の設置要望は以前から出ているため、指定管理者とも調整し、対応していく。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が進められている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、4年ぶりに会館まつりを開催することができ、地域の方々と久しぶりの開催に大いに盛り上げることができた。また自主事業ではクリスマス工作教室を開催し、子供たちからワクワクした声が聞こえ、楽しい企画を開催することができた。また講演会では自然に関する講演を講師を招いて行い、多くの方々から興味を集め、質疑応答が多く出るなど、大いに盛り上がった。会館及び管理運営委員会の運営はスムーズに企画実行できたが、他団体への事業参加や交流は減少傾向にある。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<p>上砂会館はその特徴として、学習等供用施設で唯一の音楽室(防音設備完備)や広いホール(集会室)を備えていることもあり、近隣地域以外からの利用や有料団体による利用も比較的多く、また、図書館(2階)・児童館(1階)・学童保育所(1階)・地域福祉サービスセンター(1階)・一般住居(3階以上)との複合施設であり、会館の出入口を図書館と共有していることから、会館利用者以外の来館者が会館窓口を訪れることも多い。</p> <p>また、地域にある団地住民を中心に地域活動への関心が強く、会館まつりをはじめ各種事業についても地域住民の誰もが参加しやすいよう企画されており、世代を超えた地域住民の交流及び生涯学習の拠点としての役割をはたしている。令和5年度は4年ぶりに会館まつりを開催することができ、模擬店や子供向けイベント、サークルの展示や国立音楽大学の演奏会など地域の方々から久しぶりの開催に高評価を得た。</p> <p>会館だよりにおいては、年3回発行しており、各回ともに学校・自治会・保育園など地域の多くの団体の情報や管理人の声、地域の新しい情報なども多数盛り込まれており、読み応えがあるものとなっている。</p> <p>以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。</p>	A	<p>昨年度に比べて利用者数は増加した。</p> <p>恒例の会館まつりも、4年ぶりに開催し、多くの事業を実施されている。</p> <p>地域住民の手で仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:325日 開館時間:10:00~19:00(平日) 10:00~17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員7名(内有資格者6名・85.7%) 非常勤賃金:時給1,120円以上(有資格者1,150円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】38,316人(99.3%) 【貸出冊数】102,473冊(99.0%) 【レファレンス数】270件(94.4%) 新型コロナウイルス感染症の5類移行による影響がある中で、利用促進のため、館内の展示や、書架の見やすさの改善等の、図書館サービスの実施に取り組んでいる。	A	新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容の影響は受けつつも、利用者数・貸出冊数・レファレンス数のいずれも昨年度と同程度の実績を維持している。 ニーズに合わせた展示や小学校を利用する企画事業を行い、図書館利用の促進に努めている。	
運営企画	学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動を推進されている。 提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用を促進できている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:29,536,830円 支出:29,394,331円 * 指定管理料29,532,000円 事業収支:142,499円 人件費比率:74.5% 計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	指定管理5館全体で計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	特になし。	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合91.2%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的実施しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上が図られている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとれている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守は対象外である。 その他は事業計画により適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持を適切に実施されている。	A		
小規模修繕	特になし。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に係る研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	こぶし会館や読み聞かせボランティアとの情報共有などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。また、リサイクル図書の提供を通して地域へ貢献されている。	A	近隣施設や自治会を中心に、業務上必要な連携体制が構築されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策が緩和され、カウンターのパーテーション等も撤去されたが、最低限の感染対策を怠ることなく備えることで、利用者と職員の安全を確保した。また、夏季には記録的な猛暑が続く中、館内空調の不調のため、熱中症等利用者の体調も危惧されたが、経口補水液を常備したり、応急処置の手順を確認する等対策した。高齢利用者の多い館のため、常に利用者の安全を第一に心がけた。年間を通して、社内・社外問わず、全職員が研修を受講した。また、12月の臨時休館期間にも、全職員にそれぞれ必要と判断した各種研修を選択し受講させた。全職員の意識向上とスキルアップを達成することができた。個人情報の取扱いに関しても、弊社の内部監査の実施や研修などを通じて、全職員に注意喚起を促し、適正な管理を行った。利用者対応については、日々の朝礼などで情報共有を行い、適正に対応した。小規模館で蔵書数にも限りがあることから、選書も慎重に行った。普段の利用者対応中の情報収集と、利用者満足度調査の調査結果等も参考にして、利用者ニーズに的確に応えるだけでなく、新たな知的関心を惹起するような選書を心がけた。令和6年度は、電子図書館のさらなる普及も含め、新しいサービスにも対応しつつ、引き続き市民・利用者の利用促進に努める。</p>				
施設担当課評価				
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価 評価理由等	2次評価
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症が5類移行となる中、各種おはなし会開催・季節や、時の話題に合わせた特集展示等を行い、来館や貸出・リクエストを前年度比実績に近い数値で維持できた。</p> <p>・「図書館ではじめる大人の塗り絵」の開催のほか、地域包括支援センターと連携して、パネルやパンフレット配布・展示なども行い、地域の図書館として学習の場の提供等ができた。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで、様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備等により適正に管理運営がされている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容の影響は受けつつも、利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも昨年度と同程度の実績を維持している。</p> <p>事業計画に基づき様々な企画や展示を適正に実施し、来館と資料貸出に繋げ、図書活動の推進に取り組まれている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価につながった。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスを提供されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A		
事業の継続性の担保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスを提供されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:268日 開館時間:10:00~19:00(平日) 10:00~17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員9名(内有資格者8名・88.9%) 非常勤賃金:時給1,120円以上(有資格者1,150円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】36,681人(80.7%) 【貸出冊数】112,130冊(78.0%) 【レファレンス数】207件(70.4%) 新型コロナウイルスが5類移行となる中、館内の展示や、利用者向け講座の開催など、図書館サービスの実施に取り組んだが、9月から11月の中規模改修工事に伴う臨時休館・12月における図書館システムの更新における臨時休館の影響で、対前年度比の利用者数・貸出冊数・レファレンス数は減少となった。	A	中規模改修工事に伴う臨時休館等から、利用者数・貸出冊数・レファレンス数のいずれも昨年度と比較して減少している。 ニーズに合わせた展示やオンラインでの参加も可能な講座の開催、俳句ポストの設置等を行い、図書館利用を促進されている。	
運営企画	学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動を推進されている。 提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用を促進されている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:34,676,980円 支出:35,581,291円 事業収支:▲904,311円 人件費比率:75.3% 人件費の増加で収支がマイナスとなったがTRC5館合計では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。なお、中規模改修工事期間の臨時休館日が要因で利用者が減少したため、一人当たりの管理コストが上昇しています。	A	事業収支がマイナスとなっているが、指定管理5館全体では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	特になし。	—		
新たな取り組みの状況	企画について、マンネリ化しないよう新たな視点での取り組みを行っている。立川市の魅力を地元の農業事情と合わせ情報発信することができている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足割合89.4%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的実施しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務を実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとれている。	A		
利用者アンケート等の実施	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとれている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信ができています。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスの提供がされている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持を適切に実施されている。	A		
小規模修繕	カーテン購入 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行われている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書を整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	学習館の行事参加、読み聞かせボランティアとの意見交換などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。リサイクル図書の提供を通して地域への貢献されている。	A	近隣施設や自治会を中心に、業務上必要な連携体制が構築されており、地域に密着した図書館運営ができています。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>令和5年度も新型コロナウイルス感染症防止への取り組みを継続してスタートした。新型コロナウイルス感染症5類移行後も、利用者の心情に配慮して一定の感染防止対策は継続することになった。おはなし会についても参加者の動向を分析し、開催環境調整が必要と判断した為、開催回数を削減せざるを得ない状況であった。一定の感染防止に配慮しながら、図書館サービスの維持、回復に努めたが、西砂図書館を含む西砂学習館の中規模改修による2か月間の臨時休館による影響が大きかった。</p> <p>西砂学習館まつりへの参加、リサイクル本の提供を通して地域との交流を継続するとともに、令和6年3月に気象庁東京管区气象台より気象防災部観測予報課観測データ品質管理官の方を講師に迎えて防災情報など暮らしに役立つ気象に関する講座を開催できた。令和6年2月には地元立川市で「カラフル野菜の小山農園」を運営されている小山氏を講師に迎えて子どもたちの調べ学習支援の講座を開催でき、講座、イベントへの利用者の期待に応えることができた。</p> <p>令和6年度も丁寧な接客をベースに、おはなし会の定例開催をはじめ、積極的な展示の提供、児童、一般ともに利用者のニーズをつかんだ講座・イベントの開催に取り組み、地域に貢献する地区館としての負託に応えていく。</p>				
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症が5類移行となる中、学校連携による学級文庫の貸出など、地域と連携した図書館サービスに取り組んだが、中規模改修工事に伴う臨時休館・12月における図書館システムの更新における臨時休館の影響で、対前年度比の利用者数・貸出冊数・レファレンス数は減少となった。</p> <p>・提案事業では、気象庁東京管区气象台の職員による講座を開催したほか、地元立川市で「カラフル野菜の小山農園」を運営されている小山氏を講師に迎えて子どもたちの調べ学習支援の講座も開催されている。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質の向上がされている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容の影響、中規模改修工事に伴う臨時休館等から、利用者数・貸出冊数・レファレンス数のいずれも昨年度と比較して減少している。</p> <p>多様な連携事業により、図書館サービスの向上の取り組みが行われている。</p> <p>接遇やサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでは高い評価を得ている。</p> <p>地域との連携・交流に力を入れており、事業が実施されている。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営を適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:325日 開館時間:10:00~19:00(平日) 10:00~17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員7名(内有資格者5名・71.4%) 非常勤賃金:時給1,120円以上(有資格者1,150円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】32,247人(100.4%) 【貸出冊数】101,894冊(99.0%) 【レファレンス数】233件(91.4%) 新型コロナウイルス感染症が5類移行となる中、館内の展示や、きめ細やかなサービスに配慮するなど、図書館サービスの実施に取り組んだことで、前年度の実績に近い数値を維持することができた。	A	新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容の影響がある中、館内の展示や、きめ細やかなサービスに配慮するなど、図書館サービスの実施に取り組んだことで、前年度の実績に近い数値を維持することができている。	A
運営企画	学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動を推進されている。 提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用を促進されている。	A	ニーズに合わせた展示やさまざまな講座等を行い、図書館利用を促進されている。 事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:30,568,960円 支出:31,219,060円 事業収支:▲650,100円 人件費比率:74.9% TRC5館合計では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支がマイナスとなっているが、指定管理5館全体では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	特になし。	—		
新たな取り組みの状況	企画について、展示コーナーの拡充・金融に関する講座の実施・中学生が作成した成果物を活用した連携展示等で、新たな視点での取り組みが行われている。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合90.1%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度が向上されている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的実施しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務を実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信ができています。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスの提供ができています。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持を適切に実施されている。	A		
小規模修繕	破損鍵スペアキー作成、不足ロッカー設置 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行われている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書を整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みを行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	利用者懇談会、小学校新一年生への図書館利用案内、教師向出張説明会、高松学習館との共催展示、地域包括支援センターとの連携展示などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。リサイクル図書の提供を通して地域への貢献されている。	A	近隣施設と連携し、事業を実施されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>令和5年度になり新型コロナウイルス感染症は5類感染症へと移行し、図書館への影響について勘案していたが、臨時休館があったとはいえ、高松図書館の実績を数字で見ると前年並みに落ち着いた。</p> <p>4月に健康会館3Fの冷暖房設備に不具合が発生したことによる影響として、5月に度々観測された夏日に館内の室温が30度に達するなど、対応に追われることが続いた。6月に修繕が完了するまでに、中央図書館にもご協力いただきサーキュレーターを計6台調達(中央より4台)して対応し、利用者への影響を及ぼさないように努めた。</p> <p>令和6年度の取り組みとして、6月より順次、一般書・児童書の棚で本を展示できるスペースを拡充することを実施した。テーマ展示の展開や本の表紙を見せて配置するなど、資料を紹介することで貸出促進を図ることが目的だったが、当初想定していたよりも資料が利用される状況を生むことができた。</p> <p>NISA制度が新しくなったことを受け、子どもとその保護者向けとして7月に、一般向けとして2月に初心者向けの金融講座を開催したところ、いずれも利用者の関心の高さがうかがえ、ご好評いただいた。</p> <p>学校との連携として、11月に立川第二中学校より委員会に所属する生徒が作成したPOPを借用した展示、令和6年2月に南砂小学校の生徒が作成した感想画を借用した展示を実施することができた。また、例年取り組んでいる高松学習館・包括支援センターとの連携展示も、それぞれ9月に実施することができた。</p> <p>地域に貢献する図書館として、今後も高松学習館や児童館、地域包括センターなど地域の関連施設・団体との連携に努め、図書館サービスを向上させていきたい。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症5類移行の中、12月に臨時休館があったが、ほぼ前年度通りの実績となった。資料展示の充実や工夫等を行うことで、利用促進に取り組まれている。</p> <p>・「初心者向け！投資のすすめ～賢くお金を育てよう！」(一般)「親子で学ぶ、おみせやさんごっこ」(児童)など各種イベント実施のほか、学習館・包括支援センターなど関連機関との連携に取り組むことで、利用者が持つ図書館サービスへの期待に応じることができ、利用促進につながっている。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に取り組まれている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容の影響がある中、館内の展示や、きめ細やかなサービスに配慮するなど、図書館サービスの実施に取り組んだことで、前年度の実績に近い数値を維持することができている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでは高い評価を得ている。</p> <p>地域との連携・交流が適正にとられている。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:325日 開館時間:10:00~19:00(平日) 10:00~17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員9名(内有資格者8名・88.9%) 非常勤賃金:時給1,120円以上(有資格者1,150円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。 施設の改修工事、電気設備工事により、休館日が5日あったが、業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】55,073人(106.6%) 【貸出冊数】162,152冊(105.5%) 【レファレンス数】204件(137.8%) 令和4年度は改修工事では仮設窓口での予約受取のみの運営だったが、5年度はその分の落ち込みを回復し、年明け以降も順調に利用者数を伸ばすことができた。	A	新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容や工事に伴う窓口縮小・休館等の影響はあったが、利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも昨年度の実績を上回っている。	
運営企画	学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動を推進されている。 提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用を促進できている。	A	学校との連携による子どもの読書活動の推進、様々なテーマ展示や館内イベントの企画による図書館利用の向上が行われている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:39,076,030円 支出:38,592,899円 事業収支:483,131円 人件費比率:72.9% 計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	指定管理5館全体で計画通りの事業収支であり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	施設維持管理に必要な業務を専門業者に委託して実施している。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合94.9%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に取り組まれている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的実施しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上が図られている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守(一部を除く)は対象外である。 業務仕様書に従い、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	故障した機器を速やかに使用停止にし、修理計画を立て、施設管理者にて修繕を行っている。	A		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持を適切に実施されている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」に基づき、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みを行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童・生徒のPOP展示、地域包括支援センターとの連携展示、読み聞かせボランティアとの意見交換などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。リサイクル図書の提供を通して地域へ貢献されている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んでいる。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後の6月から利用者の増加に転じ、最終的に前年比で106.6%の利用者増を達成することができた。おはなし会や工作会、講演会の参加も増えてきており、今後の動向を見極めつつ、利用者の増える取組を進めていきたい。</p> <p>また、今年度は小学校、中学校にも声をかけ、沢山の本の紹介ポップや俳句作品を借りて連携展示を実施することができた。展示された児童・生徒やその家族が利用するきっかけにもなるので続けていきたい。</p> <p>利用者満足度調査において、接遇の項目で満足度94.5%という高い評価を得ることができた。引き続き接遇の研修にも力を入れ、評価を維持できるよう努めていきたい。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。 ・新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となる中、「宇宙について学ぼう!」「メッセージこいのぼり」など多彩なイベントで資料貸出の促進に取り組んでいる。また、継続事業である「図書館俳句ポスト」、「学校と連携したPOP展示」、「地域包括支援センターとの連携展示」等、地域との連携を強化した図書館サービスに取り組んでいる。 ・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に取り組んでいる。 ・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容や工事に伴う窓口縮小・休館等の影響はあったが、利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも昨年度の実績を上回っている。</p> <p>様々な企画や展示を提案に基づき適正に実施しており、図書活動の推進に取り組んでいる。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営を適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:323日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員10名(内有資格者9名・90%) 非常勤賃金:時給1,120円以上(有資格者1,150円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行われている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】60,319人(99.4%) 【貸出冊数】172,691冊(99.5%) 【レファレンス数】297件(104.6%) 新型コロナウイルス感染症が5類以降となる中、館内の展示や、書架の見やすさの改善など、図書館サービスの実施に取り組み、利用促進されている。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 利用促進に向けたさまざまな企画をされているため、前年度の実績に近い数値を維持することができる。	
運営企画	学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動を推進されている。 提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用を促進されている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:50,220,330円 支出:49,291,549円 事業収支:928,781円 人件費比率:64.5% おおむね計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支がマイナスとなっているが、指定管理5館全体では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安全管理業務・消防用設備保守点検業務・機械警備業務・清掃業務等 施設維持管理に必要な業務を専門業者に委託して実施されている。	A		
新たな取り組みの状況	カブトムシなどの生体展示と関連資料展示・イベントを同時に開催し、地域の子どもの調べ学習を推進した。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足割合90.7%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度が向上されている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的に行っており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務を実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信ができています。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスの提供ができています。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	専門業者による施設清掃により、施設維持が適正にされている。	A	業務仕様書に従い、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。	A		
保安・警備	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。また、館内巡回により館内の保安を維持されている。	A		
小規模修繕	日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行われている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書を整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	小学校新一年生への図書館利用案内、若葉会館、若葉児童館、近隣学童保育所等との連携などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組まれている。リサイクル図書の提供を通して地域への貢献があった。	A	様々な事業を通じて、地域住民や近隣施設との連携が進んでいる。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>館内整備と視認性の向上について、昨年度に引き続き、館内の整理と経年劣化した表示の変更に注力し、視認性と美観を向上させた。特に12月の臨時休館期間に、集中して行った。利用者対応の向上に向けては、日々の朝礼などで情報共有を行い、適切な対応を心掛けると共に、全職員が年間を通して研修を受講し、意識とスキルの向上を図った。特に、個人情報の取り扱いに関しては、内部監査や研修を通じた注意喚起と適正な管理を実施することに努めた。貸し出し促進の取り組みに関しては、書架でのミニ展示や季節のイベントに合わせた特集展示など、積極的な展示を行い、貸し出し促進に努めた。また、若葉台小学校生徒による「市民科授業」の成果物の展示や関連本の貸し出し、企画展示の実施や、児童館からカプトムシを借りて本と展示するとともに、ふれあいイベントを行うなど、昨年度に引き続き行うことに関しては、施策をアップデートし、図書館の活性化と貸し出し促進を図った。関連施設との連携に関しては、若葉まつりの実施における団地自治体や地域住民とのコミュニケーションを図り、地域との連携を強化した。今後も 地域住民のニーズに応えながら、居心地の良い図書館であるためのサービスを提供し続けていく。</p>				
施設担当課評価				
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価 評価理由等	2次評価
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。 ・新型コロナウイルス感染症が5類移行となる中、交換展示の継続や企画展示の工夫、読書ウィークにおけるポイントカード配布など、来館・資料貸出の促進に取り組まれている。 ・カプトムシなどの生体展示・資料展示とイベントを同時に開催し、調べ学習の場を提供でき、利用者の視野を広げることができている。参加者から好評で活気のあるイベントとなった。 ・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。 ・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 ・施設管理においては、専門業者への委託や不具合箇所速やかな報告、修繕が適正に実施されている。 <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容の影響がある中、利用促進に向けたさまざまな企画をされているため、前年度の実績に近い数値を維持することができている。</p> <p>安全管理上の課題はあったが、事後対応と再発防止策は適切に実施されている。</p> <p>地域施設への図書館情報の発信や利用者ニーズの把握に努め、利用者の拡大に向けて取り組みが行われている。</p> <p>地域のニーズに応えながら、事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社ヴィアックス	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営を適切に行われている。	A	研修等を通して、施設の設置目的を十分理解し、適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修を通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスを提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性を確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:325日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員9名(内有資格者7名・77.7%) 非常勤賃金:時給1,120円以上(有資格者1,150円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】35,311人(93.6%) 【貸出冊数】94,628冊(90.7%) 【レファレンス数】153件(101.3%) 令和5年度は利用者数・貸出冊数とも前年度を下回り、レファレンスのみ前年度をわずかに上回った。 新型コロナウイルスが5類移行となる中、利用環境・その他各種改善がされている。	A	新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容による影響から、利用者数・貸出冊数は前年度と比較し減少されている。 時節のテーマ展示や学校連携による学級文庫の貸出等、年間を通して、図書館利用の促進・学習機会の提供などが行われている。	
運営企画	おはなし会の実施や学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動を推進されている。 提案事業やテーマ展示、地域の学校や関連機関との連携展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用を促進されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:26,584,600円 支出:26,584,600円 事業収支:0円 人件費比率:71.83% ほぼ計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支は、概ね収支計画書のとおりであり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施されている。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合97%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度が向上されている。	A	充実した研修体制を構築しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務を実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信ができています。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスの提供ができています。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安を維持されている。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書を整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情等は特になかった。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	第一小学校での図書館利活用、中学校と連携したPOP展示、柴崎学習館との連携(「すわっ祭実行委員会」への参加)、しばさきのいえ子育て広場への出張お話し会、包括支援センター・愛恵会乳児院との連携展示などにより、円滑な事業実施に取り組まれている。 また、リサイクル図書の提供を通しての地域への貢献も続けられている。	A	近隣施設や自治会を中心に図書館の利用促進に向けた連携体制が構築されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>満足度調査では接遇に関して高評価をいただいた。その一方で、利用状況としては、利用者数・利用冊数ともに減少する結果となった。新たな利用者の確保と継続利用を促すため、館内環境の整備や魅力あるイベントの実施と周知活動に努め、利用状況の回復を図りたい。第一小学校との連携においては、年間を通して図書館資料を校内に展示する「ミニ柴崎図書館」や、2・3年生向け利用案内の作成と配布など、新たな取り組みを実施することができた。国立音楽大学学生によるファミリーコンサート、包括支援センターでの読み聞かせ、石田倉庫から講師を招いた版画体験などの各種イベントや、包括支援センター、地域福祉コーディネーター、愛恵会乳児院(児童相談所内)にご協力いただいた連携展示など、地域の各団体と連携した運営を行うことができた。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症が5類移行となる中、利用者数・利用冊数とも減少傾向があったものの、学校と連携したPOP展示、第一小学校による授業や青空学級での図書館の利活用、地域包括支援センターとの連携展示等を継続しながら、新たに、第一小学校と連携において、図書館資料を校内に展示する「ミニ柴崎図書館」や、2・3年生向け利用案内の作成と配布などの取り組みを行った。</p> <p>・提案事業では、音楽大学学生によるファミリーコンサート、包括支援センターでの読み聞かせ、石田倉庫から講師を招いた版画体験などの各種イベントや、包括支援センター、地域福祉コーディネーター、愛恵会乳児院(児童相談所内)協力の連携展示など、地域の各団体と連携して取り組まれている。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容による影響から、利用者数・貸出冊数は前年度と比較し減少されている。</p> <p>学校や近隣施設との連携した取り組みにより、地域に根差した図書館運営が行われている。</p> <p>充実した研修体制の結果、職員の接客対応等についての一定の評価を得ている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社ヴィアックス	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営を適切に行われている。	A	研修等を通して、施設の設置目的を十分理解し、適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスを提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性を確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:325日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員14名(内有資格者10名・71.4%) 非常勤賃金:時給1,120円以上(有資格者1,150円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 さまざまな運営企画を実施することで、利用者数・レファレンス数は前年度の実績を維持できている。 各関係団体と連携を図り、提案事項は着実に実施されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】59,759人(100.7%) 【貸出冊数】178,809冊(98.8%) 【レファレンス数】301件(92.6%) 新型コロナウイルスの5類移行に伴い座席数やイベント定員の制限がなくなったため、快適な読書環境の整備・おはなし会・イベントPR等、図書館サービスの実施に取り組むことができ、利用者数は、開館日数減にもかかわらず、前年度を上回ることができた。	A		
運営企画	学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動の推進を図っている。 令和5年度は、弁護士を招いて裁判に関するセミナーを実施する等、新たなジャンルの講座も開催。 提案事業やテーマ展示・地域の学校や関連機関との連携展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用を促進されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:48,044,930円 支出:48,044,930円 事業収支:0円 人件費比率:53.90% ほぼ計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支は、概ね収支計画書のとおりであり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施されている。	A		
新たな取り組みの状況	地域の農に関する情報を「農業情報マップ」にまとめ、展示と配布を実施した。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合89%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度が向上されている。	A	充実した研修体制を構築しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務を実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信ができています。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスの提供ができています。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	専門業者による施設清掃により、施設維持が適正にされている。	A	業務仕様書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。	A		
保安・警備	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。また、館内巡回により館内の保安が維持されている。	A		
小規模修繕	事務室の排水溝と排水管の交換・自動扉のストッパー修繕、トイレ鍵修繕・漏水部品交換、高所蛍光灯10か所の管球取替、エレベータ照明交換等 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行われている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書を整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	情報共有を進め、巡回・掲示・修繕等で適切に対応されている。	A	事故・苦情等に対して適切に対応されている。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	問題に対し、報告の遅れはあったものの、重大案件とならないよう情報共有を進め、掲示・巡回・修繕等で適切に対応されている。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	小中学校からのまちたんけん受け入れ、職場体験受け入れ、教員実務研修、中学校と連携したPOP展示の他、かみすな地域包括支援センター・みのれ立川・とんからりん機織りクラブ・市内弁護士事務所・たちかわ多文化共生センターなどとの連携展示・イベントなどにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組まれている。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制が構築されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>・新型コロナウイルスの5類移行に伴い、おはなし会・イベントや快適な読書環境整備に取り組んだ。イベントは「機織り講座」「法律講座」はじめ、多くの参加者があった。12月の臨時休館による開館日減の影響を受けたが、西砂図書館休館による利用者増もあり、結果としては、利用者数は、前年度を上回った。</p> <p>・従来から連携を行ってきた「みの一れ立川」「昭和記念公園」に加え、近隣の3商店にも声をかけて、農業情報マップを作成し、展示・配布を開始した。昨年度完成した地域の歴史を紹介する冊子『砂川めぐり』を市内図書館や小中学校、関連施設に寄贈した。『砂川めぐり』は、中央図書館によって、たちかわ電子図書館でも小中学校限定で公開されており、地域の学習に活用されている。</p> <p>・地域包括支援センター職員を講師とした実技を含む車椅子研修、事業本部社員を講師としたワークを含むレファレンス研修など、業務に活用できる研修を実施した。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・開館日数減となったものの、利用者数は増加とすることができた。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、おはなし会・イベントや快適な読書環境整備に取り組んだ。</p> <p>従来から連携を行ってきた「みの一れ立川」「昭和記念公園」に加え、近隣の3商店にも声をかけ、農業情報マップを作成し、展示・配布。イベントは「機織り講座」「法律講座」等を実施し、様々な取り組みを地域の方々に提供できている。</p> <p>・前年度作成した『砂川めぐり』は、市内図書館・小学校・関連施設に寄贈。中央図書館によって電子図書館でも小中学校限定で公開することができ、地域へ貢献する取り組みとして評価できる。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>・施設管理においては、専門業者への委託や不具合箇所の手続きの速やかな報告、修繕が適正に実施されている。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容の影響は受けつつも、さまざまな運営企画を実施することで、利用者数・レファレンス数は前年度の実績を維持できている。</p> <p>多様な連携事業により、図書館サービスの向上の取り組みが行われている。</p> <p>充実した研修体制の結果、職員の接客対応等についての一定の評価を得ている。</p>	A
<p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>			<p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和5年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市多摩川図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社ヴィアックス	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営を適切に行われている。	A	研修等を通して、施設の設置目的を十分理解し、適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスを提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性を確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:325日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員10名(内有資格者7名・70%) 非常勤賃金:時給1,120円以上(有資格者1,150円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	○内は対前年度比 【利用者数】24,515人(97.3%) 【貸出冊数】66,931冊(96.3%) 【レファレンス数】124件(84.4%) 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、年度後半より対前年度比を上回るようになった。屋外テラスイベントや展示など、図書館サービスの実施に取り組んだことで、利用者数、貸出冊数は大幅に減少することなく、前年度に近い数値を維持できている。	A	さまざまな図書館サービスの実施にとりくむことで、利用者数・貸出冊数は前年度に近い数値を維持できている。 ニーズに合わせた展示やさまざまな講座等を行い、図書館利用を促進されている。	
運営企画	提案事業やテーマ展示・地域の学校や関連機関との連携展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用を促進されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:33,010,320円 支出:33,010,320円 事業収支:0円 人件費比率:62.18% ほぼ計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支は、概ね収支計画書のとおりであり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。 令和5年度の新たな取り組みは、新規利用者の開拓につながる取り組みであり、評価できる。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務・消防用設備保守点検・機械警備業務・清掃業務等 仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施されている。	A		
新たな取り組みの状況	「古文書から見た多摩地域の樹木と人々の暮らし～江戸から近代まで～」(国文学研究資料館と共催)のほか、「図書館の平和講演会～青少年と戦争」講演会の内容を冊子化し、立川市民の体験談等、地域資料となる情報を後世に伝える取り組みが行われた。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合83%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度が向上されている。	A	充実した研修体制を構築しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務を実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上に取り組まれている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信ができています。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスの提供ができています。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	専門業者による施設清掃により、施設維持が適正にされている。	A	業務仕様書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。	A		
保安・警備	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。また、館内巡回により館内の保安が維持されている。	A		
小規模修繕	鍵修繕・電動式移動棚修繕等 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行われている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書を整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置がされている。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者から駐輪に関する苦情を、職員間で共有し、問題に対応することができている。	A	事故・苦情対応状況について、適切に対応されている。再発防止策についても適切に実施されている。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	「利用カードの誤再交付」直ちに中央図書館へ連絡し、データ修正で対応された。職員間でマニュアルの再確認が行われている。 「予約確保連絡票の所在不明」 利用者の姓名が外部へ流出する恐れがあった。作業の見直しをし対策を講じている。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域包括支援センターなど地域団体との連携展示などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組まれている。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制が構築されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>・地区内の児童数が減少傾向にあるものの、テラスや和室を活用した児童向けイベントでは、季節ごとに保護者等も共に楽しんでもらえるよう企画した。</p> <p>・職員が1対1で操作方法を説明する「お手持ちのスマホで電子図書館を使ってみよう」などでは、当館でご利用の多いシルバー世代や市内の他地区からも参加頂いた。</p> <p>・地域の歴史・文化に関する事業として、国文学研究資料館との連携による講演会では、市外からのZoom視聴もあり、立川市の古文書「公私日記」や多摩地域の産業史を広く知って頂くイベントとなった。</p> <p>・その他、2023年に開催した「図書館の平和講演会」を冊子化し、講演の内容である戦時中の市民の体験談を記録し広く市民にお伝えする事業を行った。</p> <p>今後も引き続き、施設・設備面の保守・管理に努めながら、多摩川図書館の落ち着いた雰囲気を生かしながら、どなたでも心地よく過ごして頂ける図書館となるよう努めていく。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症5類移行となる中、屋外テラスイベントや展示など、図書館サービスの実施に取り組んだことで、利用者数、貸出冊数は大幅に減少することはなかった。特別なおはなし会や児童向けイベントの実施により、子どもの読書活動推進や図書館利用の向上に取り組んだ。</p> <p>・職員が1対1で操作方法を説明する「お手持ちのスマホで電子図書館を使ってみよう」や国文学研究資料館との連携による講演会などでは、地域外からの参加も多いイベントとなった。また、2023年に開催した「図書館の平和講演会」を冊子化することができている。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元するなど、図書館員としての専門能力と資質が向上されている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>・施設管理においては、専門業者への委託や不具合箇所の速やかな報告、修繕が適正に実施されている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行による市民の行動変容の影響を受けつつも、さまざまな図書館サービスの実施に取り組むことで、利用者数・貸出冊数は前年度に近い数値を維持できている。</p> <p>充実した研修体制の結果、職員の接客対応等についての評価は高い。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

令和6年度(令和5年度実施分)指定管理者管理運営状況評価表

令和6(2024)年9月発行

発行 立川市公の施設指定管理者評価委員会

編集 立川市市長公室改革推進課

〒190-8666 立川市泉町1156-9

電話 042-523-2111(代表)